

教養教育科目

英米の文学

隈井清臣

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

文学作品にはそれぞれの国の文化が反映している。主に20世紀の英米の文学の思潮をたどりながら、伝統的な英国文学や移民の国として新しい文化を作った米国文学を中心に考察する。

【授業計画】

- 第1回 受講に関するガイダンスと参考書目紹介
- 第2回 英米の文学とは何か
- 第3～6回 小説について
- 第7～8回 詩について
- 第9～11回 劇について
- 第12回 散文について
- 第13回 結びと推薦書目紹介

【評価方法】

作品を読んで提出するレポート70%、出席状況10%、授業の参加状況20%、計100%で評価する。

【テキスト】

楽しく読めるイギリス文学（中村他 ミネルヴァ書房）

【参考文献・資料】

現代英米文学作品解説（稲村松雄著 北星堂書店）
英米文学の名作を知る本（渡辺恵子編 研究社）

中国の文学

高峰

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の歴史と文化は古くかつ深い。日本はその影響を大きく受けてきたが、特に文学は顕著であった。中国の代表的な文学作品を紹介し、鑑賞する。

【授業計画】

- 第1講 概論1：中国文学を育む土壌
－歴史と社会－
- 第2講 中国語の特徴と文学的特質
－詩と劇曲－
- 第3講 中国小説の歩み
－神話から現代まで－
- 第4講 各論1：陳忠実の作品と人間
- 第5講 各論2：陳忠実の作品の解説
－大地に根ざす父を求めて－
- 第6講 各論1：賈平凹の作品と人間
- 第7講 各論2：賈平凹の作品の解説
－大地を逃れ、幻を求めて－
- 第8講 各論1：鉄凝の作品と人間
- 第9講 各論2：鉄凝の作品の解説
－迷いと傍徨－
- 第10講 各論1：池莉の作品と人間
- 第11講 各論2：池莉の作品の解説
－奇抜な構想とユーモラスのセンス－
－愛と憎しみ－
- 第12講 各論1：現代文学作品の中の日本像
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【参考文献・資料】

参考書・資料は、必要に応じて授業中で提示する。

情報と社会

沖野皓一

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会は情報化社会といわれ、さまざまな情報が受信されている。日常生活や経済社会の中で「情報」がいかにかわり、有効な活用はどうあるべきかについて考察する。

【授業計画】

- 第1～2回 歴史に見る情報と社会
情報と文化との関係を軸に、人間社会の歴史を概観する。
- 第3回 情報がモノを造る
モノの生産が、必要性・実用性から嗜好に重点を置くようになってから、生産システムも大きく変わった。いわゆる情報化社会の生産と消費の関係について
- 第4～10回 情報の氾濫がもたらすもの
次々と繰り出される扇情的な情報や、人々の行動を先取りするような情報の氾濫の結果、私たちはかえって情報への関心を失い、情報喪失の状態に陥りかねない。情報過剰の現状を中心に
- 第11回以降 主体性確保のために
ニューメディアは多チャンネルの実現による情報の多元性を売り物にしているが、私たちにとって重要なのは、本当に必要な情報を発信・選択できる双方向性であろう。市民の側からの情報発信、メディアアクセスの現状と可能性について

【評価方法】

出席状況・試験の成績などによって総合的に行う。

【参考文献・資料】

講義の中で、その都度紹介する。

ジェンダーと社会1

國信潤子

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会において女性と男性の社会的関係は変容しつつある。男女が共に社会参画をして初めて社会における平等が確保できる。この視点から現代社会におけるジェンダー（社会・文化的性）のさまざまな問題を指摘し、検討する。

【授業計画】

近年、公的文書などにもジェンダー（gender）ということばが頻繁に使われるようになってきた。それは社会・文化的性別という意味である。つまり、社会的に男女に対して期待される異なる役割、意識、行動様式などを指す。新世紀にはいり、従来の固定的性別分業とは異なり、性別にとらわれない新たな社会的役割行動様式の青年たちが増加してきている。それは固定的な男らしさや女らしさをこえて個性の発揮、能力開発、そして経済、社会的自立、生活面での自立などを目指す生き方である。ここ50年ほどの日本における女性の社会的地位の変容について社会学的データなどで紹介する。また法制改革、国際人権規約なども紹介する。原則としてテキストにそって授業を進める。

グループ討議、視聴覚教材なども取り入れる。

【評価方法】

授業出席状況、履修態度、感想カード内容、期末レポートなどの総合評価による

【テキスト】

女性学教育・学習ハンドブック（女性学・ジェンダー研究会、国立婦人教育会館編 有斐閣刊 1999年）

【参考文献・資料】

授業で随時紹介する

ジェンダーと社会 2

中島美幸 山下智恵子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

本講座では、ジェンダーの視点で文学作品を分析することによって、〈女/男〉規範がどのようにテキストに織り込まれているかを読み解き、さらに、テキストがどれほど現実の女と男の生を規定してきたかを検証する。それとともに、ジェンダーの呪縛から解放されたいとして、新たな文学表現を試みる作家・作品をできるだけ多く提示する。(オムニバス方式)

(中島美幸兼任講師)「女性の表現」の観点から日本文学を歴史的に跡づける。なかでも、近代以降の女性表現については、他国の女性文学との比較もまじえつつ、読み解いていく。

(山下智恵子兼任講師)現代の文学作品を中心に、家族、母娘などの人間関係をジェンダーの視点から検証する。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 〈ことば〉とジェンダー
- 第3回 〈書く女〉の登場①
- 第4回 〈書く女〉の登場②
- 第5回 女性を描く男性作家のまなざし①
- 第6回 女性を描く男性作家のまなざし②
- 第7回 母と娘の物語①
- 第8回 母と娘の物語②
- 第9回 家族の物語
- 第10回 文学の政治性
- 第11回 文学と映像文化
- 第12回 まとめ

*第8、9回は山下智恵子担当。他は中島美幸担当。

【評価方法】

毎回の簡単な感想と、学期末のレポートを総合して評価する。

【テキスト】

教科書は使用せず、随時、プリントを配布する。

【参考文献・資料】

毎回の講義の際に紹介する。

日本国憲法

初谷良彦

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本国憲法について、その成立の経過や明治憲法との比較を通じ、現行憲法の内容と主要な問題点を講義する。憲法問題における具体的事例にもふれる。

【授業計画】

- 第1回 日本の近代化と明治憲法の制定
- 第2回 ボツダム宣言の受諾と降伏の憲法史的意味
- 第3～4回 日本国憲法制定の経緯
- 第5回 日本国憲法の基本原理
- 第6回 幸福追求権、人格権
- 第7～8回 環境権
- 第9回 表現の自由
- 第10回 信教の自由と政教分離
- 第11回 生存権・教育権・労働基本権
- 第12回 国会
- 第13回 裁判所

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

憲法講義 I (初谷良彦著 成文堂)

郷土の歴史と文化

秦 達之

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

東海地方は、戦国乱世の時代に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を生んだ土地である。この歴史的風土をふまえ、愛知県を中心に郷土の歴史と文化を講義する。

愛知県は、“三大英傑”以後、一見平穏無事で、パッとしないかみえる。しかし、よくみれば、東西の文化を巧みに織りこんで、波瀾にも富み、歴史上重要な地歩を築いてきた。講義は、尾張と三河とのちがいに留意しつつ、隣県の三重・岐阜・静岡にも時には視野を拡げ、受験時の暗記の歴史から、考え、愉しみ、生きるための歴史へと飛翔することを目指す。

【授業計画】

一回一話の読み切り、いや、語り切りで、さまざまなテーマ、内容を取上げる。通史ではないので、時代の前後を往き来する。その時代を生きた人びとの鼓動が聞こえてくるようなものにしたいが、果してうまくいきますか、どうか？

内容は、「元禄名古屋の世相」「伊勢湾の漂流民たち」「江戸時代の農民運動」「東海地方の山車（だし）」「渡辺崋山とその周辺」「お札降りとええじゃないか」「尾張の洋学者たち」「戦争と女性」「モルフィと廃娯運動」「新聞記者・市川房枝」「シーメンス事件と太田三次郎海軍大佐」その他。私自身の研究と共に、他の地道な研究成果も積極的に取上げたい。

こちらで一時間毎の史料を用意し、それにもとづいて講義する。必要に応じてビデオ、スライドも使用。出席票に感想を書いて貰い、受講者の声を聞く工夫をしている（受講者もぜひご協力を）。

【評価方法】

出席状況（特に厳しいので注意！）と単位認定試験の成績などによる。毎時間最後に感想を書いて貰い、参考にしている。白紙で出さないように。

【参考文献・資料】

愛知県の百年

（塩沢君夫、斎藤勇、近藤哲生共著 山川出版社）

愛知県の歴史（三鬼清一郎編 山川出版社）

メディアと文化

鎌田基子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

情報化社会の発達と技術の進歩でさまざまなメディアが新しい文化を生み、伝達する。文化の創造の伝達とメディアの関わりを考察する。

【授業計画】

第1回 どこからどこまでがメディアなのか？

第2回～7回 「編集」という創造

- ・怪物の作り方
- ・テーマとコンセプト
- ・人の流れと思考の奥行き
- ・発想の手順
- ・WORK SHOP
- ・フォトストーリー
- ・コラージュ
- ・店内レイアウト
- ・雑誌の企画

第8回～10回 現代美術はなぜ分かりにくいのか？

- ・作品が持つ言語
- ・素材の力、場の力
- ・伝達技術と表現手段
- ・WORK SHOP
- ・即席インスタレーション

第11回～12回 社会が生んだ表現

- ・表現の自由と人権
- ・芸術が果たす役割

第13回 「見る」「聞く」行為について

状況により途中1～2回をゲスト講師の講演にあてる。

【評価方法】

出席状況、レポート等による。

生活と福祉

井戸平八郎

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間らしい生活を営むには、今日では福祉は避けられない問題である。しかし、「福祉とは何か」、「福祉はいかにあるべきか」は難しい課題である。障害者福祉や老人介護など、現代的な問題を視野に入れて福祉について学ぶ。

【授業計画】

- 第1章 福祉は誰のために
- 第2章 援助と自立
- 第3章 少子化問題と超高齢社会
 - 第1節 少子化傾向について
 - 第2節 子どもの人権は守られているか
 - 第3節 エンゼルプランをめぐる問題
 - 第4節 高齢者福祉
(ゴールデンプランと介護保険)
 - 第5節 ターミナルケアから学ぶこと
- 第4章 バリア・フリーからユニバーサル・デザイン
- 第5章 これからの地域福祉
- 第6章 Well Being

ビデオ、スライド、OHPを利用。

【評価方法】

テストによる評価。

【参考文献・資料】

授業中に紹介。

こころの世界

坪井さとみ

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

極度の精神的緊張や不安をはらむ高度情報社会の時代にヒトのこころや行動の仕組みについて改めて熟考することは、将来をより豊かに生きてゆくためにも意義深いと思われる。本講義は心理学的観点から人間を理解することをめざす。

【授業計画】

簡単な心理学の実験、テスト、アンケート調査などを実際に体験しながら、心理学の基本的な内容を理解する。主に以下の領域について取り上げる。

1. こころとは何か
2. 知覚・記憶
3. 学習・思考
4. 欲求と感情
5. 知能
6. パーソナリティ
7. 発達とライフサイクル
8. 社会的行動
9. 対人関係
10. こころの健康

【評価方法】

レポートと出席状況から総合的に評価する。

【テキスト】

随時プリントを配布する。

【参考文献・資料】

授業中に紹介する。

ことばの世界

山本雅子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日常生活において、ことばによるコミュニケーションは、言語的な意味だけでなく、社会的な意味においても行っている。

ことばによる社会的な意味のちがいを地域、社会的階層、性差、年齢などを軸にして考えてみたい。

【授業計画】

日々報じられる新聞の国際記事、解説や特集面、テレビのニュース番組、ドキュメンタリーなどのコピーやビデオを用意し、教室で放映または配布して説明します。発生する出来事の中から興味を引くとみられるものを優先します。したがって政治、経済、社会、文化といった体系的な進め方には必ずしもなりません。

【評価方法】

原則として筆記試験によります。出席状況や意見発表とか質問、問題提起、私語、遅刻など受講態度も参考にします。

【テキスト】

特にありません。

【参考文献・資料】

そのつど、必要に応じて知らせます。

メンタルヘルス

舟橋龍秀

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれます。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもあります。臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考えます。

【授業計画】

- 第1講 心の健康とはどういうことか
- 第2講 ライフサイクルについて（その1）
- 第3講 ライフサイクルについて（その2）
- 第4講 心の病の現れ方
- 第5講 思春期・青年期の心の病（その1）
- 第6講 思春期・青年期の心の病（その2）
- 第7講 中年期・老年期の心の病
- 第8講 心と身体の関係ー心身症という病気
- 第9講 心の病と家族
- 第10講 自殺について
- 第11講 文化と心の病
- 第12講 まとめと討論

【評価方法】

講義内容に関連する課題によるレポート提出（1回）と単位認定試験の成績により総合的に評価する。

【テキスト】

大学生のための精神医学（高橋俊彦他著 岩崎学術出版社）

【参考文献・資料】

- 精神科医のノート（笠原嘉著 みすず書房）
新・精神科医のノート（笠原嘉著 みすず書房）
精神病（笠原嘉著 岩波書店）
その他授業中に紹介する図書

暮らしの経済

村上貴美子

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

生活に密着した経済学の入門。特に今や経済社会もグローバル化しており、国際経済の流れや仕組みにもふれ、日常化している経済用語を解説する。

【授業計画】

- 第1回 最近の経済状況と用語解説
生活と経済の関わり
- 第2回 消費者の権利と意思決定
- 第3回 価値観と消費の多様化
- 第4回 生活をとりまく環境変化
- 第5回 本当の「豊かさ」とは何だろうか
- 第6回 「労働」と言う言葉はなぜキライですか
- 第7回 教育と経済
- 第8回 サービスとはタダ（無料）のことでしょうか
- 第9回 余暇の為に働く
- 第10回 住宅とまちづくり
- 第11回 国際化と生活
- 第12回 未来を考える

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【参考文献・資料】

生活の経済学（井原哲夫著 東洋経済新報社）

文章表現論

青木 健

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

「自分にしか書けないことを誰にもわかるように書く」ことを目標にして、文章表現に必要な基本的事項を実践例をふまえながら学習する。

【授業計画】

- 第1回 人は言葉の織物である。（伝達と表現Ⅰ）
- 第2回 現実は言葉の織物である。（伝達と表現Ⅱ）
- 第3回～6回
例文をテキストに、文章の構成、話法、リズム、形容など具体的に講義。
- 第7回～12回
課題を3回提出し、短文（2～5枚、400字詰）を書かせ、そこから文章表現についての共通の問題点を抽出する。

【評価方法】

出席状況、3回の提出原稿などを基準として評価する。

【テキスト】

当方にて用意します。参考書籍は授業中に数冊指示します。

比較文化

文 嬉眞

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

世界にはさまざまな国家や民族があり、多様な文化が存在する。文化人類学的な見地から外国の文化や伝統・風俗を学ぶ。

【授業計画】

本講義では、主に「日本の文化」に焦点を当て考えることにする。特に、外国人（見る側）が日本という異文化（見られる側の文化）と直接接触した際、どのように評価（表現方法）・認識したかを考察し、その考察からなぜそのような評価・認識があらわれるかを分析する。そして、得られた分析によって外国人（見る側）がもつ「文化」を再分析する。すなわち、外国人（見る側）が「異文化」（見られる側の文化）を見るまなざしに関して考察することによって、自文化（見る側の文化）を再認識することになるだろう。

1. 異文化（異民族）との理解・誤解に関する一般的な概論
2. 異文化交流史における本講義の位置付け
3. 前近代の外国人（見る側）における「日本認識」および外国人（見る側）がもつ「文化」に関する考察
4. 近・現代の外国人（見る側）における「日本認識」および外国人（見る側）がもつ「文化」に関する考察
5. 異文化としての「日本文化論」

【評価方法】

1. 出席、受講態度、講義時の課題等で全体の50%を評価する。
2. 学期末レポートで残る50%を評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

【参考文献・資料】

授業中に指示する。

現代芸術 1

天野節子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「書道」の意義と意味を問い、名筆の鑑賞と書写の実技をする。

【授業計画】

- | | |
|----------|--|
| 第1回 | 年間の授業計画と使用する教本の鑑賞の方法の説明する。 |
| 第2回～10回 | 書写の重要なポイントの説明しながら実技をする。一人一人について添削指導する。 |
| 第11回～最終回 | 課題に有名な作家又は詩人等の美しい文章等を各自に表現をして作品を作成させる。 |

【評価方法】

出席状況・平常点・課題とによる

【テキスト】

ペン字テキスト〔基本編・実務編・応用編〕
（氏田菖軒著 書道教育社）

現代芸術 2

志水博子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「音楽」の意義と意味を問い、名曲を鑑賞し、歌唱をする。

【授業計画】

- 第1回 名演奏家によるオペラのビデオ鑑賞
- 第2回 声の出るしくみを知る
- 第3回 腹式呼吸と身体のつかい方の練習
- 第4回 ビデオ鑑賞
- 第5回 ビデオ鑑賞
- 第6回 ビデオ鑑賞
- 第7・8回 ピクニックや集会でのやさしいハーモニーの楽しみ方練習
- 第9～12回 各自の課題による実技発表とアドバイス

【評価方法】

授業内での実技演奏（各自の得意とする歌唱又は楽器の演奏、アンサンブル可）と出席状況

【テキスト】

楽譜プリントは配布

現代芸術 3

横山萬里

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「美術」の意義と意味を問い、名画を鑑賞し、又古画のうちで親しみやすい絵巻について講義をする。

【授業計画】

国宝に指定されている古い絵画あるいは日本の伝統的な絵巻のなかから鳥獣人物戯画をとりあげて日本画の表現、色彩方法を講義する。

また、授業の中で名古屋市内の美術館を訪問し、古画現代画にふれる。

- ・日本画の特徴
- ・鳥獣人物戯画の説明
- ・鳥獣人物戯画における線の強弱と動き
- ・日本画の模写について
- ・日本画の鑑賞

博物館入場料 600円程

美術館入場料 500円程

筆ペン 500円

費用 計 1,600円程度

【評価方法】

出席状況と感想文レポート（6回提出）を総合的に評価

【テキスト】

日本の絵巻6「鳥獣人物戯画」

コピーした図を見る

【参考文献・資料】

なし

伝統文化

四辻秀紀

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際化が進み、さまざまな異文化にふれる機会も多くなったが、日本の伝統文化にも目を向けることが大切だ。伝統文化の中でも芸能を中心に講義する。

【授業計画】

日本の伝統的な美意識をあらわす言葉として、「わび」「さび」「幽玄」などがよく取り上げられる。しかし一方で、11～12世紀の「風流・過差」、14世紀の文献にしばしば記される「娑婆羅」、17世紀初期の「かぶく」などといった言葉に代表される華美を好む世粧・風潮の伝統があった。これらの風潮は、既存の概念を打破り、新たな精神性を形成していく原動力にもなっていった。

本講では、この「風流・過差」、「娑婆羅」、「かぶく」と連なる精神性の系譜を、各時代の文献資料やさまざまな美術品を中心に探求していく。

1. 概論
- 2～6. 平安時代の「風流・過差」
 - ・歌合
 - ・法華八講
 - ・莊嚴経など
- 7～8. 「喫茶往来」と「娑婆羅」
 - ・闘茶と室礼など
- 9～11. 近世初期の風俗画と「かぶく」の美意識
 - ・出雲のお国と歌舞伎図
 - ・祭礼図と邸内遊楽図など
12. まとめ

※スライド使用。学外授業として展覧会の見学を行う。

【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

必要に応じ資料を配布する。

アジアの生活と文化

楊 衛平

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本は生活も文化もアジアの影響を強く受けている。特に日本と歴史的にも関係の深い近隣の国を中心にアジアの生活と文化を講義する。

【授業計画】

1. 中国の少数民族の構成
2. 儒教・仏教・道教の相異
3. 中国の年中行事
4. 南北食文化の比較
5. 伝統中医学と西洋医学
6. 気の文化と気功術
7. 飲茶の文化と歴史
8. 少数民族の音楽
9. 少数民族の服装
10. 中国人の姓の由来
11. 中国人と日本人の考え方の相異
12. 中国名勝物語

【評価方法】

出席状況、受講態度とレポートによる。

【参考文献・資料】

授業中指示する。

生命の科学

富田 武

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

動物の生命の誕生、生体を構成する物質や生殖と遺伝の仕組みなど、動物の生命の維持のメカニズムについて学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 生命の科学序説
- 第2講 生命誕生と進化
- 第3講 動物細胞の分化
- 第4講 動物体を構成する物質
- 第5講 動物の生殖と発生
- 第6講 動物の遺伝（1）
- 第7講 動物の遺伝（2）
- 第8講 動物の生命維持（1）
- 第9講 動物の生命維持（2）
- 第10講 脳の進化、成長、老化
- 第11講 動物の生殖現象操作
- 第12講 動物の遺伝現象操作
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験で総合的に評価する。

【参考文献・資料】

生命科学への誘い（大島泰郎他編 東京化学同人）
生物小事典（丘英通、岩波洋造監修 三省堂）

生活の化学

八代 有

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

健康で豊かな生活を維持していくには、化学の知識と活用は必要不可欠からざるものである。身近な生活に必要な化学の知識と関係について事例をあげて学ぶ。

【授業計画】

1. 栄養のバランスと健康増進を考える
2. 食品成分の化学と食品の安全性
3. ビタミンの化学的性質と病気のしくみ
4. 生活習慣の改善と疾病予防
5. 薬についての正しい認識
6. 薬が生体に影響を与える因子
7. 尿はからだの健康情報源
8. 食べ物および体内における酵素の働き
9. 話題となった環境公害
10. 生活のなかでの不思議

【評価方法】

テストおよび出席状況により総合的に判定する。

【テキスト】

テキスト使用せず、プリントを適宜配布する。

生き物の世界 1

服部一三

1~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

地球上には多種多様な植物が生存しているが、これらの植物は食物連鎖の基本を成すものである。植物の生物界における位置付けや植物の成育地について紹介し、植物と人間との関わりについて認識を深める。

【授業計画】

- 第1回 1. 生物界の分類
2. 生物の進化
- 第2—6回 3. 植物と人の関わり
1) 農耕の始まり
2) 世界の農耕文化
3) 日本農耕文化の起源と発展
4. 人が手を加えた植物—作物
1) 作物とは？
2) 世界の作物の起源
- 第7—8回 5. 作物改良の原理と方法
1) 作物改良の原理
(1) メンデルの法則—遺伝学
(2) 遺伝の物理的基礎
- 第9回 2) 作物の改良方法
- 第10回
- 第11—12回 6. バイオテクノロジー
1) バイオテクノロジーとは？
2) 作物の改良とバイオテクノロジー
(1) 細胞・組織培養
(2) 遺伝子操作
(3) バイオテクノロジーで得られた作物をいかに考えるか？
(1) 倫理
(2) 安全性

【評価方法】

受講資格についてはあえて問わないが、成績評価には出席点を重視し、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【参考文献・資料】

下記の書籍を参考書籍として使用するが、テキストなどを作成して講義を進めるので、特に買い求める必要はない。

生物的自然と人間（平田豊著 開成出版）

生き物の世界 2

鹿島英佑 森田高尚

1~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

身近に見られる昆虫や鳥などの生態のメカニズムを解説し、生命の進化について学び、動物への関心といたわりを深めたい。

【授業計画】

動物コース、植物コースを6回ずつ、交互に講義する。

【動物コース】

東山動物園や猪高緑地、稲永の干潟などにおける動物の観察や家畜との触れ合いを中心に授業を行う。動物の分類、分布、食性等の基礎的な知識を学習し、メダカの繁殖や水辺・干潟の動物たちの観察を通じて、動物の行動や習性を学ぶ。併せて、自然動物保護や自然環境の保全の重要性を学習するとともに、こども動物園等における小動物や家畜との触れ合いを体験することにより、生命の尊さを学ぶ。

【植物コース】

学校周辺の自然林や東山植物園における野外学習を中心に授業を行う。押し葉標本の作成や花のスケッチなど、植物との触れ合いにより生物の不思議さや美しさを学ぶ。また、植物同士の競争や助け合いで成立する森や草むらの観察により自然のしくみを学ぶとともに、人と自然との関わりに興味をもつことにより、自然環境保全の重要性を学習する。種まきや花苗の鉢植え実習など植物の栽培も体験する。

【評価方法】

出席状況およびレポートによる。

【テキスト】

“自然”

生命の倫理

加藤太喜子

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の医学の進歩と発達によって今や人間の生命の誕生も医学よりも倫理の問題になった。現代社会が抱えている「生命」を倫理や哲学の面から考察する。

【授業計画】

次の主な項目に従って授業を展開する。

1. インフォームド・コンセント
2. 脳死と移植医療
3. 安楽死・尊厳死
4. 生殖医療
5. 人工妊娠中絶
6. 出生前診断
7. 優生思想とは

【評価方法】

レポート及び期末に行う筆記試験により評価する。

【テキスト】

死の選択（森下直貴 窓社）

【参考文献・資料】

生命観を問いなおす（森岡正博著 ちくま新書）
優生学と人間社会（米本昌平ほか著 講談社現代新書）

健康と医学

阪 正和

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本はますます高齢化社会に入り、人生80年の時代になった。しかし、長生きするための健康は自分で管理し、自立自助によって初めて達成される。健康を保ち、命を守り育てるにはどうすればよいか。医学の立場から、病気と健康について講義する。

【授業計画】

- 1) 健康とは何か
健康の定義 健康管理 生命の尊さ
- 2) 母と子のきずな
母子相互作用 児童虐待
- 3) 子どもの心とからだ
子どもの特徴 発育と発達 しつけ（家庭教育）
- 4) 女性の健康
思春期への対応 ピル（避妊） 更年期
- 5) 生活習慣病（成人病）とは
その予防は幼児期から KYB運動
- 6) アレルギーのはなし
アレルギーと免疫 アレルギー病（気管支喘息）
- 7) 食物と健康
母乳と人工乳 離乳 幼児食 食中毒
- 8) 歯の健康
歯の生理 虫歯と歯周病 高齢者と歯
- 9) 嗜好品と健康
アルコール タバコ
- 10) セクシュアリティに関わる問題
性感染症（クラミジア感染症・B型肝炎） 性教育
- 11) 高齢社会の健康問題
ライフスタイルへの介入 介護 死を考える
- 12) インフォームド・コンセント（I・C）とは
I・Cの3大要素 医者にかかる10か条

【評価方法】

主に筆記試験によるが、語義の理解度をみるために小テストを2回行う。

【テキスト】

健康と保健の科学（坂口他著 日本小児医学出版社）

ライフサイクルと健康

鶴原香代子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間は年齢に伴い体型も変化し、健康も害しやすくなる。ライフサイクルに合わせた運動と健康の維持について身近な問題を取りあげて講義する。

【授業計画】

- | | |
|--------|---|
| 第1～3回 | 現代社会における健康の諸問題
ライフサイクルと健康
大学生の体格・体力とスポーツ |
| 第4～6回 | 身体の仕組みと働き
運動と身体の変化
運動の効果と安全性 |
| 第7～8回 | 運動不足とその影響
ウエイトコントロール |
| 第9～11回 | 発汗と水分・栄養補給
疲労とその予防・回復
スポーツと疾病予防
運動処方・生活習慣の修正 |
| 第12～終了 | ライフスタイルと健康
まとめ |

【評価方法】

授業内の課題レポートによって評価する。

【テキスト】

使用しない。

【参考文献・資料】

授業中に適宜 指示する。
資料としてプリントの配布、ビデオを利用する。

スポーツ基礎

鶴原香代子

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

各種スポーツ（テニス、ゴルフ、バドミントン）をはじめ、ストレッチ体操、トレーニングなどの運動の基礎技術を習得することを目標として行う。

【授業計画】

- スポーツの特性を理解し、自身の能力や体力にふさわしいスポーツ実践の大切さを認識する。
- 第1回 教室にてガイダンスを行う。
天候により、場所、種目の変更が考えられるが、学内の施設・用具を使用して行う。
- 第2回 主に、テニスを中心に展開するが、ニュースポーツ等の種目も考えている。また、ビデオによる試合観戦からルールやマナーを学ぶ。
- 第12回 （種目の終了時にスキルテストを実施）

【評価方法】

学習意欲（30%）、ルールの理解と技能の習得（20%）、出席状況（50%）により総合的（100%）に評価する。

【テキスト】

使用しない。

【参考文献・資料】

授業中に適宜指示する。

スポーツ応用

鶴原香代子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバ・ダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中講義として行う。(ただし、文化創造学部において集中講義は行わない。)

【授業計画】

バドミントンの基本的動作から、ゲーム形式を取り入れた実践的な練習をすることにより、ルールとその特性を理解し、生涯にわたって親しめるような技術と知識を身につけることを目標とする。

- 第1回 教室にてガイダンスを行う
 - 第2回 導入、ラケットイング
 - 第3回 遠くへ飛ばす(サービスからハイクリア)
ネット際へ落す(ドロップ、ヘアピン)
 - 第4回 攻撃に結びつけるショット
(ドライブからブッシュ、スマッシュ)
単独シングルス・ゲーム
 - 第5回 フットワークと戦術
シングルス・ゲーム
 - 第6回 ルールの理解とフォーメーション
 - 第7回 サービス(コースを決めて打ち分ける)
ダブルス・ゲームの実践
 - 第8回 ダブルス・ゲーム(リーグ戦)
スキルテスト
- ～最終授業まで

【評価方法】

出席状況(50%)、ルールの理解と技能の習得(30%)、グループワークと参加態度(20%)により総合的(100%)に評価する。

【テキスト】

使用しない。

【参考文献・資料】

授業中に適宜指示する。

表現技術科目

実用日本語演習Ⅰ（生活実用文）

柏木義雄 矢頭純 島田修三
西田勝 清水良典 酒井晶代

2・3年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

日常生活における手紙・挨拶文・依頼文・案内文等の実用的な文章表現の、基本的な形式と表現を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

第1回に先立ち、テキストの「語彙くことばの読み書き」を、各自自習しておくこと。

- 第1～4回 敬語
- 第5～6回 手紙文
- 第7～9回 文の書き方
- 第10～11回 自己表現
- 第12回 小論文

【評価方法】

出席状況、受講態度、課題提出、最終レポートなどによる。

【テキスト】

実践国語表現（市川毅ほか おうふう）

実用日本語演習Ⅱ（商業文）

平野美樹

2・3年表現1・2組、多元5・6組、環境1・2組 後期 必修 2単位

【授業の概要】

商店・企業・官公庁等における報告書・依頼文・案内文等の文章表現の実践的な知識と技術を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2～5回 テキストを利用して、正確で分かりやすい文を書く基礎練習を行う。
- 第6～9回 テキストを利用して、場面・用途別の文書作成の練習を行う。
- 第10～12回 個別の課題により、文書作成を行う。
ロールプレイング形式を取り入れる。
- ※第2～12回では、毎回、言葉の知識についての小テストを行う。
- 第13回 筆記試験

【評価方法】

小テストの平均点、筆記試験の成績、第10～12回の課題の達成度を総合して評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

【参考文献・資料】

各自、国語辞典を用意すること。

実用日本語演習Ⅱ（商業文）

桑本いづみ

2・3年表現3～6組、環境3・4組 後期 必修 2単位

【授業の概要】

商店・企業・官公庁等における報告書・依頼文・案内文等の文章表現の実践的な知識と技術を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 はじめに/ビジネス文書とは
- 第2講 正確でわかりやすい文章を書くには
一用字・用語
- 第3講 礼儀正しい文章を書くには一敬語・マナー
- 第4講 ビジネス文書の書式と構成要素
- 第5講 社外文書の作成一取引文書（通知状）
- 第6講 社外文書の作成一取引文書（依頼状・照会状）
- 第7講 社外文書の作成一社交文書（案内状・招待状）
- 第8講 社外文書の作成一社交文書（礼状・挨拶状）
- 第9講 社外文書の作成一FAXと電子メール
- 第10講 社内文書の作成一連絡書
- 第11講 社内文書の帳票化一報告書
- 第12講 社内文書の帳票化一議事録
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・課題・単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

未定

実用日本語演習Ⅱ（商業文）

下村養子

2・3年多元1～4組、環境5・6組 後期 必修 2単位

【授業の概要】

商店・企業・官公庁等における報告書・依頼文・案内文等の文章表現の実践的な知識と技術を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 はじめに/郵便の知識と文書の取扱い
- 第2講 用字・用語の使い分けと敬語表現
- 第3講 ビジネス文書の書式と文章のまとめ方
- 第4講 社外文書の作成一社交文書（礼状・挨拶状）
- 第5講 社外文書の作成一社交文書（案内・招待状）
- 第6講 社外文書の作成一取引文書（依頼状）
- 第7講 社外文書の作成一取引文書（照会状）
- 第8講 社外文書の作成一はがき（通知状）
- 第9講 社外文書の作成一FAXと電子メール
- 第10講 社内文書の作成一連絡書
- 第11講 社内文書の帳票化一報告書
- 第12講 社内文書の帳票化一議事録
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・課題・単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

実用筆記演習Ⅱ（速記）

田邊則男

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

速記方式という実用的な記号の体系の基礎を演習形式で学び、日常生活において速記を応用する技術を身につける。

【授業計画】

1. 速記法の成り立ちと役割
『速記の知識』日本速記百年記念会発行・社団法人日本速記協会
2. 速記文字の演習【1巻～2巻】
3. 速記文字と国語表記
4. 言葉の聴き取り能力と国語表記能力の養成
5. 速記の目的と学習計画の指示
6. テキストによる速記文字の習得と演習
7. 速記実務における国語能力（言葉の聴取能力）
8. 速記実務における専門知識（言葉の理解能力）
9. 速記実務における国語表記（話し言葉から読む言語へ）

【評価方法】

1. 出席状況及び受講態度による評価
2. 平常点及び授業内容の理解度、課題点による評価
3. 速記技術の習得度及び国語表記能力による評価

【テキスト】

速記テキスト1巻～5巻（日本速記研究所刊）

【参考文献・資料】

速記の知識（（社）日本速記協会内・日本速記百年会発行）
国語表記能力シート 適宜授業中に配布する

実用筆記演習Ⅲ（書道）

大池茂樹

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

行書体、草書体、隸書体、篆書体といったさまざまな書体やその芸術性を演習形式で学び、各書体の基本的な書法を身につける。

【授業計画】

書の歴史・文化・理論などを学びながら技術技法を習得する。従って、講義と実技とを並行して行う。実技は日常の家庭学習をのぞむ。書道用具一式が必要。

1. 芸術としての書 日常生活の中の書
書道用具（文房四宝）参考資料の説明
2. 文字の成り立ち 書体・書風
書道用具の扱い方 名前を書く
3. 書の古典 中国の書と日本の書
姿勢・執筆 基本点画
4. 書線の性質 用墨法
5. 用筆法・運筆法 技法と裏ワザ
6. 字形を整える 筆順
7. 構成法 字配り 余白の美
8. 書の創作と表現① 集字する 題材を選ぶ
9. 書の創作と表現② 構想を練る 形式を決める 草稿作り
10. 書の創作と表現③ 表現の工夫 画仙紙に書く
11. 書の鑑賞 作品の発表と評価
12. まとめと提出

【評価方法】

小テスト、レポート、毎時間の提出物、実技作品、出席状況などにより総合評価する。

【テキスト】

書道資料集（教育図書）

【参考文献・資料】

新書道字典（二玄社）、五体字類（西東書房）、書道字典（角川書店）、書体小字典（東京堂出版）などの書道専門の字典類

その他、各種法帖、書道辞典、墨場辞典などの資料

実用筆記演習Ⅲ（書道）

天野節子

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

行書体、草書体、隸書体、篆書体といったさまざまな書体やその芸術性を演習形式で学び、各書体の基本的な書法を身につける。

【授業計画】

書道用具一式が必要。

第1回 年間の授業計画として使用する教本の説明をする。

第2回～10回

書写の重要なポイントの説明をしながら実技をし、一人一人について添削指導をする。

第11回～最終回

練習をした字句を使用して必要な熟語を構成して簡単な文章又は手紙文の練習をする。又篆書体によって自分の印鑑を讀める様にする。

【評価方法】

出席状況・平常点・課題による。

ディベート入門

渡辺真澄

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

討論・議論における効果的な論理の展開や修辞法、相手の論理や趣旨の理解や検証の方法等を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

ディベートの理論と実践を通してコミュニケーション技能の向上を目指す。授業では、ディベートの概要や理論の解説に加え、受講者には実際にスピーチやディベートを行ってもらい、言語運用能力、論理的な思考能力、情報収集能力などの向上を目指す。

第1回 ディベートの概要

第2回 スピーチ実践（1）：自己紹介など

第3回 スピーチのレトリック

第4回 スピーチ実践（2）：テーマスピーチ

第5回 ディベートの論理的推論

第6回 ディベート論題決定のブレインストーミング

第7回 プレゼンテーション実践：グループ発表

第8回 グループリサーチ

第9回 立論の作成と反駁の準備

第10回 ディベート実践（1）：ディベートの試合

第11回 ディベート実践（2）：ディベートの試合

第12回 まとめ

“There are only two parts to a speech :

You make a statement and you prove it.”

(ARISTOTLE, RHETORIC.)

【評価方法】

出席状況、授業での活動状況、レポートなどを総合的に評価する。

【テキスト】

使用しない。必要に応じてハンドアウトを配付する。

【参考文献・資料】

頭を鍛えるディベート入門（松本茂著 講談社）

ディベート術入門（北野宏明著 ごま新書）

ガツンと言えるディベート術（松本道弘著 川出書房新社）

クリエイティブ・ライティング

清水良典 酒井晶代

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

創造的な文章表現の実践的な知識や技術を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 「書く」とはどういうことか？
- 第2講 イメージを伝える
- 第3講 表現の「現場」
- 第4講 「最初の記憶」
- 第5講 書かれた言葉の魅力
- 第6講 〈文〉の世界
- 第7講 水の入ったコップ
- 第8講 もう一人の自分
- 第9講 メモというジャンル
- 第10講 推敲の楽しみ
- 第11講 〈純文章〉について
- 第12講 批評としての〈純文章〉

【評価方法】

出席状況、提出作品、などによる

【テキスト】

新作文宣言（梅田卓夫ほか ちくま学芸文庫）
表現わたしの作品集（筑摩書房）

英文多読・速読

隈井清臣

1年表現AC・多元A・環境C～E 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

- 1) できるだけ多くの文章を読ませる。
- 2) できるだけ速いスピードで文章を読ませる。そして大意を適確につかませる。
- 3) さまざまな分野の英文を読ませる。
- 4) 英語の語い力を増加する練習をする。
- 5) 辞書を引き、文脈に応じた用法・用例を調べる習慣を身につけさせる。
- 6) 英文におけるパラグラフの構成、論理の流れを理解させる。
- 7) 英語のリズムを重視した音読の訓練をする。

【評価方法】

テスト等の得点70%、授業の参加状況20%、出席の状況10%を総合して評価する。

【テキスト】

= 表現A・多元A =
Basic Faster Reading (C. Malarcher 成美堂)
= 表現C・環境C =
Journey to Britain (I. Dennis 朝日出版社)
= 環境E =
London & Scotland (L. Kennett他 南雲堂)

【参考文献・資料】

授業の中で適宜指示または紹介する。

英文多読・速読

中川直志

1年表現B・多元E 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

- 第1回～第2回 Then and Now
- 第3回～第4回 School in Britain and Japan
- 第5回～第6回 Universities
- 第7回～第8回 The Law
- 第9回～第10回 Politics
- 第11回～第12回 Work

【評価方法】

出席状況、平常点、試験を総合的に評価する。

【テキスト】

Here and There (Adrian J. Pinnington 著 金星堂)

英文多読・速読

都築千絵

1年表現D・多元F 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

- 第1回 授業計画の指示
- 第2回 テキスト①を利用してリーディングの演習
トピック：旅行
- 第3回 トピック：ファーストフード
- 第4回 トピック：映画の基準
- 第5回 トピック：アメリカ文化の浸透
- 第6回 トピック：ガンジーの生涯
- 第7回 小テスト
- 第8回 トピック：Eメールの役割
- 第9回 トピック：バーチャル広告
- 第10回 トピック：2025年の予測
- 第11回 トピック：遺伝子を組換えられた鮭
- 第12回 トピック：トルコ女性の服装

テキスト②は、全授業を通して使用し、大意をつかむ読み方の練習をする。

【評価方法】

出席状況、平常点、小テスト、期末テストの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

- ① *Reading Culture & Comprehension (1) -A Pre-intermediate Reading Course for Japanese Students*
(Casey Malarcher 他著 マクミランランゲージハウス)
- ② *Scenes From American Life*
(James Kirkup 著、増山節夫 註解 成美堂)

英文多読・速読

ポール・D. タナー

1年表現EF 後期 必修 2単位

【Course Content】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【Schedule】

The goal of this course is to develop students' reading speed and comprehension and gain an understanding of English by studying a novel. Reading strategies such as context clues, skimming, scanning and prediction will be introduced. In addition to the novel, students will also read a variety of short passages and articles from authentic sources, such as newspapers and magazines.

- ・ Strategies of Reading
- ・ Reading for a purpose
- ・ Being an active reader
- ・ Predicting
- ・ Skimming and Scanning
- ・ Context clues
- ・ Reading a novel

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, and effort put into the course.

【Textbooks】

Harry Potter and the Sorcerer's Stone
(J. K. Rowling Scholastic Press)

英文多読・速読

安田千恵

1年多元BC 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

講義の前半は、SRA Reading Laboratoryを利用し、各学生のレベルと興味に応じたカード式教材を用い独習形式の読解演習を行う。後半は、クラス全体で同一教材を使用し、語彙力の強化、文法、パラグラフの構成、論理の流れ、文化的背景等の説明又音読の訓練も行う。

第1回 講義目標、進行、評価方法等の提示
SRA Reading Labオリエンテーション
Placement Test

第2回～12回 テキストを利用しリーディング演習

【評価方法】

出席状況、平常点、試験等によって総合的に評価する。

【テキスト】

別途指示する。

英文多読・速読

槇田裕加

1年多元D・環境F 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

- 第1回 年間計画指示
第2回～第12回 テキスト(小テストを定期的に行う)

【評価方法】

出席状況、平常点、小テスト、定期試験の成績などによって総合的に評価する。

【テキスト】

READING *Culture and Comprehension* (1)
(Casey Malarcher他著 マクミランランゲージハウス)

英文多読・速読

水野江依子

1年環境AB 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

授業では、新聞、雑誌の記事、評論、文学作品等、様々な分野の英文を取り上げ、パラグラフの構成、論理の流れを理解することに重点を置く。また、ボキャブラリーを増やすことにも力を入れる。

- 第1回 オリエンテーション/How to be a "Good Reader"
第2回 Approach to reading (1)
第3回 Approach to reading (2)
第4回 Finding the main idea
第5回 Exploring the main idea
第6回 Understanding organization (1)
第7回 Understanding organization (2)
第8回 Understanding organization (3)
第9回 Learning to summarize
第10回 Learning to scan (1)
第11回 Learning to scan (2)
第12回 Getting the rough meaning

【評価方法】

出席状況、課題、小テスト、定期試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

Independent Reader : Improving Essential Reading Skills
(木村真治、清水裕子編 マクミランランゲージハウス)

リスニング I

稲生幹雄

1年表現AB・環境CD 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

授業は、LL教室で行なう。いろいろな速度で話される、生き生きとした英語を聴きながら、英語独特の音声組織やリズムに慣れ親しむための練習を積む。

テキストは、*Essential Listening 2*と*Enjoy Pop Songs*の2冊である。*Essential Listening 2*は、いろいろなシチュエーションで役立つ質問と応答の仕方を学ぶリスニング教材で、予習復習用のCDも2枚付いているから、このCDを大いに活用して耳を鍛えてゆくことが可能。*Enjoy Pop Songs*のほうは、有名なポップソング20曲を収録してある補助教材で、歌詞の聴き取り練習ができ、付属のテープには解説の英文朗読やクイズも録音されている。毎時間の授業は、

- (1) まず*Essential Listening 2*の宿題（CDによる予習の成果を記入用紙に反映するもの）に基づいて内容の理解を確認し、
- (2) この教材の教室用テープを用いて、テキストの練習問題によるドリルを展開し、
- (3) *Enjoy Pop Songs*による練習を補ったあと、
- (4) 仕上げの段階では、さらに音声を聴きながら、配布された記入用紙（小テスト用紙を兼ねる）への記入も同時に進めていって、
- (5) 最後に次週の授業に向けての予習（と宿題）のポイントを確認する

—という順序で展開してゆく予定。いい英語をたくさん聴いて、英語の表現力のゆたかさを実感しながら、毎週着実に、リスニングの力をつけてゆくことを目指す。

【評価方法】

小テストおよび宿題の得点の集積と、出席状況・受講状況を総合して評価する。

【テキスト】

Essential Listening 2: Questions and Answers

(Dale Fuller他編 Macmillan Language House)

Enjoy Pop Songs (Kim R. Kanel編 成美堂)

リスニング I

ポール・D. タナー

1年表現C~F 前期 必修 2単位

【Course Content】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【Schedule】

The goal of this course is for students to improve listening skills and increase confidence in listening to authentic English. Students will be introduced to and encouraged to apply listening strategies to improve their comprehension. Students will watch a number of English language movies in their entirety. Students will complete previewing reading and vocabulary exercises. They will then watch the movie and answer comprehension questions after each section. Although this course focuses on listening, other skills of speaking, reading and writing will also be a part of this course.

- ・ Listening strategies
- ・ "Shortcuts" in spoken English
- ・ phrasing and idioms
- ・ making predictions
- ・ Listening: a movie

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, and quality of work accomplished.

【Textbooks】

The movie guide textbook will be sold to students on the first day of class. The cost will be ¥2000.

リスニングⅠ

隈井清臣

1年多元AB・環境AB 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

- 1) 大量の英語を聴取することを第一目標とする。
- 2) さまざまな形式の英語を聞いて理解する練習をさせる。
- 3) 理解を助ける音変化のしくみを学ばせる。
- 4) さまざまなスピードの英語を聞いて理解する練習をさせる。
- 5) 英語のリズムを身につけさせ、話し手の感情や意図を理解させる。
- 6) 可能な限りLL教室か視聴覚機器を使用する。
- 7) 音読も訓練する。

【評価方法】

テスト等の得点70%、授業の参加状況20%、出席の状況10%を総合して評価する。

【テキスト】

こうすれば英語が聞ける (中郷 英宝社)
和製英語から英語らしい英語へ (染矢 英宝社)

【参考文献・資料】

授業の中で適宜指示または紹介する。

リスニングⅠ

稲生幹雄

1年多元CD 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

授業は、LL教室で行なう。いろいろな速度で話される、生き生きとした英語を聴きながら、英語独特の音声組織やリズムに慣れ親しむための練習を積む。

テキストは、*Listening Power 1*と*Enjoy Pop Songs*の2冊である。*Listening Power 1*は12のUnitから成り、アメリカの声優たちの録音による感情ゆたかな英語が聴けるリスニング教材で、予習復習用のCDも1枚付いているので、このCDを大いに活用して耳を鍛えてゆける。*Enjoy Pop Songs*のほうは、有名なポップソング20曲を収録してある補助教材で、歌詞の聴き取り練習ができ、付属のテープには解説の英文朗読やクイズも録音されている。毎時間の授業は、

- (1) まず *Listening Power 1*の宿題 (CDを中心とする予習の成果を記入用紙に反映するもの) に基づいて内容の理解を確認し、
- (2) CDとは内容の異なる教室用テープを中心に、テキストの練習問題に基づくドリルを展開し、
- (3) *Enjoy Pop Songs* による練習を補ったあと、
- (4) 仕上げの段階では、さらに音声を聴きながら、配布された記入用紙 (小テスト用紙を兼ねる) への記入も同時に進めていって、
- (5) 最後に次週の授業に向けての予習 (と宿題) のポイントを確認する

——という順序で展開してゆく予定。いい英語をたくさん聴いて、英語の表現力のゆたかさを実感しながら、毎週着実に、リスニングの力をつけてゆくことを目指す。

【評価方法】

小テストおよび宿題の得点の集積と、出席状況・受講状況を総合して評価する。

【テキスト】

Listening Power 1

(Herman Bartelen他編 Macmillan Language House)

Enjoy Pop Songs (Kim R. Kanel編 成美堂)

リスニングⅠ

安田千恵

1年多元EF・環境EF 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

ビデオ、音声テープを利用し、会話、ナレーション等様々な形式、スピードの英語を聴き、理解する訓練を行う。又、聴解練習に加え、英語の音声的特徴－音変化、連結、弱形・強形、リズム等を音読の訓練を通じて、理解し、音声面からのリスニング力の養成を計る。

- 第1回 講義目標、進行、評価方法などの提示
- 第2回～6回 テキストを利用してリスニング演習
音変化、連結、機能語の強形、弱形
- 第7回～12回 テキストを利用してリスニング演習
リズム、イントネーション

【評価方法】

出席状況、平常点、試験等によって総合的に評価する。

【テキスト】

HEADWAY VIDEO ACTIVITY BOOK

PRE-INTERMEDIATE (Tim Falla Oxford University Press)

CUBIC LISTENING Closing the Culture Gap

(Timothy Kiggell, Kevin Cleary MACMILLAN LANGUAGEHOUSE)

リスニングⅠ

二村慎一

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

- 第1講 オリエンテーション
授業計画などの指示
- 第2講～ テキストを使って演習。
又、ニュース、歌なども聴く予定である。

【評価方法】

出席状況、平常点、定期試験によって評価

【テキスト】

Start Listening! (リスニングに強くなろう！)

(Paul McLean著 金星堂)

リスニングⅡ

平林美都子

1年表現A～F、多元CD 後期 選択(表現)、多元(必修) 2単位

【授業の概要】

英語をより正確に聞き取れるようになるための応用的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

第1回 授業の説明(カセットテープ持参すること)

第2回～12回 テキストを用いたリスニング演習

さらに以下のことも行う。

- ・判別しにくい英語の集中的な聴き取り練習
- ・耳で聴いた表現をそのまま繰り返す練習

【評価方法】

出席状況、課題、聞き取りテストを総合して評価する。

【テキスト】

Listening to Natural English

(矢作三蔵、William Phalon 編 開文社)

Numbers in English Book I-Listening & Dictation-

(Philip Hinder、松居司編 南雲堂)

リスニングⅡ

久野幸子

1年多元ABEF・環境A～F 後期 必修(多元)、選択(環境) 2単位

【授業の概要】

英語をより正確に聞き取れるようになるための応用的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

リスニングⅠに引き続き、できるだけ多くの英語を聞き取る訓練を行うが、リスニングⅡでは、基礎的な能力の開発に加えて、さまざまな種類の英語を正確に聞き取る訓練も行い、より高度な英語能力の育成を目指す。また、状況の類推的判断や内容の概略的理解といった応用的英語能力の育成のためにも、時間の許す限り多くの機会を提供したいと考えている。

第1回 イントロダクション

第2～6回 テキストを利用してリスニング演習

第7回 試験その1

第8～12回 テキストを利用してリスニング演習

第13回 試験その2 及びまとめ

【評価方法】

出席状況、平常点(予習、授業中の学習態度、小テストも含む)、試験(その1、その2)等で総合的に評価する。

【テキスト】

未定

【参考文献・資料】

授業中に指示する。

英会話 I

ダニエル・ダンクリー

2年表現A 前期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるための、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The aim of this course is to develop students' oral skills and to help them express themselves in English.

Students begin with a "warm up" activity to make them think about the theme. Then they work on vocabulary for the theme. They practice a short dialog, which shows one example of a natural interchange. Each dialog has a special pronunciation point. Then a listening task helps them to understand everyday real-life conversation. Finally they do a communication task or survey in pairs or groups.

1. Favorite foods
2. Sports, abilities
3. Birthdays, dates
4. Weekend activities, what you're going to do
5. Health, advice
6. Shopping, asking for help
7. Street directions, New York
8. Weekend activities, talking about past events.
9. Dates, family history
10. Events in your life
11. Telephoning, giving messages
12. Invitations on the telephone

【Assessment】

1. Attendance
2. Class work
3. Interview test

【Textbooks】

New Interchange Intro students' book B
(Richards Cambridge University Press)

英会話 I

ラリー・A. バドウィル

2年表現B・多元CDF 前期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるための、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The first part of the course will be used to review fundamental English conversational patterns, particularly yes/no and WH... questions and answers. We will then go on to activities in which you can practice communicating.

【Assessment】

You will be graded on your desire to improve your English speaking and listening skills. This means actively participating in class activities. Improving your English is up to you.

【Textbooks】

No specific textbook is required, but you must have a notebook specifically for this class. Activity worksheets will be provided by the teacher.

英会話 I

テリー・ワコルツ

2年表現CD・多元B・環境F 前期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるための、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The topics to be covered include; Family, Food, Home, Music, Vacation, Education, Shopping, Money, Health, Beliefs, TV, Opinions

【Assessment】

Assessment will be based on occasional vocabulary tests, attendance and class participation.

【Textbooks】

TOPIC TALK (David Martin EFL Press)

英会話 I

ベヴァリー・F. M. カレン

2年表現EF 前期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるため、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The course will begin with a focus on listening and learning to control understanding through conversation management strategies. Speaking and reading will be combined using closed caption video to improve fluency and increase vocabulary. Weekly e-mail will be encouraged.

【Assessment】

Student assessment is ongoing, and based on effort and participation, as well as ability and attendance. There will be an oral interview at the end of the term.

【Textbooks】

There is no assigned textbook.

英会話 I

アンソニー・P. ピッコロ

2年多元A・環境E 前期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるための、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

During the first third of the class, students will be involved in speaking activities (information gap, role play, discussion, etc.) evolving out of the viewing of short video excerpts. In the second third of the class, students will prepare and present short individual movie reviews. The final third of the class will consist of small group skits to be performed, video taped, and critiqued in class.

【Assessment】

Attendance and participation; effort and improvement; individual and group presentations.

【Textbooks】

No text required. All materials will be provided by the instructor.

英会話 I

ダニエル・ダンクリー

2年多元E 前期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるための、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The aim of this course is to develop students' oral skills and to help them express themselves in English. They will talk about the customs, practices and values of Japan and other countries.

Each class meeting will have a topic. Students begin with a "warm up" activity to make them think about the theme. Then they work on vocabulary for the theme.

A listening task helps them to understand everyday real-life conversation. Finally they do a communication task or survey in pairs or groups.

1. Names
2. Gestures and body language
3. Favorite things
4. Drinks
5. Festivals
6. First Dates
7. Part-time jobs
8. Gifts
9. Food
10. Looking good (clothes)
11. Cultural do's and don'ts
12. Television

【Assessment】

1. Attendance
2. Class work
3. Interview test

【Textbooks】

J-Talk (Lee, Yoshida, Ziolkowski Oxford University press)

英会話 I

マシュー・ボウデン

2年環境AB 前期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるための、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

This one semester course will give students an understanding of basic English. The focus of the course will be on speaking, but will also involve listening activities. Students will be asked to conduct various activities as a class, in pairs and in small groups. The course will cover a variety of topics which will include the following:

1. Getting Started
2. Music
3. Learning for Life-school life
4. Fashion
5. Great Escapes-vacations
6. Food
7. Jobs
8. Customs
9. Around Town
10. Movies

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation in class activities, and a brief interview test in the final class.

【Textbooks】

Springboard Student book 1 (Jack C.Richards OUP)

英会話 I

キンバリー・A. モリシー

2年環境CD 前期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるための、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

- 1 : Getting acquainted
- 2 : Music and Fashion
- 3 : Travel and Dating
- 4 : Food and Personalities
- 5 : Careers and Customs
- 6 : Around the town and Movies

【Assessment】

Assessment will be based on class participation, attendance and weekly quizzes.

【Textbooks】

Springboard 1

(D.Gordon and J. Richards Oxford University Press)

英会話Ⅱ

ダニエル・ダンクリー

2年表現A・環境A 後期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The aim of this course is to develop students' oral skills and to help them express themselves in English.

Students begin with a "warm up" activity to make them think about the theme. Then they work on vocabulary for the theme. They practice a short dialog, which shows one example of a natural interchange. Each dialog has a special pronunciation point. Then a listening task helps them to understand everyday real-life conversation. Finally they do a communication task or survey in pairs or groups.

1. Favorite foods
2. Sports, abilities
3. Birthdays, dates
4. Weekend activities, what you're going to do
5. Health, advice
6. Shopping, asking for help
7. Street directions, New York
8. Weekend activities, talking about past events.
9. Dates, family history
10. Events in your life
11. Telephoning, giving messages
12. Invitations on the telephone

【Assessment】

1. Attendance
2. Class work
3. Interview test

【Textbooks】

New Interchange Intro students' book B
(Richards Cambridge University Press)

英会話Ⅱ

ラリー・A. パドウィル

2年表現BD・多元CF 後期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The first part of the course will be used to review fundamental English conversational patterns, particularly yes / no and WH... questions and answers. We will then go on to activities in which you can practice communicating.

【Assessment】

You will be graded on your desire to improve your English speaking and listening skills. This means actively participating in class activities. Improving your English is up to you.

【Textbooks】

No specific textbook is required, but you must have a notebook specifically for this class. Activity worksheets will be provided by the teacher.

英会話Ⅱ

テリー・ワコルツ

2年表現CE・多元BE 後期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The topics to be covered include; Family, Food, Home, Music, Vacation, Education, Shopping, Money, Health, Beliefs, TV, Opinions

【Assessment】

Assessment will be based on occasional vocabulary tests, attendance and class participation.

【Textbooks】

now you're TALKING (Chris Elvin EFL Press)

英会話Ⅱ

ベヴァリー・F. M. カレン

2年表現F・環境F 後期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The course will begin with a focus on listening and learning to control understanding through conversation management strategies. The course will develop from weekly topics to a more sustained speaking project. Speaking and reading will be combined using closed caption video to improve fluency and increase vocabulary. Weekly e-mail will be encouraged.

【Assessment】

Student assessment is ongoing, and based on effort and participation, as well as ability and attendance. There will be an oral interview at the end of the term.

【Textbooks】

There is no assigned textbook.

英会話Ⅱ

アンソニー・P. ピッコロ

2年多元AD 後期 必修 2単位

[Course Content]

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

[Schedule]

We will begin with carefully structured small and large group discussions on selected topics. As the term progresses, we will move on to more challenging activities such as individual and group presentations, debates, and drama activities.

[Assessment]

Attendance and participation ; effort and improvement ; individual and group presentations.

[Textbooks]

To be announced in class.

英会話Ⅱ

キンバリー・A. モリシー

2年環境B 後期 必修 2単位

[Course Content]

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

[Schedule]

- 1 : Money
- 2 : Stress and Friendship
- 3 : Challenges and Vacations
- 4 : Animals and Relationships
- 5 : Values
- 6 : Advertising and Beliefs

[Assessment]

Assessment will be based on class participation, attendance and weekly quizzes.

[Textbooks]

Springboard 2

(D. Gordon and J. Richards Oxford University Press)

英会話Ⅱ

マシュー・ポウデン

2年環境CE 後期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The aim of the course is for students to practice speaking as much as possible. The point of the lessons will be to communicate in English on familiar topics.

Lessons will emphasize grammar and fluency exercises. There will be a lot of pair and group work involved. Classes will be conducted only in English.

Topics to be covered include:

1. Talking about yourself-family, hobbies.
2. Personal experiences-holidays, activities.
3. The future-hopes and ambitions.
4. Culture-comparing Western and Japanese lifestyles.
5. School life and work.

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation and a brief interview in the last class.

【Textbooks】

No text will be used, but students are advised to bring a file in which to keep the materials provided.

英会話Ⅱ

キンバリー・A. モリシー

2年環境D 後期 必修 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

- 1 : Getting acquainted
- 2 : Making an invitation and Telling past stories
- 3 : Talking about the future and Offering help
- 4 : Comparing things and Shopping
- 5 : Talking about illness and Giving suggestions
- 6 : Asking advice and Suggesting alternatives

【Assessment】

Assessment will be based on class participation, attendance, and weekly quizzes.

【Textbooks】

True Colors 2: An EFL Course for Real Communication (Jay Maurer and Irene Schoenberg, Addison Wesley Longman, Inc.)

ライティング I

ベヴァリー・F. M. カレン

1年表現1~6組・多元1~6組 前期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に書いて表現できるようになるための基礎的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

Students will write a number of essays over the course of the semester, including a narrative; description; comparison; and opinion paper. The principal goal of each paper is to be interesting, and students will be urged to consider their audience as they write. Students will also be taught to consider their introduction and conclusion; the organization of their paper; and choice of words. Throughout the course, students will learn from models or examples of student writing, and be encouraged to develop their papers through peer review and thoughtful revision.

【Assessment】

Student assessment will be ongoing, and based on effort and ability, completion of writing assignments, and attendance.

【Textbooks】

No textbook is required.

ライティング I

ミカ、トフ

1年多元1~6組 前期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に書いて表現できるようになるための基礎的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

- ・ Writing and revising papers on a variety of topics
- ・ Using the computer to write
- ・ Writing and sending e-mail

Students will be encouraged to think about their audience and to make their writing interesting for people to read, and at the same time to increase their vocabulary and knowledge of expressions through reading and through the use of dictionaries.

【Assessment】

Assessment will be based on the content of the papers written by the student, and on the amount of work a student puts into writing and improving the papers.

【Textbooks】

No textbook required.

ライティングⅠ

ヘザー・ドイロン

1年多元1～6組、環境1～6組 前期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に書いて表現できるようになるための基礎的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

Students will continue to improve their English writing skills on the computer by writing a story about themselves; describing their favourite thing; reviewing a movie; and doing a short Internet research project.

【Assessment】

Students will be required to complete a number of writing assignments. Assessment will be based on class work and writing assignments. There will be no final test.

【Textbooks】

To be announced.

ライティングⅡ

ヘザー・ドイロン

1年表現1～6組、環境1～6組 後期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に書いて表現できるようになるための発展的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

Lesson 1 : Basic Punctuation Practice
Lessons 2 & 3 : Writing Self Introductions
Lessons 4 & 5 : Using Time Expressions
Lessons 6 - 10 : Internet Research Project
Lessons 11&12 : Editing and Revision

【Assessment】

Students will be required to complete a number of writing assignments. Assessment will be based on class work and writing assignments. There will be no final test.

【Textbooks】

Words in Motion

(Osher, David. Oxford University Press, 1996)

ライティングⅡ

ミカ、トフ

1年多元1～4組 後期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に書いて表現できるようになるための発展的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

- ・ Writing and revising papers on a variety of topics
- ・ Using the computer to practise basic desktop publishing
- ・ Writing and sending e-mail.

This semester will offer practice so that students can refine their writing skills and take more responsibility in choosing a topic and developing the content.

【Assessment】

Assessment will be based on the content of the papers written by the student, and on the amount of work a student puts into writing and improving the papers.

【Textbooks】

To be announced later.

ライティングⅡ

ベヴァリー・F. M. カレン

1年多元5・6組 後期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に書いて表現できるようになるための発展的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The course will focus on the writing of personal essays. In writing their first essay, students will consider how detail makes any event vivid and memorable reading; the second essay will concentrate on description; later essays will include stories and observations. Throughout the course, students will be shown models of interesting writing, and be encouraged to develop their papers through peer review and thoughtful revision.

【Assessment】

Student assessment will be ongoing, and based on effort and ability, completion of writing assignments, and attendance.

【Textbooks】

No textbook is required.

TOEICトレーニング I

中川直志

1年表現AB・環境AB 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 第1回 | 授業計画指示 |
| 第2回～第7回 | 基礎演習：TOEICテストの問題構成、各セクションの解説を含む。 |
| 第8回～第13回 | 実践演習：よりレベルの高い問題に取り組む。 |

備考 リーディング問題については自宅で解答してくることを前提とする。リスニング問題については問題の解答とは別に英文の詳しい聞き取り練習も行う予定である。

【評価方法】

出席状況、平常点、試験を総合的に評価する。

【テキスト】

Listening and Reading for TOEIC (北尾謙治他著 英潮社)

TOEICトレーニング I

榎田裕加

1年表現CD・環境CD 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

- | | |
|----------|---------------|
| 第1回 | 授業計画指示 |
| 第2回～第6回 | テキストを利用して基礎演習 |
| 第7回 | 小テスト |
| 第8回～第11回 | テキストを利用して実践演習 |
| 第12回 | 小テスト |

【評価方法】

出席状況、平常点、小テスト、定期試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

Enjoy Learning the TOEIC Test

(石井隆之、中川昭、Thomas Koch著 三修社)

TOEICトレーニング I

水野江依子

1年表現EF・環境EF 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

授業ではTOEICのリスニングおよびリーディング、文法などの演習問題を総合的に行い、TOEICで求められる英語の運用能力を高めることを目指す。

- | | |
|----------|----------------------|
| 第1回 | オリエンテーションおよび模擬演習 |
| 第2回～第6回 | テキストを利用してリスニング演習 |
| 第7回～第12回 | テキストを利用して文法、リーディング演習 |
| 第13回 | 単位認定試験 |

【評価方法】

出席状況・平常点・単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

The Complete Guide to the TOEIC Test Book 2

〈JAPAN EDITION〉

(Bruce Rogers著 成澤義雄／武田淳編訳 松柏社)

TOEICトレーニング I

都築千絵

1年多元A～D 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

- | | |
|-----------|--------------------|
| 第1回 | 授業計画の指示、TOEICの概要説明 |
| 第2回 | 写真描写問題 |
| 第3回 | 応答問題 |
| 第4回 | 会話問題 |
| 第5回 | 説明文問題 |
| 第6回 | リスニング分野 小テスト |
| 第7回 | 文法・語彙問題 |
| 第8回 | 誤文訂正問題 |
| 第9回 | 読解問題 |
| 第10回 | リーディング分野 小テスト |
| 第11回～第12回 | リスニング・リーディング総合演習 |

【評価方法】

出席状況、宿題の提出、小テスト、学期末テストの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

Strategy for the TOEIC Test (横山竹己他編著 朝日出版社)

Enjoy Learning the TOEIC Test (石井隆之他著 三修社)

TOEICトレーニング I

大野清幸

1年多元EF 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

- 第1講 授業計画指示など
- 第2講～テキストなどを利用して演習

【評価方法】

出席状況、平常点、課題などによる。

【テキスト】

CNNビデオで見る世界のニュース
(関西大学英語教育研究会 朝日出版社)
TOEIC公式ガイド&問題集 (財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 国際コミュニケーションズ)

TOEICトレーニング I

二村慎一

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

- 第1講 オリエンテーション
授業計画などの指示
- 第2回～ テキストを使って演習

【評価方法】

出席状況、平常点、定期試験によって評価

【テキスト】

Enjoy Learning the TOEIC Test (Takayuki Ishii, Akira Nakagawa, Thomas Koch著 三修社)

TOEICトレーニングⅡ

隈井清臣

2年表現A～D・多元AB・環境A～D 前期 選択 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての発展的な能力を身につける。

【授業計画】

- 1) TOEIC Part2: READINGの強化を行う。
- 2) 問題形式を熟知させる。
- 3) 英語の読解力を増進させる。
- 4) 英語の文法知識を増進させる。
- 5) 英語の語い力を増進させる。

【評価方法】

テスト等の得点70%、授業の参加状況20%、出席の状況10%を総合して評価する。

【テキスト】

TOEICのためのリーディング演習（北尾 金星堂）

【参考文献・資料】

授業の中で適宜指示または紹介する。

TOEICトレーニングⅡ

加藤貞通

2年表現EF・多元CD・環境EF 前期 選択 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての発展的な能力を身につける。

【授業計画】

- | | |
|----------|---|
| 第1講 | TOEIC TESTリーディング部Part5、Part6、Part7の特徴の解説と読解力養成のイントロダクション。 |
| 第2講～第12講 | テキストを利用し毎回各1 Unitのリーディング問題演習 |
| 第13講 | まとめと試験 |

【評価方法】

平常点重視。何度かUnit毎のスコアの記録を提出する。締めくくりの試験実施。

【テキスト】

TOEIC TEST実践リーディング
(International Writing Services著、福澤清他編 北星堂)

TOEICトレーニングⅡ

中郷 慶

2年多元EF 前期 選択 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての発展的な能力を身につける。

【授業計画】

TOEIC (Test of English for International Communication) は、国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するためのテストである。多くの企業が新入社員の採用時、入社後の研修、昇進などに際してTOEICを受験し、ある一定のレベルを超えることを必須にしている。この授業の目標は、「TOEICトレーニングⅠ」に引き続き、受講生がTOEICの形式に慣れ、より高いスコアを取るステップとすることである。特に、リーディング・セクションの実力をつけることに主眼を置く。そこで、この授業では重要な文法項目を整理しつつ、無味乾燥な内容にならないように配慮し、英語の運用を中心に学習を進めながら、英語が使えるようになることを目指す。基礎的な文法力なくして、本当の英語の実力は実には付かないものである。

授業では、以下の内容を複合的に組み合わせて扱う。

1. テキストを用いた演習
2. 文法知識の整理
3. パラグラフを読みとる力の養成
4. 単語力の増強

【評価方法】

この種の授業では、継続的な勉強が不可欠な要素である。出席と課題を特に重視する。評価は平常点とテストによって行う。

【テキスト】

Bridge to Practical English: コミュニケーションのための英文法ワークブック

(北尾謙治、S. Kathleen Kitao共著 金星堂)

TOEICトレーニングⅢ

丹邊文彦

2年表現AB・環境AB 後期 選択 2単位

【授業の概要】

TOEIC形式の問題に万全に対処できるように、英語の総合力をさらに高めることを目標に学ぶ。

【授業計画】

1. 英語の音声の特徴の分析と練習
2. 日常生活で最低限必要な場面での聴取練習

第1回 期間計画提示

第2～4回 テキストのUnit1～Unit5

第5～7回 Unit6～Unit10

第8～10回 Unit11～Unit16

第11～12回 Unit17～Unit20

以上すべてテキストを解説した上でリスニング練習

【評価方法】

出席状況、平常点、Dictation等による

【テキスト】

20Listening Key Points (白野世津夫 弓プレス)

TOEICトレーニングⅢ

加藤貞通

2年表現C～F・環境C～F 後期 選択 2単位

【授業の概要】

TOEIC形式の問題に万全に対処できるように、英語の総合力をさらに高めることを目標に学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 TOEIC TESTリスニング部Part1、Part2、Part3、Part4の特徴の解説、聴解力養成、およびCDを利用した自習の仕方のイントロダクション。
- 第2講～第12講 テキストを利用し毎回各1Unitのリスニング問題演習
- 第13講 まとめと試験

【評価方法】

平常点重視。何度かUnit毎のスコアの記録を提出する。締めくくりの試験実施。

【テキスト】

TOEIC TEST実践リスニング (International Writing Services著、多賀谷真吾他編 北星堂)

TOEICトレーニングⅢ

稲生幹雄

2年多元AB 後期 選択 2単位

【授業の概要】

TOEIC形式の問題に万全に対処できるように、さらに、英語の総合力を高めることを目標に学ぶ。

【授業計画】

TOEICの得点力アップを目指し、練習を重ねて、英語力に磨きをかける。テキストは、①*Listening Tactics for the TOEIC Test*と②*Topic by Topic TOEIC Listening*の2点を併用する。①は“写真描写問題”を中心として構成された12章にMini Test 1, 2を添えたテキストで、②は短い時間で効果を取めうよう工夫された補助教材である。毎回の授業は、

- (1) まず、宿題（予習の成果を反映する内容のもの）に基づいて、問題の理解を確認し、
- (2) *Topic by Topic TOEIC Listening*の練習問題に取り組んだのち、
- (3) *Listening Tactics for the TOEIC Test*の練習問題によるドリルを展開し、
- (4) 仕上げの段階では、さらに音声聴きながら、配布された記入用紙（小テスト用紙を兼ねる）への記入も同時に進めていって、
- (5) 最後に次週の授業に向けての予習（と宿題）のポイントを確認する

——という順序で展開してゆく予定。上記2冊のテキストに付属している音声テープを活用して、生き生きとした英語の音声に慣れ親しむための練習を積みながら、リスニング力と総合的な英語力との向上を目指してゆく。

【評価方法】

小テストおよび宿題の得点の集積と、出席状況・受講状況を総合して評価する。

【テキスト】

Listening Tactics for the TOEIC Test

(Vanessa Shibata 他編 南雲堂)

Topic by Topic TOEIC Listening

(Shari J. Berman 他編 成美堂)

TOEICトレーニングⅢ

ベヴァリー・F. M. カレン

2年多元C～F 後期 選択 2単位

【Course Content】

TOEIC形式の問題に万全に対処できるように、英語の総合力をさらに高めることを目標に学ぶ。

【Schedule】

The course will begin by focussing on listening practice to improve understanding of more extended spoken discourse. In the following weeks, students will expand their general knowledge and improve their English cultural literacy in order to more fully understand the cultural contexts of the TOEIC listening problems. These skills will continue to be practised in the course, along with activities designed to develop predicting skills, and other test-taking strategies.

【Assessment】

Student assessment is ongoing, and based on effort and participation, as well as ability and attendance.

【Textbooks】

To be announced.

韓国・朝鮮語Ⅰ

飯田秀敏

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の初級講座として、文法・読解を中心とする基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【授業計画】

- 第1回 年間授業計画指示および韓国・朝鮮語の概説
- 第2回 文字と撥音（1）、簡単な日常表現練習（1）
- 第3回 文字と撥音（2）、簡単な日常表現練習（2）
- 第4回 文字と撥音（3）、簡単な日常表現練習（3）
- 第5回 文字と撥音（4）、簡単な日常表現練習（4）
- 第6回 文字と撥音（5）、簡単な日常表現練習（5）
- 第7回 文法と表現 [丁寧体平叙形（1）]
- 第8回 文法と表現 [丁寧体平叙形（2）]
- 第9回 文法と表現 [丁寧体疑問形]
- 第10回 文法と表現 [漢数詞]
- 第11回 文法と表現 [漢数詞の使い方]
- 第12回 文法と表現 [固有数詞]
- 第13回 文法と表現 [固有数詞の使い方]
- 第14回 前期のまとめ
- 第15回 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・レポート・単位認定試験の成績により総合的に評価する。レポートは参考図書を読後感。

【テキスト】

自家版テキストとプリント教材を用いる。詳しくは第1回目の授業で説明する。

【参考文献・資料】

朝鮮語のすすめ（渡辺吉鎔著 講談社）

韓国・朝鮮語Ⅱ

飯田秀敏

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の中級講座として、作文・会話を中心とする応用的な能力を、演習形式で身につける。

【授業計画】

- 第1回 文法と表現 [丁寧体命令文]
- 第2回 文法と表現 [丁寧体勧誘文]
- 第3回 文法と表現 [過去形 (1)]
- 第4回 文法と表現 [過去形 (2)]
- 第5回 文法と表現 [親しみのある丁寧体 (1)]
- 第6回 文法と表現 [親しみのある丁寧体 (2)]
- 第7回 文法と表現 [会話体 (1)]
- 第8回 文法と表現 [会話体 (2)]
- 第9回 文法と表現 [会話体 (3)]
- 第10回 文法と表現 [連体形]
- 第11回 重要な構文 (1)
- 第12回 重要な構文 (2)
- 第13回 重要な構文 (3)
- 第14回 1年間のまとめと今後の学習方法
- 第15回 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・レポート・単位認定試験の成績により総合的に評価する。レポートは授業中に指定する参考図書の読後感。

【テキスト】

自家版テキストとプリント教材を用いる。詳しくは第1回目の授業で説明する。

中国語Ⅰ

高峰

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の初級講座として、文法・読解を中心とする基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【授業計画】

発音練習を通じて、中国語の発音並びに発音記号を正確に把握すると同時に簡単な挨拶用語を練習し、さらに会話や作文を通して、判断文・描写文・叙述文の基本パターンを活用できるよう講義を進める。

1. 母音の発音練習と簡単な挨拶用語
2. 母音との発音練習と綴り
3. 子音の発音練習と簡単な挨拶用語
4. 子音の発音練習と綴り
5. 判断文における疑問文の構成の仕方
6. 判断文における疑問詞の用法
7. 指示代名詞と数量詞の組合せ
8. 判断文における所有関係の表現
9. 描写文における形容詞と程度副詞の用法
10. 動詞による疑問文の構成と否定用語の用法
11. 動詞の時制の使い方
12. 程度と状況の補語の用法
13. 試験

【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況によって総合的に評価する。

【テキスト】

これからの中国語 (高峰・近藤正子著 白帝社)

辞書： 学習者の選択に任せる。

中国語Ⅱ

高峰

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の中級講座として、作文・会話を中心とする応用的な能力を、演習形式で身につける。

【授業計画】

会話文と叙述文を通して、前置詞や常用文型及び慣用語の使い方の説明と練習を中心に授業を進め、中国語の基礎文法を体系的に把握できるようにくり返し練習を行う。

1. 距離・時間をめぐる慣用表現
2. 同上
3. 存在をめぐる慣用表現
4. 同上
5. 現在進行をめぐる文型
6. 同上
7. 依頼をめぐる慣用表現
8. 同上
9. 授受関係をめぐる慣用表現
10. 同上
11. 可能態に関する慣用表現
12. 同上
13. 試験

【評価方法】

単位認定試験と出席状況によって総合的に評価する。

【テキスト】

これからの中国語（高峰・近藤正子著 白帝社）

辞書： 学習者の選択に任せる。

ロシア語Ⅰ

丹邊文彦

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の初級講座として、文法・読解を中心とする基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【授業計画】

第1回 授業計画ガイダンス。ロシア語概観。

第2～5回 文字と発音

第6～12回 第1課～第3課

期末試験は実施する

練習問題、文法には最小限の時間を充て、本文（テキスト）中心に重点学習し、朗読の習慣を養成することにより、運用能力の基礎を養成する。副教材としてロシア民謡を活用する。

【評価方法】

平常授業の出席点、発音・朗読能力、期末テストの結果を総合評価する。

【テキスト】

1年生のロシア語（戸辺又方著 白水社）

【参考文献・資料】

ロシア語ミニ辞典（灰谷慶三著 白水社）

ロシア語のすすめ（講談社現代新書）

《エクスプレス》ロシア語（桑野隆著 白水社）CD付
英語の話し方（国弘正雄著 たちばな出版）——外国語全般の学習に適用できる方法論として推薦できる好著

ロシア語Ⅰ

杉本一直

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の初級講座として、文法・読解を中心とする基礎的な能力を、演習形式で身につける。

【授業計画】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができる場所は本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化について楽しく紹介していきます。

まず、例の不思議な形をした「キリル文字」をおぼえ、発音をおぼえ、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」をどんどん集めていきます。学ぶ項目は以下のとおりです。

- ・キリル文字と発音
- ・大きな声であいさつしよう
- ・買い物にしてみよう
- ・乗り物に乗ろう
- ・おなががすいたら
- ・自分について話してみよう
- ・手紙を書こう

【評価方法】

定期試験の成績による

【テキスト】

未定

ロシア語Ⅱ

丹邊文彦

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の中級講座として、作文・会話を中心とする応用的な能力を、演習形式で身につける。

【授業計画】

ロシア語Ⅰ履修を前提として、同じ教科書の継続。

第1回～3回 第4課

第4回～6回 第5課

第7回～9回 第6課

第10回～12回 第7課

【評価方法】

ロシア語Ⅰと同様、期末テストを含めた総合評価

【テキスト】

1年生のロシア語（継続）

【参考文献・資料】

ロシア語ミニ辞典（灰谷慶三著 白水社）

《エクスプレス》ロシア語（桑野隆著 白水社）CD付

コンピュータ実技Ⅰ

ポール・ルイス 川澄未来子 鬼頭英嗣

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

文書作成ソフトや表計算ソフトなどを活用して、効果的な学術論文作成の技能を身につける。

【授業計画】

- 第1回 パソコンの基本操作
- 第2回～第8回 MS-Word入門
- 第9回～第10回 MS-Excelによる簡単作表・作図
- 第11回～第12回 MS-WordとMS-Excelの連携

ただし、第2回～第8回までのいずれかの連続する2回において、学内LANによるインターネット利用および電子メール利用に関する基本的な講習（LAN講習）を実施する。LAN講習未受講者は、学内LANの利用が許可されないので、必ず受講すること。LAN講習の実施については、各担当者の指示に従うこと。

また、各パソコンに対応した2HDの3.5インチフロッピー・ディスクを各自2枚用意すること。

※なお、ルイス先生担当クラスは、英語による授業である。

【評価方法】

出席状況、授業態度および提出課題によって評価する。

【テキスト】

必要に応じてハンドアウトを配布する。

【参考文献・資料】

MS-WordおよびMS-Excelの基礎的な入門書を授業内で紹介する。

コンピュータ実技Ⅱ

川澄未来子

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

種々のアプリケーションソフトを有効利用して、より説得力のある文書を作成する技能を身につける。

【授業計画】

コンピュータ実習室における実習を中心に行う。なお、課題制作には授業時間外の作業が必要になる場合もある。

- 1 OSの基本操作
- 2 Excelを使ったデータ処理1
- 3 Excelを使ったデータ処理2
- 4 Excelを使ったデータ処理3
- 5 課題制作
- 6 PowerPointを使ったプレゼンテーション1
- 7 PowerPointを使ったプレゼンテーション2
- 8 PowerPointを使ったプレゼンテーション3
- 9 課題制作
- 10 HTMLを使ったホームページ作成1
- 11 HTMLを使ったホームページ作成2
- 12 HTMLを使ったホームページ作成3
- 13 課題制作

【評価方法】

出席状況、受講態度、提出課題、定期試験の総合評価によって決める。

コンピュータ実技Ⅱ

鬼頭英嗣

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

種々のアプリケーションソフトを有効利用して、より説得力のある文書を作成する技能を身につける。

【授業計画】

コンピュータ実習室における実習を中心に行う。なお、課題制作には授業時間外の作業が必要になる場合もある。

1. OSの基本操作
2. Microsoft Officeの概要
3. EXCELをつかった演習 その1
4. EXCELをつかった演習 その2
5. EXCELをつかった演習 その3
6. EXCELとWORDの連携演習
7. 課題制作
8. HTMLをつかったホームページ制作 その1
9. HTMLをつかったホームページ制作 その2
10. HTMLをつかったホームページ制作 その3
11. HTMLをつかったホームページ制作 その4
12. 課題制作
13. 課題制作

【評価方法】

出席状況、受講態度、提出課題、定期試験の総合評価によって決める。

コンピュータ実技Ⅱ

ポール・ルイス

2・3年 後期 選択 2単位

【Course Content】

種々のアプリケーションソフトを有効利用して、より説得力のある文書を作成する技能を身につける。

【Schedule】

このコースは英語による授業です。

Lesson 1 : Review of Office

Lessons 2 - 4 : Advanced work with spreadsheets

Lessons 5 - 8 : Using presentation software

(e.g. PowerPoint)

Lessons 9 -12 : Project work

【Assessment】

Assessment will be by attendance, class participation, work produced during the term, and final project work.

【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class meeting.

コンピュータ演習（通信）

川澄未来子 鬼頭英嗣

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ネットワーク環境における様々なコミュニケーションメディアの基本的な利用技術を身につける。

【授業計画】

コンピュータ実習室における実習を中心に行う。使用するツールは、wwwブラウザのNetscape Navigator、メールソフトのEudora Proなどである。次の項目に沿った内容を取り上げる。

- 1 インターネット
- 2 ブラウザ
- 3 ホームページ
- 4 情報検索
- 5 メーラー
- 6 電子メール
- 7 ネットワーク
- 8 セキュリティ
- 9 パソコン通信
- 10 ワイヤレス通信
- 11 モバイルコンピューティング

【評価方法】

出席状況、受講態度、提出課題、定期試験の総合評価によって決める。

文化創造総論

篠弘

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

伝統文化の継承の問題および現代文化のあるべき姿や方向に関する具体的な問題の検討を踏まえながら、文化創造学部の基本理念「文化創造」の意義やあり方について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 概論：日本語の現在
- 第2講 各論：美しい日本語
- 第3講 各論：詩的表現
- 第4講 各論：辞典の効用
- 第5講 概論：四季と風土
- 第6講 各論：古代人の感性
- 第7講 各論：日本人の死生観
- 第8講 概論：知的好奇心
- 第9講 各論：差別的表現
- 第10講 各論：組織と人間
- 第11講 各論：ボーダレスの時代
- 第12講 各論：プランニング
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験によって、総合的に評価。

【テキスト】

集英社新書 疾走する女性歌人
(篠弘著 集英社刊 680円＋税)

表現文化創造 I (総論)

篠弘

1年 前期 必修(表現)、選択(多元・環境) 2単位

【授業の概要】

文学的ないしは創造的な文章表現を対象として、言語を媒介とする創造的行為の原理や仕組みを学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 概論：リアリズムの現在
- 第2講 各論：歴史感覚
- 第3講 各論：感性と美意識
- 第4講 各論：事実のウェート
- 第5講 各論：描写力
- 第6講 各論：身体感覚
- 第7講 概論：創造的な表現
- 第8講 各論：幻想力と想像力
- 第9講 各論：フィクション
- 第10講 各論：喩的技法
- 第11講 各論：オノマトペ
- 第12講 各論：作品上の「私」
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験によって、総合的に評価。

【テキスト】

NHK短歌入門 生き方の表現
(篠弘著 日本放送出版協会刊 1,300円＋税)

多元文化創造 I (総論)

皆川修吾

1年 前期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

多種多様な国家・民族・地域文化の存在、それぞれが自存と共存を模索し、互いに進化し、変容している。そのプロセスを実証的且つ体系的に学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 文化の意味
- 第2講 個人、社会、国家のアイデンティティ
- 第3講 社会科学としての多元文化論
- 第4講 思想としての多元文化論
- 第5講 異文化間関係
- 第6講 文化と地域・階級・性別・職業・世代
- 第7講 言葉と文化
- 第8講 日本文化の社会的特徴「イエ」
- 第9講 政治文化
- 第10講 文化と文明の位置付け
- 第11講 文化・文明の変容
- 第12講 多元文化社会(国・国際)の条件と限界
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

単位認定試験の成績と各授業時間中のチュートリアル・タイム(20分)での質疑応答との総合評価による。報告指名を受けて質疑応答に参加しない者は減点される。

【参考文献・資料】

知的複眼思考法(荻谷剛彦著 講談社)
多文化世界(G.ホフステード著、岩井紀子他訳 有斐閣)
文化論のアリーナ(文化論研究会 見洋書房)
多文化主義社会の到来(関根政美著 朝日選書)
地球時代の民族=文化理論(西川長夫 新潮社)
タテ社会の人間関係(中根千枝 中央公論)
日本人の発想、日本語の表現(森田良行著 中公新書)
日本文化のゆくえ(河合隼雄著 岩波書店)
文明の生態史観(梅棹忠夫著 中公叢書)

環境文化創造 I (総論)

多田萬里子

1年 前期 選択(表現・多元)、必修(環境) 2単位

【授業の概要】

現代社会が直面している環境問題を、主に生体に及ぼす影響の観点から学び、我々の生活、健康と環境の関わりについて学ぶ。

【授業計画】

- 1. 地球の生物システム
地球環境と生物の進化
生物システムの中のヒト
ヒトから文化・文明を環境とする人間に、
生物の共通性と多様性
ゲノム(DNA)に書き込まれた生命の歴史
- 2. 地球環境と人の生活
地球規模の環境問題
酸性雨、温暖化、海洋汚染など
オゾン層破壊と紫外線障害
環境汚染物質の人体への影響
内分泌攪乱物質、発癌物質など
- 3. 科学技術の発展と環境問題
バイオテクノロジーと生態系
21世紀の人の生活

【評価方法】

出席状況、授業内の小テスト、学期末テストにより総合的に評価する。

【テキスト】

使用せず。講義の要旨はプリントを配布する。

【参考文献・資料】

明日の環境と人間(川合真一郎ら著 化学同人)
環境生物学(松原聡著 裳華房)
岩波講座:科学/技術と人間(岩波書店)
その他授業中に適宜紹介する

表現文化総合講座Ⅰ

篠弘 清水良典 島田修三
西田勝 馬場伸彦 矢頭純

1年 後期 必修(表現)、選択(多元・環境) 2単位

【授業の概要】

古典文学・現代文学・現代メディア表現を対象に、主として言語に拠る表現ジャンルの創造上の現実的・実践的な諸問題を最新の情報を通してオムニバス方式で学ぶ。なお、本学専任教員島田修三教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は、以下の通り。

(篠弘教授) 主として現代短歌とその展開を題材として、戦後から現代に至る歴史社会的な状況と文学的創造との関係の諸相について学ぶ。

(清水良典助教授) 主として現代小説とその批評を題材として、ポストモダン状況における新しい文学的創造の試みについて学ぶ。

(島田修三教授) 主として古代歌謡から万葉和歌を題材として、古典文学における創造の仕組みを修辭的な側面から学ぶ。

(西田勝教授) 主として近世の散文文学を題材として、古典文学における表現の特色や時代社会との相関性について学ぶ。

(馬場伸彦兼任講師) 主として現代の広告コピーや商業表現を題材として、現代の社会的構造の諸問題と上記の表現との関係について学ぶ。

(矢頭純教授) 主として新聞記事を題材として、現代社会における政治的・社会的な情報とその表現に関わる諸問題について学ぶ。

【授業計画】

第1回	講座の説明・篠弘教授講義
第2回	篠弘教授の講義
第3～4回	清水良典助教授講義
第5～6回	島田修三教授講義
第7～8回	西田勝教授講義
第9～10回	馬場伸彦兼任講師講義
第11～12回	矢頭純教授講義

【評価方法】

第1回の授業において説明する。

【テキスト】

授業中に指示する。

表現文化総合講座Ⅱ

たかべしげこ 酒井晶代 角田達朗
川澄未来子 木全純治 横村さとる

2年 前期 必修(表現)、選択(多元・環境) 2単位

【授業の概要】

演劇・絵本・舞台芸術・映画・コンピュータグラフィックス等を対象に、主として身体・映像表現に拠るジャンルの創造上の現実的・実践的な諸問題を最新の情報、ビジュアルな資料等を通してオムニバス方式で学ぶ。なお、本学専任教員酒井晶代助教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は、以下の通り。

(たかべしげこ兼任講師) 主として演劇を題材として、演技する者における脚本の解釈、役作りの方法といった実践的な諸問題について学ぶ。

(酒井晶代助教授) 主として絵本を題材として、文字と絵画の連動に拠る創造的表現の特質やそれが子供に及ぼす影響の諸問題について学ぶ。

(角田達朗助教授) 主として舞台芸術を題材として、演劇空間を創造する多様な意匠や技術の特色や効果について学ぶ。

(川澄未来子講師) 主としてコンピュータグラフィックスを題材として、電子メディア表現の創造的性質や可能性について学ぶ。

(木全純治兼任講師) 主として映画を題材として、現代の映像表現における映画の意味や映画の表現の独自性に関わる諸問題について学ぶ。

(横村さとる兼任講師) 主としてアニメ・コミックを題材として、サブカルチャーとしてのアニメ・コミックが現代文化に果たす役割やその創造的な意味について学ぶ。

【授業計画】

※担当者の都合により、順番が変更される場合があるので注意すること。

第1回	講座の説明・酒井晶代講義
第2回	酒井晶代講義
第3～4回	角田達朗講義
第5～6回	川澄未来子講義
第7～8回	木全純治講義
第9～10回	横村さとる講義
第11～12回	たかべしげこ講義

【評価方法】

第1回の授業において説明する。

【テキスト】

授業中に指示する。

多元文化総合講座Ⅰ

榎田勝利 小倉千加子 杉本一直 曹述燮

1年 後期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

現代日本をとりまくさまざまな文化的事象を対象に、主として、日本と海外との交流や国際理解、現代日本文化などの諸問題をオムニバス方式で学ぶ。なお、本学専任教員榎田勝利教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は、以下の通り。

(榎田勝利教授) 国際ボランティア活動や国際協力の立場から、日本が現在直面している課題と、今後のあり方について学ぶ。

(小倉千加子教授) 現代日本文化の特徴を、ジェンダー心理学の立場から学ぶ。

(杉本一直助教授) 日本文学とロシア文学とのこれまでの関係、現状、今後の課題について学ぶ。

(チョ・スルソップ講師) 日本と韓国・朝鮮、中国とのこれまでの関係、現状、今後の課題について学ぶ。

【授業計画】

- | | | |
|------|----------------------|----------|
| 第1講 | ガイダンス・国際社会と日本 | 榎田勝利 |
| 第2講 | 日本人の性意識の多層性 | 小倉千加子 |
| 第3講 | 結婚と家族意識の実態 | 小倉千加子 |
| 第4講 | 少子化・晩婚化と21世紀の日本 | 小倉千加子 |
| 第5講 | 現代日本とロシアを考える | 杉本一直 |
| 第6講 | ロシア・アヴァンギャルド再考 | 杉本一直 |
| 第7講 | 外国から見た日本文化、日本文学 | 杉本一直 |
| 第8講 | 韓国・朝鮮文化の源流をたずねて | チョ・スルソップ |
| 第9講 | 韓国・朝鮮文化と中国文化との接点について | チョ・スルソップ |
| 第10講 | 韓国・朝鮮文化と日本文化との接点について | チョ・スルソップ |
| 第11講 | 日本の国際貢献・NGOとODA | 榎田勝利 |
| 第12講 | 日本の国際貢献・NGOとボランティア | 榎田勝利 |

【評価方法】

レポートと授業への参加状況等により総合的に評価する。

【テキスト】

使用しない

【参考文献・資料】

授業開講時に指示する。

多元文化総合講座Ⅱ

久野幸子 稲生幹雄 大野清幸

平林美都子 宮田Susanne 中郷慶

2年 前期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

世界を構成しているさまざまな要素のうち、特に言語を対象に、主として、言語の文学的・文化的・言語的意味や特徴に関する諸問題をオムニバス方式で学ぶ。なお、本学専任教員久野幸子教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は以下の通り。

(久野幸子教授) 多元文化総合講座Ⅱ全体のプロローグとエピソードを担当し、プロローグにおいて、講座の狙いと問題意識を明らかにする。また、本講座の1トピックを担当し、イギリス文学を題材に、イギリス文学の言語的特徴、歴史、ヨーロッパ地域や世界におよぼした文化的影響について学ぶ。(稲生幹雄教授) 英米演劇を題材に、その成立や伝統、英米文化におよぼした影響について学ぶ。

(平林美都子助教授) カナダ文学を題材に、カナダ文学の言語的特徴、歴史、北米地域や世界におよぼした文化的影響について学ぶ。

(大野清幸助教授) 主として、日本語と英語を対象に、人間の言語獲得の特徴に関する初歩的な問題を学ぶ。

(宮田 Susanne助教授) 異文化間の人間のコミュニケーションの際に生じる問題を取り上げ、その原因の一つとして考えられる親子の接し方の問題を、主として会話のスタイルの文化差を分析しながら学ぶ。

(中郷慶講師) 生成文法理論の枠組では、人間の言語獲得のシステムをどのようにとらえているのか、普遍文法と個別文法の概念などを解説し、言語に対する新しい見方を学ぶ。

【授業計画】

- | | | |
|------|-------------------------------|-----------|
| 第1講 | ガイダンス・イギリス文学と新世界発見 | 久野幸子 |
| 第2講 | イギリス文学と帝国主義 | 久野幸子 |
| 第3講 | イギリスの文化と演劇
—中世からルネッサンスへ— | 稲生幹雄 |
| 第4講 | シェイクスピア演劇が示唆するもの、アメリカ演劇と文化の変遷 | 稲生幹雄 |
| 第5講 | 言語科学 | 大野清幸 |
| 第6講 | 言語獲得研究 | 大野清幸 |
| 第7講 | コミュニケーションスタイルの文化差について | 宮田Susanne |
| 第8講 | 在日外国人をめぐる | 宮田Susanne |
| 第9講 | 言語の習得と生成文法理論 | 中郷慶 |
| 第10講 | 自然言語の体系と特徴 | 中郷慶 |
| 第11講 | 移民の国カナダとその特徴 | 平林美都子 |
| 第12講 | 現代カナダ文学の潮流 | 平林美都子 |

【評価方法】

レポートと授業への参加状況等により総合的に評価する

【テキスト】

使用しない

【参考文献・資料】

授業開始時に指示する

環境文化総合講座Ⅰ

多田萬里子 杉浦信彦 棚橋昌子
楊 衛平 土田正子

1年 後期 選択(表現・多元)、必修(環境) 2単位

【授業の概要】

現代社会における環境問題を主に「健康と環境」との視点を軸として、健康に生活するための環境のあり方について、オムニバス方式によって学ぶ。なお、本学専任教員多田萬里子教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は、以下の通り。
(多田萬里子教授) 環境文化総合講座Ⅰ全体のプロローグとエビロークを担当し、プロローグにおいて、講座の狙いと問題意識を明らかにする。また、本講座の1トピックスを担当し、外的環境要因と人体内部環境との関係性をホメオスタシスの観点から学ぶ。
(杉浦信彦教授) 日常生活における様々な身体的リスクへの対処法について、主に衛生科学の観点から学ぶ。
(棚橋昌子教授) 主に日常生活を取り巻く様々な次元の環境の問題を生活者の視点から学ぶ。
(楊衛平助教) 健康な日常生活のハード、ソフトの整備を主に医学的な観点から学ぶ。
(土田正子兼任講師) 豊かで快適な生活環境の設計について、主に衣環境の側面から学ぶ。

【授業計画】

第1講	ガイダンス：健康と環境	多田萬里子
第2講	環境要因としての水	
	1. 地球環境としての水	杉浦信彦
第3講	2. 生命と水	杉浦信彦
第4講	食生活と健康	楊 衛平
第5講	伝統医学に見る食養	楊 衛平
第6講	生活習慣病に対する伝統食養法	楊 衛平
第7講	生活環境と疲労	
	1. 疲労のメカニズム	棚橋昌子
第8講	2. 文明の発達と疲労	棚橋昌子
第9講	衣と人の生活	
	1. 衣生活と健康	土田正子
第10講	2. 現代衣生活の諸問題	土田正子
第11講	地球環境と人の生活	
	1. 環境化学物質と健康	多田萬里子
第12講	2. 環境要因と疾患	多田萬里子
	まとめ	

【評価方法】

各教官による評価(レポートまたはテスト)を総合して評価する。

【テキスト】

使用せず。講義の要旨はプリントを配布する。

【参考文献・資料】

授業中に指示する。

環境文化総合講座Ⅱ

永田忠夫 高橋啓介 ポール・ルイス
若松孝司 杉浦淳吉 渡辺達

2年 前期 選択(表現・多元)、必修(環境) 2単位

【授業の概要】

現代社会における環境を1つの文化として捉え、「生活と人間」との視点を軸として、人間性豊かな生活文化のあり方について、オムニバス方式によって学ぶ。なお、本学専任教員永田忠夫教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は以下の通り。
(永田忠夫教授) 環境文化総合講座Ⅱ全体のプロローグとエビロークを担当し、プロローグにおいて、講座の狙い、問題意識を明らかにする。また、本講座の1トピックスを担当し、ストレスがもたらす様々な心理的問題を主に臨床心理学の観点から学ぶ。
(Paul Lewis講師) マルチメディアの急速な進歩が、今日の情報社会の環境に及ぼす影響について学ぶ。
(高橋啓介助教) 外的環境の知覚・認知処理の様式や特性を心理学の観点から学ぶ。
(若松孝司講師) 開発に伴って生じる多様な生活・文化に関わる環境問題を、国際開発論の視点から学ぶ。
(渡辺達兼任講師) より快適で豊かな住環境のデザインやコーディネイトの方法について学ぶ。
(杉浦淳吉兼任講師) 環境問題を、主に地域固有の特性と関連づけて理解し、その解決策について学ぶ。

【授業の計画】

以下のテーマで講義する。

1. 「人間性豊かな生活文化」を考える視点について
2. 人は、外的環境をどのように認知しているのか
3. 人は、ストレス社会でどのように心理的な適応を保つのか
4. より快適で豊かな住環境をどのように整えていったらよいのか
5. 人は、地域社会の環境問題にどう立ち向かうのか
6. 国際開発が、生活・文化環境にどのような影響をもたらすのか
7. 情報社会のなかで、マルチメディアの発展がなにをもたらすのか

※なお、ルイス先生担当授業は、英語による授業である。

【評価方法】

出席状況、各授業内容ごとのレポートやテスト等の成績を総合して評価する。

【参考文献・資料】

各担当教員が授業時に指示する。

関連科目

日本語論

山本雅子

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本語学的な観点から、日本語の成立や史的展開をたどり、現代日本語の文法や語彙又は音韻の性格について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 言語と話者
- 第2講 文法と話者①
- 第3講 文法と話者②
- 第4講 文法と話者③
- 第5講 文法と話者④
- 第6講 メタファーの意義①
- 第7講 メタファーの意義②
- 第8講 メタファーの意義③
- 第9講 日本語の歴史①
- 第10講 日本語の歴史②
- 第11講 話し言葉と書き言葉①
- 第12講 話し言葉と書き言葉②

【評価方法】

出席状況・プレゼンテーション・レポートによって総合的に評価する

【参考文献・資料】

授業中に配布、及び指示する。

国語学

広瀬英史

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

国語学的な観点から、日本語の語彙の成立過程およびその固有の性格について体系的な語彙論のもとに学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 序論1：語彙とは
- 第2講 序論2：異文化理解と語彙研究
- 第3講 序論3：語彙論の課題（元素論と総体論・延べと異なり）
- 第4講 各論1：語彙の歴史と語彙の分類
- 第5講 各論2：語彙の分類1（量的性質）
- 第6講 各論3：語彙の分類2（語種・品詞など）
- 第7講 各論4：語彙の分類3（語彙の体系）
- 第8講 各論5：『分類語彙表』について
- 第9講 各論6：比較語彙研究1（「万葉語彙の構造」）
- 第10講 各論7：比較語彙研究2（語の単位と定義・コード付けの問題）（研究対象の語彙と研究方法）
- 第11講 各論8：比較語彙研究3（研究紹介）
- 第12講 各論9：再び語彙論の課題

【評価方法】

授業中の確認テストと試験によって総合的に評価する。

【参考文献・資料】

比較語彙研究序説（田島毓堂著 笠間書院版）

詩学

柏木義雄

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として日本の詩作品を対象とし、詩の本質や詩の言葉の構成等に関する批評的読解の方法について学ぶ。

【授業計画】

- 1 近・現代詩の詩史概観
- 2 詩による意味の創出
- 3～5 「時」をどのように捉えて表現したか
有明、白秋、達治、犀星らの技法について
- 6 歌の姿 詩の形
- 7 リズム、響きの働き
- 8～9 現代の詩人の作品を読む～読みの試み
谷川俊太郎「母を売りに」「わらべうた」他
- 10 定型詩の試みの意味するもの
- 11 ウソがウソでなくなるとき
- 12 まとめ

【評価方法】

・テスト、出席状況による

【テキスト】

・なし（プリントを配付する）

【参考文献・資料】

・内容によりその都度指示する。

日本文学史 I

篠弘

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

明治から大正、昭和初期に至る日本の近代文学の史的展開を、主として詩歌の視点からとらえ、近代文学史の諸問題を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 概論：新体詩と短歌
- 第2講 各論：ナショナリズムと詩歌
- 第3講 各論：「明星」のロマン
- 第4講 概論：自然主義文学の影響
- 第5講 各論：短歌滅亡論の系譜
- 第6講 各論：「写生」の展開
- 第7講 各論：シュルレアリスムの技法
- 第8講 各論：プロレタリア短歌
- 第9講 概論：日中戦争と歌人たち
- 第10講 各論：戦中・戦後の言論統制
- 第11講 各論：知性の抒情化
- 第12講 各論：想像力の拡大
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験によって、総合的に評価。

【テキスト】

現代秀歌百人一首
(篠弘・馬場あき子編著 実業之日本社刊 2,000円＋税)

比較文学論

杉本一直

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

欧米と日本の近代小説を対象として、欧米からの影響関係や日本独自の展開、また欧米に与えた影響について学ぶ。

【授業計画】

- | | | |
|------|------|----------------------------------|
| 第1回 | 概論 | 20世紀の世界文学 |
| 第2回 | 各論1 | 「ラテン・アメリカ文学」
J.L.ボルヘス、J.コルタサル |
| 第3回 | 各論2 | 「アメリカ文学」
P.オースター、N.ベイカー |
| 第4回 | 各論3 | 「イタリア文学」
I.カルヴィーノ、A.タブッキ |
| 第5回 | 各論4 | 「フランス文学」
A.カミュ、P.モディアーノ |
| 第6回 | 各論5 | 「ロシア文学1」
V.フレーブニコフ、V.マヤコフスキイ |
| 第7回 | 各論6 | 「ロシア文学2」
E.ザミャーチン、V.ペレーヴィン |
| 第8回 | 各論7 | 「ポーランド文学」
S.レム、V.ゴンブローヴィチ |
| 第9回 | 各論8 | 「チェコ文学」
K.チャペック、M.クンデラ |
| 第10回 | 各論9 | 「亡命者文学」
V.ナボコフ、S.ベケット |
| 第11回 | 各論10 | 「日本文学1」
安部公房、芥川龍之介 |
| 第12回 | 各論11 | 「日本文学2」
村上春樹、高橋源一郎 |

【評価方法】

出席状況とレポートによって評価する。

【テキスト】

プリント配布

中国文学 I

曹 述燮

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の古典文学作品の原文をテキストとして、訓読による講読を行いながら、近代以前の中国の歴史社会状況を理解し、作品の文学的意味や価値について学ぶ。

【授業計画】

- | | |
|---------|------------|
| 第1・2講 | 先秦文学 |
| 第3・4講 | 秦・漢の文学 |
| 第5・6講 | 魏・晋・南北朝の文学 |
| 第7・8講 | 隋・唐の文学 |
| 第9・10講 | 五代・宋・金の文学 |
| 第11・12講 | 元の文学 |
| 第13・14講 | 明・清の文学 |
- 概論に属するパートは講義・解説していくが、その他は学習者がそれぞれテキストを予習し発表する形式を取る。

【評価方法】

出席状況、授業のための準備状況、そして期末のレポートあるいはテストで評価する。

【テキスト】

中国文学史（前野直彬 東京大学出版社）

【参考文献・資料】

中国学芸大事典（近藤春雄 大修館書店）
中国歴史文化事典（孟慶遠主編 新潮社）など

中国文学Ⅱ

曹 述 斐

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の近代以降の文学作品の原文をテキストとして、訓読による講読を行いながら、19世紀から20世紀に至る中国の近代・現代の歴史社会的な変遷を理解し、作品の文学的な意味や価値について学ぶ。

【授業計画】

- 第1・2講：総論
- 第3・4講：近代文学の胎動期
- 第5・6講：文学革命と5・4運動
- 第7・8講：左翼文芸運動
- 第9・10講：抗日戦争の時代
- 第11・12講：人民文学の誕生と展開

概論に属するパートは講義・解説していくが、その他は学習者がそれぞれテキストを予習し発表する形式を取る。

【評価方法】

出席状況、授業のための準備状況、そして期末のレポートあるいはテストで評価する。

【テキスト】

中国文学史（前野直彬 東京大学出版社）

【参考文献・資料】

中国学芸大事典（近藤春雄 大修館書店）
中国歴史文化事典（孟慶遠主編 新潮社）など

中国思想史

角田達朗

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主として儒教思想の成立と展開をたどり、中国社会および周辺諸国に儒教の果たした役割と意味について学ぶ。

【授業計画】

中国思想の展開を概観し、それが日本にどのような影響を与えたかを知るための手立てとして、江戸時代の代表的な陽明学者であり、大塩平八郎の乱の首謀者としても知られる大塩中斎の著作を選読する。

- 第1回 ガイダンス
- 第2～4回 大塩中斎の学問観
- 第5～7回 「太虚に帰す」という思想
- 第8～11回 反乱への傾斜
- 第12回 洗心洞の日常

【評価方法】

平常点・試験

【テキスト】

プリントを配布する。

児童文化論

酒井晶代

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

児童文化といわれる具体的な事象を対象として、広く子供の文化を形成している原理を探り、その価値と意味について学ぶ。

【授業計画】

子どもの文化、文化財をめぐる諸事象のなかで、この講義では特に、絵本をはじめとする映像メディアとその周辺の問題を取り上げる。

講義では絵本を中心に、紙芝居、アニメーション等の表現上の特徴を、具体的な作品を通して検討するとともに、多様なメディアが氾濫する現代社会のなかで、子どもたちがそれぞれの表現をどのように受容しているのか、さらには、個々のメディア間をどのように繋ぎあわせながら、物語を享受しているのか、受講者の意見交換を通して考えてみたい。

- | | |
|---------|-----------------|
| 第1回 | 子ども文化とは何か |
| 第2～5回 | 絵本の表現をめぐって |
| 第6～7回 | 紙芝居の表現をめぐって |
| 第8～9回 | アニメーションの表現をめぐって |
| 第10～11回 | 子ども文化とメディア |
| 第12回 | 講義のまとめ |

【評価方法】

出席状況、レポート、試験等により総合的に評価する。

【参考文献・資料】

- 絵本づくりトレーニング（長谷川集平著 筑摩書房）
絵本はいかに描かれるか—表現の秘密—
（藤本朝巳著 日本エディタースクール出版部）
紙芝居・共感のよろこび（まついのりこ著 童心社）
物語の放送形態論—仕掛けられたアニメーション番組—
（畠山兆子・松山雅子共著 世界思想社）
子どものメディアを読む（ドルフマン著 晶文社）

演劇文化論

安田徳子

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として歌舞伎・浄瑠璃等の日本の演劇を対象として、演劇が歴史的に果たして来た文化的な意味や価値について学ぶ。

【授業計画】

- | | |
|--------|---------------|
| 第1回 | 浄瑠璃の始まり |
| 第2回 | 浄瑠璃の展開と意義 |
| 第3回 | 歌舞伎の始まり |
| 第4回 | 野郎歌舞伎まで |
| 第5回 | 和事と荒事 |
| 第6回 | 歌舞伎の音楽 |
| 第7回 | 劇場について |
| 第8～11回 | 歌舞伎・浄瑠璃の興行と作品 |
| 第12回 | 村芝居 |

4月中の講義で、御園座の歌舞伎の劇場鑑賞を行います。

【評価方法】

出席状況と課題レポートによる。

【テキスト】

歌舞伎入門（安田文吉・安田徳子著 おうふう）

映像文化論

吉村英夫

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主として映画作品を対象として、映像が作品のストーリーやテーマを具体的に具象化する原理や仕組みについて学ぶ。

【授業計画】

日本映画の魅力の再発見を中心に。黒澤明と山田洋次監督作品、さらに山田洋次の系譜を遡って松竹大船映画が描く「家族」をテーマとした映画を鑑賞し楽しみながら、映像文化について、さらには映画で何を語れるかなどを考察したい。

第1回 なぜ日本映画はハリウッド映画に負けているか。どうして諸君は洋画が好きなのか。日本映画衰退について、そして21世紀の日本映画の再興について

第2～5回 黒澤ワールドとは何かを、黒澤映画を楽しみながら考えてみる。参考上映は『天国と地獄』『椿三十郎』『生きる』『野良犬』など。

第6～9回 『男はつらいよ』は若者文化、若い人の感性とは無縁な映画だろうか。寅さんシリーズを鑑賞し『男はつらいよ』とは何だったかを考える。山田洋次の『幸福の黄色いハンカチ』その他作品も参考上映したい。

第10～12回 山田洋次につらなる系譜とは、松竹大船映画である。大船映画の歴史をひもとき、小津安二郎・木下恵介の映画についても知る。外国映画に対する日本映画の独自性や、日本映画における「家族」の問題を考えていく。参考上映として小津『生れてはみたけれど』、木下『野菊の如き君なりき』等を予定。

第13回 テストを予定。

【評価方法】

テスト、出席、レポート（雑文風感想）などによる。

【参考文献・資料】

『松竹大船映画』小津安二郎・木下恵介・山田太一・山田洋次の描く「家族」（吉村英夫 創土社 定価2200円）

伝統芸能論

安田文吉

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主として歌舞伎を対象として、伝統的な様式・作法・所作等によって成立する表現芸術の意味について学ぶ。

【授業計画】

歌舞伎・人形浄瑠璃を中心とする近世芸能は、それに先行する諸々の文化・芸能・文学を取り込んで成立している。本講義では、歌舞伎・人形浄瑠璃の成立と展開を中心に、VTRを見ながら、所作・台詞・衣裳・音楽・効果（お囃子）・大道具その他の表現方法を考え、あわせて近世芸能文化の特色を検討する。取上げる代表的作品は『けいせい仏の原』『雷神不動北山桜』『助六』『勧進帳』『菅原伝授手習鑑』など。

歌舞伎の成立

歌舞伎独特の表現方法（女方・和事・荒事）

VTR：女方・和事・荒事の代表作品の鑑賞

所作・台詞・隅取り・衣裳・音楽・効果・大道具・小道具にも注意する。

和事・荒事の代表作品を構成する先行の文学作品・文化の研究

芸能伝承のありよう（家元制度など）の研究

御園座の十月興行「吉例顔見世」夜の部の鑑賞と研究
上演作品の梗概と見どころなどの解説

近世芸能文化が表現するところの特色

【評価方法】

レポート試験

【テキスト】

歌舞伎入門（おうふう）

歌舞伎のたのしみ（北白川書房）

出版文化論

篠弘

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

急速に変化する情報社会において、出版が直面する多様な問題・現代文化との関連・影響関係について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 概論：出版文化
- 第2講 各論：書籍と雑誌
- 第3講 各論：印刷技術と出版
- 第4講 各論：出版権
- 第5講 各論：著作権
- 第6講 各論：流通のシステム
- 第7講 各論：ベストセラー
- 第8講 各論：外国との共同出版
- 第9講 概論：現代の編集作業
- 第10講 各論：プランニング
- 第11講 各論：判型・組み方
- 第12講 各論：装本・割付
- 第13講 各論：写真・イラスト

【評価方法】

出席状況と出版企画に関するレポートによって、総合的に評価。

【テキスト】

必要に応じて、プリントを配布する。

マスメディア

遠藤雄久

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主としてテレビというマスメディアの現代社会において果たす意味や役割、その可能性について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 総論
- 第2講 新聞—新聞の種類、組織と取材
- 第3講 新聞—通信社、新聞経営と製作の仕組み
- 第4講 新聞—電子新聞、新聞の読者
- 第5講 放送—放送制度と事業者
- 第6講 放送—番組制作・編成
- 第7講 放送—視聴者
- 第8講 メディア境界領域—概観
- 第9講 インターネット
- 第10講 メディアの一体化
- 第11講 映画—映画産業と観客
- 第12講 映画ソフトの多重使用
- 第13講 まとめ

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合判断

【テキスト】

授業中に指示

国際政治学

皆川修吾

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

冷戦時の国際権力政治構造から相互依存の国際体系へ移行するなかで、国家の存在意義と、民主制や市場経済のグローバル化、国際秩序形成過程等を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 国際政治の主体と課題：安定と秩序、戦争と平和
- 第2講 民主国家体制
- 第3講 社会主義国家体制
- 第4講 権威主義体
- 第5講 制体制移行期の国際政治：ナショナリズムと国際秩序形成
- 第6講 権力政治論：国家間および地域紛争
- 第7講 相互依存論：通商および危機管理
- 第8講 国際社会と国際機関
- 第9講 国際機関の貢献：環境、人口、食料、女性問題など
- 第10講 グローバル化と国際政治
- 第11講 繁栄と危機管理
- 第12講 近代文明と国際政治
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況との総合評価による。

【参考文献・資料】

国際社会論（ヘドリー・ブル著 岩波書店）
比較政治学
（ジョヴァンニ・サルトーリ著 早稲田大学出版部）
参照専門誌：
外交フォーラム（外務省編 都市出版社）
国際政治（日本国際政治学会編 有斐閣）
政治学（日本政治学会編 岩波書店）

国際協力論

榎田勝利

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

台頭するアジア諸国のNPO、NGOと日本との国際文化交流・文化協力の歴史的背景および現状と課題について学ぶ。

【授業計画】

テーマ：日本とアセアン諸国の国際文化交流・文化協力講義と各学生による自由研究発表で授業を進める。

- 1) アセアンとは
- 2) 国際文化交流・文化協力の現状と特徴
- 3) 戦後日本の国際文化交流政策
- 4) 国際文化交流活動の主体
総理府、外務省、文部省・文化庁・日本学術振興会、自治省・地方自治体、国際交流基金、平和友好交流計画、民間セクター（企業、民間助成財団、国際文化交流団体、国際協力NGO）
- 5) 国際文化交流の活動内容
知的交流、学術交流、教育交流、青少年交流、スポーツ交流、技術協力、芸術交流、文化保存協力、草の根交流、相互理解のための交流、多角的・多面的交流
- 6) アセアン諸国と日本語教育
- 7) アセアン諸国のNPO、NGO、ボランティア
- 8) 21世紀の日本の国際文化交流・文化協力

【評価方法】

課題研究レポートと平常点で評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

【参考文献・資料】

国際文化論（平野健一郎編 勁草書房）
国際交流入門（榎田勝利監修 アルク）
実践国際交流（大阪国際交流センター発行）
文化交流の時代へ（榎泰邦著 丸善ブックス）
アジアのNPO（GAP監修 アルク）
アジア太平洋のNGO（日本国際交流センター アルク）

フェミニズム概論

小倉千加子

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

よりよい社会を形成する一助とするために、女性と男性のあり方とさまざまな問題点を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 フェミニズムという思想
- 第2講 セクシュアリティとフェミニズム①
- 第3講 セクシュアリティとフェミニズム②
- 第4講 「伝統」とフェミニズム
- 第5講 専業主婦をめぐる問題
- 第6講 生物学的決定論とジェンダー形成の理論
- 第7講 第一期フェミニストのディレンマ
- 第8講 性科学の発生とその限界
- 第9講 心理学とフェミニズム
- 第10講 売買春をめぐる論争
- 第11講 セックス・ワーカーの意識調査
- 第12講 ポスト・モダン・フェミニズム
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・試験成績によって統合的に評価する。

【テキスト】

セックス神話解体新書（小倉千加子著 ちくま文庫）

民主主義と人権

本 秀紀

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

多元化する今日の文化状況の中で、異文化接触時に生じる様々な問題を、特に憲法における基本的人権の観点から検討し、その解決の方途について学ぶ。

【授業計画】

新聞報道などから、できるかぎり身近で具体的な素材を取り上げつつ、まずは現実を知り、その上で諸問題への対応を考える力を養う。

基本的には講義形式で行うが、受講生の問題関心を高めるため、適宜質疑をしたり、ビデオを観る予定である。

授業内容は現在のところ、おおよそ以下の通りだが、そのときどきのトピックによって変更もありうる。

- 1 はじめに：「民主主義と人権」って？
- 2 企業社会と人権：過労死、育児休業
- 3 女性と人権：セクシャル・ハラスメント
- 4 マスメディアと人権：プライバシー侵害
- 5 子どもと人権：校則・体罰、少年法
- 6 医療と人権：インフォームド・コンセント
- 7 外国人と人権：参政権、出入国管理
- 8 ゴミ問題と民主主義：廃棄物処分場と環境
- 9 政治の仕組みと民主主義：選挙制度、国会

【評価方法】

学期末の筆記試験（受講者数によってはレポート）を基本とし、ビデオへの感想などを加味する。

【参考文献・資料】

テキストブック現代の人権〔第2版〕（川人博編著 日本評論社〈1996年〉）。なお、必要に応じて、講義の際に資料・レジュメ等を配布する。

外交史

皆川修吾

1・2年 後期 選択 2単位

【授業概要】

戦後日本外交史を考察し、日本外交の指向性と国際的な評価、意志決定の仕組み、そして環境問題など国際的な課題への今後の日本外交のあり方について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 外交理論
- 第2講 外務省と外務職
- 第3講 対外政策意志決定過程
- 第4講 日本外交思想史
- 第5講 日本外交：戦前
- 第6講 日本外交：戦間期
- 第7講 日本外交：戦後冷戦期
- 第8講 日本外交：冷戦後
- 第9講 国際交渉と文化 事例1：日米通商外交
- 第10講 事例2：日口領土外交
- 第11講 事例3：日本アセアン政経外交
- 第12講 事例4：日・中・韓政経外交
- 第13講 単位認定試験

【参考文献・資料】

外交 (H. ニコルソン著 東大出版)
戦後日本外交史 (五百旗頭真著 有斐閣)
参照専門誌：
外交フォーラム (外務省編 都市出版社)
国際政治 (日本国際政治学会編 有斐閣)
政治学 (日本政治学会編 岩波書店)

アジア現代史

土屋 洋

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

第二次世界大戦後のアジアの歴史を振り返り、現状を理解するとともに、アジアの未来について学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 期間計画指示・授業内容の説明
- 第2回 概論：中国、日本と東アジア
- 第3回 各論1：近代中国の形成
- 第4回 各論2：近代中国の展開から日中戦争
- 第5回 各論3：新中国の誕生と毛沢東
- 第6回 各論4：新中国の展開と鄧小平・江沢民
- 第7回 各論5：現代中国の諸問題(1)
- 第8回 各論6：現代中国の諸問題(2)
- 第9回 各論7：現代中国と東アジア
- 第10回 各論8：現代中国と日本(1)
- 第11回 各論9：現代中国と日本(2)
- 第12回 概論：21世紀の中国、日本と東アジア

【評価方法】

学期末に課すレポートの内容、ならびに授業の際、時に課す感想・意見等の提出状況によって評価する。

【参考文献・資料】

授業中に提示する。

ヨーロッパ現代史

中谷 毅

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

第二次世界大戦後のヨーロッパの歴史を振り返り、現状を理解するとともに、ヨーロッパ地域の未来について学ぶ。

【授業計画】

- 第1回：2度の世界大戦とヨーロッパ
- 第2回：　　　　〃
- 第3回：冷戦とヨーロッパ分断
- 第4回：西ヨーロッパ統合の動き
- 第5回：　　　　〃
- 第6回：冷戦からデタントへ
- 第7回：　　　　〃
- 第8回：デタント下のヨーロッパ
- 第9回：　　　　〃
- 第10回：東欧革命と冷戦の終結
- 第11回：ヨーロッパの今日と将来
- 第12回：　　　　〃

【評価方法】

定期試験の成績によって評価

【テキスト】

使用しない

【参考文献・資料】

授業の中で指示する

異文化コミュニケーション

宮田 Susanne

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

異文化接触場面の具体的事例を取り上げ、「文化」に対する意識を高める。さらに、異文化間の人間のコミュニケーションで生じる文化差を背景とした問題を、主として言語の特性の相違を分析することを通じて学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 異文化の「文化」：異文化コミュニケーションで問題になる文化差
- 第2回 「常識」も文化の一部
- 第3回 コミュニケーションシステムの文化：テーブルマナー
- 第4回 コミュニケーションシステムの文化：時間概念
- 第5回 コミュニケーションスタイルの文化差：自己開示
- 第6回 コミュニケーションスタイルの文化差：対人関係
- 第7回 「偏見はヘンに見ること、差別は差をつけること」
- 第8回 在日外国人の実態：法律的な立場から
- 第9回 在日外国人の実態：心理学的な立場から
- 第10回 国際結婚：素肌で感じる異文化コミュニケーション
- 第11～12回 異文化で生きる：カルチャーショック

【評価方法】

出席状況・講義ノート作成など

【テキスト】

異文化コミュニケーション・入門
(池田理知子他著 有斐閣アルマ)

英文学史

久野幸子

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英文学の歴史において、さまざまな作家と作品が、英語文化に及ぼした影響について考察し、英語文化をより深く学ぶ。

【授業計画】

今年度は「ユートピア」をキーワードに、古代から現代までの英文学史上、重要と思われる作品10数篇を選び、それらを手がかりに、文学的ジャンルとしての「ユートピア」、文学と社会との関係、それぞれの時代の中心思想と「ユートピア」思想との関係、英語文化圏と国際社会との関係、ユートピア文学の将来などを考察する。

- 第1回 イントロダクション
第2回 古代のユートピア文学
第3回 中世のユートピア文学
第4回 ルネサンスのユートピア文学
トマス・モア『ユートピア』
第5回 17世紀のユートピア文学
(1) ウィリアム・ゴドウィン『月の男』
(2) M.キャヴェンディッシュ『燦然たる新世界』
第6・7回 18世紀のユートピア文学
(1) ジョナサン・スウィフト『ガリヴァー旅行記』
(2) サラ・スコットの『ミレニアム・ホール』
第8・9回 19世紀のユートピア文学
(1) サミュエル・バトラー『エレホン』
(2) ウィリアム・モリス『ユートピアだより』
第10・11回 20世紀のユートピア文学
(1) H.G.ウェルズ『モダンユートピア』
(2) ジョージ・オーウェル『1984年』
第12回 サイエンス・フィクション
第13回 まとめ

【評価方法】

平常点（出席、受講態度など）と定期試験あるいはレポートで総合的に評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

【参考文献・資料】

授業中に指示する。

英文学史

稲生幹雄

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英文学の歴史において、さまざまな作家と作品が、英語文化に及ぼした影響について考察し、英語文化をより深く学ぶ。

【授業計画】

広い範囲にわたって、過去から現在へそして未来へと、変遷と発展を続けている英語圏の文化——そうした文化の様相を常に視野の中に収めながら、〈文化現象〉の一環として〈英文学〉をとらえ、遠い昔から、それぞれの時代の文学と文化とが、互いにどう関わり合ってきたのかを探っていく。講義における解説や作品等の分析は、

- ① 古期英語（Old English）の文学の出現とその背景
- ② 中期英語（Middle English）の文学、チョーサー、中世演劇、中世の文化的遺産
- ③ 英国ルネッサンスの特色、ルネッサンス期の演劇、シェイクスピアとその周辺、文化の特質
- ④ ビューリタニズムの運動とその時代を彩る詩人たち
- ⑤ 18世紀の種々相——詩と劇と散文、小説の発達
- ⑥ ロマンティズムの情調——詩人たちの題材と手法
- ⑦ ヴィクトリア時代の文化——時代思潮・文学・社会
- ⑧ 20世紀の様相——現代イギリス文学の背景、多彩な〈表現技法〉の探究、英語圏文化の諸相と未来

——という順序で展開していく予定であるが、常に問題点を整理して、各時代それぞれの文学と文化の特徴的な輪郭が明瞭に把握されるよう心がける。また、可能な限りいろいろな視聴覚教材を活用して、〈音声〉と〈視覚的な要素〉とが、いかに深く〈英文学〉の本質と関わり合っているかを考えるよすがとしたい。

【評価方法】

筆記テストの成績と、出席状況・受講状況などを総合して評価する。（評価方法等の詳細を、初回の授業で説明するので、聞き落とさないようにすること。）

【テキスト】

イギリス文学史入門（川崎寿彦著 研究社出版）
このほかに、プリントを配布する。

英文学

平林美都子

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

さまざまな文学研究方法の具体例とともに、英文学／映画から何をどのように読みとることができるのかについて学ぶ。

【授業計画】

テーマ：ゴシック物語とゴシック形式

- 1 ゴシックの概念の説明
- 2 『オトラント城』【義とされた罪人の回想と告白】
- 3 メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』
- 4 ブラム・ストーカー『ドラキュラ』
- 5 シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』
- 6 R.L. スティーヴンスン『ジークル博士とハイド氏』
- 7 エドガー・アラン・ポー『アッシャー家の崩壊』
- 8 ゴシックと映画『レベッカ』
- 9 『レベッカ』
- 10 『サイコ』
- 11 『サイコ』
- 12 まとめ

【評価方法】

出席状況とレポート

【テキスト】

フランケンシュタイン (M.シェリー著 創元推理文庫)
吸血鬼ドラキュラ (B.ストーカー著 創元推理文庫)
ジェイン・エア (C.ブロンテ著 新潮文庫)
ジークル博士とハイド氏 (スティーヴンスン著 岩波文庫)
アッシャー家の崩壊 (エドガー・アラン・ポー著 新潮文庫)

【参考文献・資料】

シャイニング 上下 (S.キング著 文春文庫)

英語学概論

中郷 慶

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英語のもつさまざまな言語学的特徴を、主として統語論と意味論を中心に学ぶ。

【授業計画】

世界には、4,000とも6,000とも言われる数の言語がある。人間言語の持つ特徴を、英語を中心とする観点から明らかにする。ことばについて、意識的に考えるきっかけを提供することがこの授業の目標である。ことばがわれわれの生活に深く息づいていることを実感として受け止め、ことばとは不思議でおもしろいものだと感じてもらいたい。主に扱うトピックは以下のとおりである。

1. ことばの起源
2. 人間言語と動物言語
3. 世界の言語
4. 音の構造
5. 語の構造
6. 文の構造
7. 意味の意味

【評価方法】

出席状況、レポート、定期試験の成績により、総合的に評価する。

【テキスト】

英語学の道しるべ (小林泰秀、波多野五三、河内清志、中村浩一郎共著 英潮社)

関連

意味論

柳 朋宏

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英語を中心として、さまざまな文が持つ意味とその用法を言語学的な立場から理論的に学ぶ。

【授業計画】

1回目の授業ではオリエンテーションを行い、2回目以降、下記項目について講義演習を行う（順不同）。

- ・ 日常の言語生活の中の「意味論」
同義語／反意語／多義語／上位語／下位語／
コロケーション／選択制限
- ・ 語彙の中の意味の違い
構造の違いと意味関係
- ・ 文法と意味の違い
形式と意味
- ・ 意味の変化
一般化と特殊化
- ・ テンスとアスペクト
完了と未完了
「テイル」と「テアル」
- ・ ダイクシスの比較
thisとthat
日本語のコソアド
など

【評価方法】

授業への貢献度、不定期に行う小テスト／学期末のテストの成績などにより、総合的に評価する。

【テキスト】

使用せず。必要に応じてプリントを配布する。

【参考文献・資料】

英語の論理・日本語の論理（安藤貞雄著 大修館書店）
英語の意味（池上嘉彦編著 大修館書店）
意味論から見た英文法（毛利可信著 大修館書店）
その他、授業中に指示する。

環境保護論

田部一史

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

環境因子が人を含めた生態系に及ぼす影響について学ぶ。特に癌・免疫・生殖に関わる化学物質についての知識を得、人体と環境の保護に関する問題解決のための実践的な方途について学ぶ。

【授業計画】

1. 人間と自然の関わり
 - ・ 序論
 - ・ 砂漠化と森林保護
 - ・ 地球温暖化と異常気象
 - ・ 大気汚染と酸性雨
 - ・ フロンガスとオゾンホール
2. 環境と健康
 - ・ いのちのしくみ
 - ・ 環境汚染とがん
 - ・ 環境ホルモン
3. 生態系と人間
 - ・ 生態系のバランス
 - ・ 生命の多様性
 - ・ 人口爆発
 - ・ いのちと自然を守る

【評価方法】

出席状況、レポート、学期末テストにより総合的に評価する。

【テキスト】

使用せず。必要に応じてプリントを配布する。

【参考文献・資料】

授業中に指示する。

南北問題

若松孝司

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

先進国・途上国間、途上国相互間の経済格差を生む構造について理解し、それらに対処して、国際的なレベルでの豊かな生活文化を創造するために、各国・国際諸機関の果たす機能について学ぶ。

【授業計画】

開発途上国と先進国、ならびに開発途上国間における経済格差等について、政治経済学的な論点から以下のような項目について講義する。

- (1) 南北問題とは——集团的自立更正を目指して——
- (2) 南北問題を考える一視座——世界システム論——
- (3) 経済的民族主義の台頭と展開
- (4) 先進国と発展途上国との相互依存・協力関係
- (5) 南南問題と国際協力

※受講にあたっては、国際政治学あるいは国際関係論の基本的な知識を有していることが望ましい。

【評価方法】

出席状況と期末に行われる定期試験の結果とを総合して評価する

【テキスト】

特に指定しない

適宜プリントを配布してテキストとする

【参考文献・資料】

国際学Ⅳ 南北問題研究 (川田侃著 東京書籍)

現代政治学叢書19 世界システム

(田中明彦著 東京大学出版会)

開発危機——自立する思想・自立する世界

(S.アミン著 国連大学出版局)

開発の構造——第三世界の開発/発展の政治社会学

(佐藤幸男著 同文館)

地域協力機構研究

若松孝司

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際機関が地球規模での人間的豊かさをもつ文化を創造するために、世界の各地域の開発と発展に果たしてきた政治的、経済的機能と今後の姿について学ぶ。

【授業計画】

地域協力における主要アクターである国際機構を中心に、以下の項目について講義する。

- (1) 地域協力機構とは
- (2) 国際機構小史
- (3) 国際機構の構造・機能・意思決定
- (4) 地域的国際機構の事例

※受講にあたっては、国際関係論・国際政治学の基本的な知識を有していることを前提とする。

【評価方法】

出席状況と期末に実施する試験の結果とを総合して評価する

【テキスト】

国際機構論 (最上敏樹著 東京大学出版会)

【参考文献・資料】

国際機構論 (横田洋三編 国際書院)

地域協力機構と法 (安藤勝美編 アジア経済研究所)

現代都市文化

藤井誠二

集中 2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

教育環境や文化環境としての現代都市の現状をルポルタージュの方法を通して分析し、その問題点と改善の方向について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 ガイダンス・ルポルタージュの方法を通じて都市文化を視るということ
- 第2講 学校教育を考える1・学校のどこがヘンなのか
- 第3講 学校教育を考える2・「いじめ」の社会学
- 第4講 学校教育を考える3・学校を市民社会化する
- 第5講 少年犯罪論1・少年はどうして人を殺すのか
- 第6講 少年犯罪論2・少年犯罪の被害者はどのような状況にあるのか
- 第7講 少年犯罪論3・改正少年法について考える
- 第8講 現代都市を歩く1・日本人の「自殺」考
- 第9講 現代都市を歩く2・ストーカーになるとならない人
- 第10講 現代都市を歩く3・外国人と「共生」するとはどういうことか
- 第11講 現代都市を歩く4・セックスと売買春の社会学
- 第12講 レポート作成についての説明

【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。レポートは身近なテーマを取材し、短いルポルタージュを書いてもらう。詳細については授業中に指示する。

【参考文献・資料】

- 17歳の殺人者（自著・ワニブックス）
- 少年の罪と罰論（宮崎哲哉氏と藤井の対談・春秋社）
- 教師失格（自著・筑摩書房）
- 他は授業中に指示する。

マルチメディア研究

ポール・ルイス

2・3年 後期 選択 2単位

【Course Content】

今日の情報環境の問題を、語学習得に際してのマルチメディアの技術に焦点を当てて学ぶ。

【Schedule】

このコースは英語による授業です。

- Lesson 1 : The meaning of multimedia
- Lessons 2 - 3 : Examples of multimedia
- Lessons 4 - 12 : Creating multimedia

【Assessment】

Assessment will be by attendance, class participation, work produced during the term, and final project work.

【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class meeting.

生活民族学

稲村哲也

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

世界の民族の生活様式や文化の多様性を認識し、固定観念にとらわれない異文化観を身につける。

【授業計画】

文化人類学の基礎となるフィールドワークの記録である「民族誌」に基づき、生活様式をはじめとし、家族と親族、信仰など文化の諸側面について考察する。地域は南北アメリカ及びアジアとし、教授者が実際に調査した事例や教授者が以前勤務した野外民族博物館リトルワールドの展示に関連した事例を中心に、映像を用いながら紹介する。

- 1 アメリカ・インディアンから見たアメリカの歴史
- 2 先住民族・少数民族とは：インディアンを中心に
- 3 多様なアメリカ・インディアンの生活と文化
- 4 南米アンデスの古代文明
- 5 アンデス先住民の生活と文化
- 6 日本の先住民「アイヌ」の歴史と文化
- 7 中国漢民族の生活と文化
- 8 チベットの生活と文化
- 9 ヒマラヤ高地の生活と文化
- 10 インドの生活と文化
- 11 モンゴルの生活と文化
- 12 モンゴル辺境部トナカイ遊牧民の生活と文化

【評価方法】

授業中に適宜提出してもらうショート・レポート（平常点）、学期中に行う小テストのほか、各自 野外民族博物館リトルワールドを見学してもらい、そのレポートによる。

【テキスト】

授業中に提示する

ファッション・コーディネート

村松世紀子

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

快適な服装や衣生活の心理的・社会的要因について分析し、服装に関する新しい知識を身につけるとともに、装いに関するコーディネートの基礎理論を理解し、美的選択眼と構成力を実践的に身につける。

【授業計画】

1. 知っているとなりの話
 - ・服装史と文化
 - ・服装史と現代
2. ディオールからユニクロまで
 - ・パリコレクション
 - ・デザイナー
 - ・アパレル産業
3. 服装は第一印象
 - ・流行
 - ・おしゃれ
 - ・コーディネート
 - ・21世紀への提案

【評価方法】

レポートによる評価

【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

関連

高齢化社会論

楊 衛平

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

来るべき高齢化社会に向けて、健康で豊かな生活を実現するための方法とその実践を東洋医学の視点から学ぶ。

【授業計画】

1. 高齢化社会に伴う医療問題
2. 老人医療における漢方の役割
3. 東・西両医学の相違と融合
4. 高齢者の生理病、病理学的な特徴
5. よくみられる老人病と漢方対策
6. 体質改善、老化防止と漢方補剤
7. 不定愁訴を解消する漢方の活用と適応
8. 伝統医学による養生法A,B,C
9. 経絡とわかりやすい養生ツボ
10. 身近な動植物、食物と養生薬膳
11. 心身両面のバランスを調整する気功術
12. QOLの向上をはかる健康産業への展望

【評価方法】

出席状況、受講態度とレポートによる。

【テキスト】

プリントを配布する。

【参考文献・資料】

老化を防ぐ漢方治療（広瀬滋之 光雲社）
体系中国老人医学（池上正治訳 エンタプライズ）

家族関係論

永田忠夫

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

家族関係の分析方法と家族内の人間関係査定法とを学び、それによって様々な家族関係を具体的に学ぶ。

【授業計画】

以下のテーマで講義する。

1. 家族とは
2. 家族をめぐる社会状況と問題点
3. 家族関係をとらえる変数
4. 家族ダイナミクス
5. 家族内コミュニケーション
6. 家族の危機とコミュニケーション

【評価方法】

出席状況、レポートやテスト等の成績を総合して評価する。

【参考文献・資料】

授業時に指示する。

健康管理論

杉浦信彦

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

健康の維持と増進をめざす生活習慣の確立について、食生活・運動習慣など健康科学の基礎の理解を通して、実践する能力を身につける。

【授業計画】

以下のテーマを中心に講義を行う。

1. ガイダンス

WHOのMagna Carta of Healthに沿って、健康の意義、現代生活における多様な健康の在り方について言及する。

2. からだのしくみ

人体を構成する元素や成分について学ぶ。特に体の主成分である水分と塩分の重要性について理解する。

3. 血液のしくみと働き

血液の性状やその働きの理解を通して健康管理の基礎知識を理解する。

4. 消化と吸収

生命を支えるエネルギー源の獲得器官である消化管のしくみを理解し、生活習慣病予防に関する基礎知識を習得する。

5. 肝と腎

生命を支える肝および腎機能の重要性を理解する。

授業の進め方は講義を主に、テーマによってはVTRの視聴や標本観察、簡単な実験・演習なども行う予定である。

※授業中の私語は厳禁。

【評価方法】

レポート・テストにより評価。

【テキスト】

使用せず。(プリント配布)

公衆衛生論

棚橋昌子

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

健康の保持、増進、疾病予防の問題を中心に、公衆衛生の理論と実践について学ぶ。

【授業計画】

現代の文明社会が発展する過程のなかで、国民の健康破壊がすすみ、半健康状態が一般化している。この視点から、各種の健康指標を検討し、事例を通して公衆衛生の課題を考える。

第1回 健康の定義

第2回 疾病予防の歴史

第3回 疾病構造の変化

第4回 人口・出生・死亡

第5回 健康指標の検討(1)

第6回 健康指標の検討(2)

第7回 国際比較 世界のなかの日本

第8回 文明の発展と健康被害(1)

第9回 文明の発展と健康被害(2)

第10回 文明の発展と健康被害(3)

第11回 国民健康づくり対策

第12回 公衆衛生の課題

第13回 テスト

【評価方法】

テスト(持ち込み可)と小テスト(授業内テスト)の総合評価

【テキスト】

使用しない。必要に応じプリントを配布する。

【参考文献・資料】

公衆衛生学(渡辺周一編 中央法規出版)

国民衛生の動向(厚生統計協会編)

地球規模の健康問題(小泉明・兜貞徳編著 Therapeia)

東洋医学

楊 衛平

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

東洋医学の特性とその可能性について、特に西洋医学との比較において学ぶ。

【授業計画】

1. 東洋医学とは（中国医学と漢方医学）
2. 東洋・西洋医学の相違と接点
3. 東洋医学の二重構造と疾病観
4. 陰陽論・五行説の特徴と応用
5. 気血水の概念と臨床医学への応用
6. 生薬の自然属性と薬名の由来
7. 身近な薬用動・植・礦物の紹介
8. 医食同原と薬膳の作り方・レシピ
9. 健康作りに役立つ簡単なツボ療法
10. 生活習慣病に対する東洋医学の対策
11. 女性の美容と悩みを解消する伝統の知恵
12. 健康保険にキク漢方と選び方
13. 東洋医学の診療情報とQ&A

【評価方法】

出席状況、受講態度とレポートによる。

【テキスト】

プリントを配布する。

【参考文献・資料】

漢方の選び方・使い方（広瀬滋之 医学書院）
漢方治療のABC（日本医師会）

表現文化専攻中心科目

表現文化基礎演習

島田修三 西田 勝 清水良典
角田達朗 酒井晶代 川澄未来子

1年表現 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当するゼミ形式の少人数授業であり、表現文化に関する基本的な知識や技術を、各教員の専門分野の視点から学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 表現方法・技術に関する問題提起1
- 第3回 表現方法・技術に関する問題提起2
- 第4回 表現方法・技術に関する問題提起3
- 第5回 文献・資料の調査方法1
- 第6回 文献・資料の調査方法2
- 第7回 テーマ研究調査・演習1
- 第8回 テーマ研究調査・演習2
- 第9回 テーマ研究調査・演習3
- 第10回 テーマ研究調査・演習4
- 第11回 テーマ研究調査・演習5
- 第12回 テーマ研究調査・演習6
- 第13回 総括

授業概要の基本的な構成は上記の通りであるが、対象とする表現ジャンルは各担当教員が第1回の授業において説明する。

【評価方法】

各担当教員によって異なるが、基本的には出席状況・平常の授業における調査発表・課題レポートなどに対する総合的な評価による。

【テキスト】

各担当教員から授業中に指示がある。

【参考文献・資料】

各担当教員から授業中に指示がある。

映画・演劇史

ピーター・B. ハーイ

1年表現 後期 必修 2単位

【授業の概要】

国内・国外の映画および演劇の歴史を実証的にたどり、映画・演劇の現代表現史における役割と意味を学ぶ。

【授業計画】

世界映画形成期（1895～1932）

世界映画史は、1895年12月28日のルミエール兄弟の映画上映会に始まる。1910年代まで「映画」というものは、ほんの5～6分程度の単純なものにすぎなかった。その後次第に、技術的にも「話術」的にも発達を遂げ、本格的な芸術媒体として展開していく。

この授業では、1920年代～30年代にむかえた映画の黄金期に焦点をあわせて、映画芸術はどのように形成されてきたかを検討すると同時に、映画分析の基礎的な方法を指導する。

授業のやり方としては、映画（全体又は部分）を見終わってから教室で、ディスカッションを行った後、各自、次の授業までに自分の分析を短い文章（原稿用紙2・3枚程度）にまとめて提出する。

1. 映画以前と映画誕生
 2. E.S.ポーターと映画編集
 3. D.W.グリフィスと「古典的ハリウッド作法」
 4. ドイツ映画の黄金期
 5. ロシア映画とモンタージュ論
 6. トーキー映画の到来
1. と2. は一週間ずつ、3～6は各2週間予定。

【テキスト】

テキストはありません。教材は適時配布します。

大衆文化論

岡本信也

1・2年表現 前期 必修 2単位

【授業の概要】

主として近代・現代における日本の大衆文化を具体的に示し、文化の創造に果たす大衆の役割と意味を学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 大衆文化の成立について。大正・昭和初期の新聞・ラジオ・映画などに現れた文化を見る。
- 第2回 モダン都市の文化現象を考える。洋装化しはじめる衣風俗、喫茶店や食堂（デパート）など。
- 第3回 戦後の大衆文化のはじまり。アメリカン・ファッションと風俗。
- 第4回 映像とイメージ。テレビと家庭電化製品の普及、マンガ、イラストの隆盛。
- 第5回 大量生産システムとデザイン。浪費され続けるデザイン。
- 第6～8回 身近な暮らしを見つめて、文化とは何かを考える。外食風俗をめぐって。身体のおしゃれをふりかえって。住み方についてなどを具体的に考えてみる。
- 第9回 現代の風俗・生活を観察することから、文化創造となる問題点を発見する。流行と習慣。
- 第10回 続いて、風俗・生活の観察から課題の設定をする。情報と日常生活について。
- 第11回 自由討議「市民文化とは何か」
- 第12～13回 テーマごとに報告（型式は随時）する。

【評価方法】

出席状況と報告書の内容によって評価する。

【参考文献・資料】

しぐさの日本文化（多田道太郎著 筑摩書房）
戦後日本の大衆文化史（鶴見俊輔著 岩波書店）
超日常観察記（岡本信也・靖子著 情報センター出版局）

表現文化創造Ⅱ（小説）

清水良典

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本の現代小説作品を対象として、近代小説以来の理念および様式を再検討し、現代社会の多様な課題と切り結び得る新しい小説表現の方法を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 <小説>とは何か
- 第2～6講 作品を読みながら——近代小説の起源と歴史
- 第7～10講 作品を読みながら——戦後から現代の小説
- 第11講 現代小説の問題点
- 第12講 小説の可能性

【評価方法】

出席状況と受講態度、レポートの内容評価による。

【テキスト】

高校生のための小説案内（筑摩書房）

【参考文献・資料】

文学がどうした！？（清水良典 毎日新聞社）

表現文化創造Ⅲ（児童文学）

酒井晶代

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本を代表する近代・現代の児童文学作品を取り上げ、児童文学のもつ基本的主題の変遷や変容をつぶさに検討し、「子供の文学」創造の諸問題を学ぶ。

【授業計画】

わが国の児童文学は、戦後、1960年前後に大きな転換点を迎えている。講義では、主として短編作品を題材とし、作品に現れた子ども観、児童文学観の検討を通して、現代児童文学の特徴を明らかにしたい。同時に、明治・大正期の代表的な作品にも視野をひろげ、現在の到達点と課題を歴史的な視野からも考察していく。

- 第1～2回 現代児童文学の成立まで
- 第3回 ときありえ「森本えみちゃん」
- 第4回 那須正幹「六年目のクラス会」
- 第5回 森忠明「楽しい頃」
- 第6回 村中李衣「たまごやきとウインナーと」
- 第7回 岩瀬成子「ダイエットクラブ」
- 第8回 大石真「光る家」
- 第9回 薫くみこ「はじめての歯医者さん」
- 第10回 天澤退二郎「赤い凧」
- 第11回 牧野節子「赤い靴」
- 第12回 上野瞭「ぼくらのラブ・コール」

【評価方法】

出席状況、レポート、試験等により総合的に評価する。

【テキスト】

児童文学——新しい潮流——（宮川健郎編著 双文社出版）

言語表現Ⅰ（古典散文）

西田勝

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

近世の古典散文作品を対象として、前代の和歌、物語、随筆といった伝統文学や江戸市民文化との関係を検討しながら、近世散文独特の主題や様式について学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 授業についての指示
- 第2回 『雨月物語』巻二の講読
- ↓
- 第6回
- 第7回 『雨月物語』巻五の講読
- ↓
- 第12回

【評価方法】

出席点
レポート点 による。

【テキスト】

雨月物語（森田喜郎校注 笠間書院）

言語表現Ⅱ（古典詩歌）

島田修三

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

『万葉集』の和歌を対象として、中国文学の受容、律令国家成立との関連、民俗の慣習や祭祀からの影響といった多様な視点を踏まえながら、古代和歌の成立およびその特質について学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 『万葉集』概論
- 第2回 神婚歌謡の伝誦 (1)
- 第3回 神婚歌謡の伝誦 (2)
- 第4回 国見歌謡と天皇 (1)
- 第5回 国見歌謡と天皇 (2)
- 第6回 古代女歌の現場 (1)
- 第7回 古代女歌の現場 (2)
- 第8回 古代女歌の現場 (3)
- 第9回 歴史と歌語り (1)
- 第10回 歴史と歌語り (2)
- 第11回 歴史と歌語り (3)
- 第12回 総括

【評価方法】

出席状況および学期末の単位認定試験によって総合的に評価する。

【テキスト】

万葉 文学と背景（島田修三ほか著 おうふう）

言語表現Ⅲ（近代小説）

小倉 斉

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

明治・大正文学を代表する小説を史的に展望しながら、日本の近代小説が時代・社会の問題とどのように切り結んだかという問題を検証し、近代小説における典型的な主題やモチーフを作品に即して学ぶ。

【授業計画】

〈近代文学の諸相〉

以下の各テーマにしたがって講義をおこなう。

- 1 〈書く〉ことと〈語る〉こと
村上春樹『風の歌を聴け』
- 2 〈模写〉の意味
坪内逍遙『小説神髓』・『当世書生気質』
二葉亭四迷『浮雲』
- 3 〈わたくし〉の発見
森鷗外『舞姫』
- 4 〈こども〉たちの眼差し
樋口一葉『たけくらべ』
谷崎潤一郎『小さな王国』
芥川龍之介『杜子春』
- 5 〈新しい女〉と戯画化された主人公
田山花袋『蒲団』
- 6 〈自然の愛〉と〈社会の掟〉
夏目漱石『それから』
- 7 観念の崩壊と〈新感覚〉
芥川龍之介『歯車』
横光利一『機械』

【評価方法】

学期末の試験（自筆ノート持ち込み可・論述問題中心）によって評価する。

【テキスト】

舞姫・うたかたの記（森鷗外 岩波文庫）
たけくらべ・にごりえ（樋口一葉 角川文庫）
蒲団・一兵卒（田山花袋 岩波文庫）
それから（夏目漱石 岩波文庫）
歯車（芥川龍之介 岩波文庫）

言語表現Ⅴ（現代詩歌）

柏木義雄

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

戦後から現在に至る現代詩史を踏まえ、各時代を代表する優れた詩作品を取り上げながら、現代詩における主題や様式や修辞に関する諸問題を学ぶ。

【授業計画】

- 1 戦後詩の展開（戦後詩史概要）
- 2～3 「荒地」グループと〈戦争〉
- 4～5 「歷程」「地球」「時間」と〈生の形〉
- 6～8 「権」のグループの清新なリリズムと社会性
- 9 嵯峨信之、金井直、村上昭夫らと〈死の姿〉
- 10 戦後詩に描かれた〈愛〉
- 11 戦後詩に描かれた〈ヒューモア〉
- 12 まとめ

【評価方法】

テストと出席状況による

【テキスト】

なし（プリントを配付する）

【参考文献・資料】

- ・各種の詩全集（『日本の詩歌』31巻 中央公論社など）
- ・関連書籍はその都度指示する

視聴覚表現Ⅰ（映画）

ピーター・B. ハーイ

2・3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

戦後の日本映画黄金時代における代表的作品を対象として、ヨーロッパ・アメリカ映画などとの比較の視点を導入しながら、日本映画が編み出した独自の様式と美について学ぶ。

【授業計画】

トーキー映画の発達史（1932～1965）

トーキー映画の到来（1927～31）によって、無声映画時代に高められた映画の「芸術」的な面は、一旦後退したかのように見えた。そのために、映画作家たちは、「映画とは何か」という問題を再検討しなければならなかった。1930年代は、映画において、再出発の時代になったのである。

この授業では、1930年代～60年代にむかえた映画の黄金期に焦点をあわせて、映画芸術はどのように形成されてきたかを検討すると同時に、映画分析の基礎的な方法を指導する。

授業のやり方としては、映画（全体又は部分）を見終わってから教室で、ディスカッションを行った後、各自、次の授業までに自分の分析を短い文章（原稿用紙2・3枚程度）にまとめて提出する。

1. 映画トーキー化による諸問題
 2. ルネ・クレール監督とトーキー映画芸術の確立
 3. 日本映画界のトーキー化
 4. ハリウッド映画の発展
 5. 戦後イタリア映画とネオ・レアリズモ
 6. フランス映画とヌーベル・ヴァーグ
1. と2. は一週間ずつ、3～6は各2週間予定。

【テキスト】

テキストはありません。教材は適時配布します。

視聴覚表現Ⅱ（舞台芸術）

角田達朗

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

舞台は演劇の重要な構成要素だが、その歴史的展開を東西に例を取って検討しながら、演技空間あるいは場面転換装置としての舞台がいかなる芸術的機能を果たすか、あるいは果たすべきかといった問題について学ぶ。

【授業計画】

私たちが通常目にする「舞台」は、上演を観客よりも一段高い所に置いて見えやすくするための台に過ぎないかのようである。しかし、歴史的に見れば、舞台の形は様々に変化している。そして、その変化は、上演そのものの変化に密接に対応している。この講義では、舞台および劇場の歴史的变化をたどりながら、舞台の形式や構造が上演とどのようにかわりあうかを論ずる。また、現代劇については、照明・音響並びに映像による舞台効果についても説明する。

主としてビデオ・静止画等の視聴覚資料を用いて講義するが、上演芸術の理解には当然ながら生の上演に接することが不可欠である。そこで、講義内容に沿って二つの鑑賞課題を設定し、その都度レポートの提出を求めるものとする。

(上演鑑賞のため、5～7千円の経費を要する。)

- | | |
|-------|-------------------|
| 第1回 | 古代ギリシアの劇 |
| 第2回 | 日本の古典劇① 能 |
| 第3回 | 日本の古典劇② 狂言 |
| 第4～5回 | 日本の古典劇③ 歌舞伎 |
| 第6回 | 近代劇とはいかなる演劇か |
| 第7～9回 | 現代劇の舞台効果 照明・音響・映像 |
| 第10回 | 多様化する舞台空間 |

【評価方法】

平常点・レポート

メディア表現Ⅰ（編集・製本）

稲垣喜代志

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代メディアを代表する新聞や雑誌を対象として、それらがどのように編集され、完成した姿として製作されるかという具体的な過程および、その技術や方法に関する実践的な知識を学ぶ。

【授業計画】

1. オピニオンリーダーとしての新聞の理念と役割。
2. 新聞に何ができるか。
3. 日本の新聞の現実はどうか？ 紙面分析。
4. 新聞は庶民の味方か？ 真実を伝えているか？
5. 新聞はどのようにしてつくられるか。
6. 出版の理念とは？ 出版は文化の砦（とりで）である。
7. 出版における中央と地方。流通問題が最重要課題。
8. 文化の伝達と継承をつかさどる▽書籍編集者の仕事。
9. 現代を映し出す時間とのたたかい▽雑誌編集者の仕事。
10. フレッシュな視覚の演出を求めて▽レイアウトの仕事。
11. 本への信頼を支え、文字世界に生きる▽校正者の仕事。
12. 社会と人間を探り、自分の言葉に刻む▽取材記者・フリーライターの仕事。
13. 読者との触れ合いを実現する日々▽営業・宣伝の仕事。
14. 出版界の現実とは？
15. あなたはどの道を選ぶか。

【評価方法】

受講態度（積極的発言など）、レポート、課題などによる。

【テキスト】

日本の書籍出版社（日本エディタースクール編 日本エディタースクール刊 定価1,575円）

【参考文献・資料】

図書新聞（週刊、図書新聞社刊 定価240円 半年定期購読料・送料共6,240円）

メディア表現Ⅱ（新聞）

小宮寛治

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主として現代メディアを代表する新聞を取り上げ、新聞ジャーナリズムが現代社会で果たす機能や課題について検討し、その具体的な紙面作りの知識や技術を実践的な視点を通して学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 新聞を読む人・読まない人
- 第2回 新聞の特徴・テレビの特徴
- 第3回 新聞の歴史とその将来
- 第4回 実践：新聞読み 最近の紙面から（1） 各紙の主張や性格の違いを検証する
- 第5回 新聞と新聞記者を取り巻く現代の情勢 真実の追究と人権、プライバシーの保護
- 第6回 素顔の新聞記者 講師の体験談
- 第7回 記事の基本的書き方
- 第8回 新聞写真 基本的な撮影方法と紙面上の扱い
- 第9回 実践：新聞読み 最近の紙面から（2） 意外に多い新聞のミス。訂正記事のない新聞
- 第10回 新聞が作られるまで 混在する古さと新しさ
- 第11回 文字はなぜ、大きくなったか
- 第12回 インタビューと原稿作り 学生相互の取材を通じて
- 第13回 実践：新聞読み 最近の紙面から（3） ニュースの対象になる新聞・新聞記者
- 第14回 単位認定レポートの提出

【評価方法】

出席状況、態度、提出レポートの総合評価による。

【参考文献・資料】

- 記者ハンドブック（共同通信社発行）
- 基準集（共同通信社発行）

表現創造原理Ⅰ（フィクション生成論）

清水良典

2・3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

表現文化における戯曲や小説等のフィクション性の成り立ちと構造を原理的に学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 講義内容の説明
- 第2講 近代と〈文〉の関係について
- 第3～5講 谷崎潤一郎『文章読本』講読
- 第6～10講 作品批評の歴史
- 第11講 〈文〉と虚構
- 第12講 書くことの可能性

【評価方法】

出席状況と受講態度、およびレポート内容によって総合的に評価する。

【テキスト】

- 文章読本（谷崎潤一郎 中公文庫）
- 文学部唯野教授（筒井康隆 岩波書店）

表現創造原理Ⅱ（身体美学）

勝部篤美

2・3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

創造の過程で重要な役割を果たしている「イメージ」の構造を原理として定置し、そこから美しい身体と、運動が具現化される道筋を学ぶ。

【授業計画】

I. 身体イメージ論

1. イメージとは何か
2. イメージの明瞭性と統御可能性
3. 身体運動のイメージの構成過程

II. 身体の静態美（美しいからだ）

1. 姿勢の美
良い姿勢、伸展姿勢と屈曲姿勢、姿勢を規制する要因
2. 体格の美
理想とされる体格、体格を規制する条件
3. 体型の美
ボディ・プロポーション、頭身、彫刻に見る男女の理想像、体型の分類、スポーツと体型
4. 身体各部の美
頭部、頸部、肩部、胸部、腹部、腰部、背部、殿部、上肢、下肢
5. 理想的な身体形成

III. 身体の動態美（美しいからだの動き）

1. 動きに見られる機能美
2. 動きに見られる構成美
3. 動きの美的カテゴリー
時間性、空間性、強靱性、巧緻性、愉悦性、雅味
4. 動きに内在する美的要素
すばやさ、加速性、リズム、広さ、高さ、重さ、強さ、激しさ、しぶとさ、器用さ、正確さ、バランス、華やかさ、エロス、スリル、柔らかさ、滑らかさ、上品さ
5. 動きの表現

【評価方法】

単位認定試験と宿題の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

使用しない。ノート、プリント、VTRを使用する。

表現創造原理Ⅲ（記号論）

佐藤洋一

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

表現文化における言語と記号の構造を原理的に学んだ上で、記号論的な文化認識を深める。

【授業計画】

1. 現代における「表現」や「文化」の様相、そして私たちがそれらと関わりながら認識している〈現実〉〈世界〉〈自己〉〈他者〉等のありかたは、急速な勢いで多様な姿をみせはじめている。
2. 従来までの書籍（本）を読むこと・語ること・語り合う・書くこと等の、いわゆる文字言語中心の表現文化から、現代は映像・メディア・音声（音楽）・行為（ダンスやファッション）等による表現文化中心に拡大してきている。コンピュータやインターネットが子ども達のゲームレベルにまで浸透する一方、宇宙規模の情報戦略はサイバースペース（架空の電脳空間）と真実の境界を曖昧にもしはじめている。
3. 講義内容は次のようなことを予定している。
 - (1) 主として「現代の文学」を記号論的に取り上げる。メディアコミュニケーションの一つの方法・現象として現代の文学・作家作品・方法や構造を扱う。
 - (2) 表現文化における言語と記号の構造（方法・スタイル・メッセージ・思想）等の原理の理解。
 - (3) 記号論的な文化認識のために、現代の文学（作家）をきっかけにしながら映画・演劇・音楽・ファッション・メディア等との関係、時代状況と文化形成（発信と受容・創造）のありかた等を、記号論的な文化認識論として考察する。

【評価方法】

1. 出欠席。毎回出欠を確認し講義や発表への意欲・講義内容への課題意識や考察等を平常点に加える。
2. 簡単な演習形式のため資料作成・報告や発表内容・小レポートの内容等を予定している。

【テキスト】

文化記号論（池上嘉彦他著 講談社学術文庫）
その他配布プリントによる。

表現創造原理Ⅳ（レトリック論）

柏木義雄

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

表現文化の主に言語表現におけるレトリックについて、体系的原理的な知識と方法の可能性を学ぶ。

【授業計画】

- 1 詩のことばと日常のことば
- 2～3 『ひきわり麦抄』（新川和江）によることば論
- 4 経験とことば
- 5 事物とことば
- 6～7 抽象と具象を往き来する
- 8 想像から創造へ
- 9 「イメージの歪曲」について
- 10 比喩の効用
- 11 神さまが吃るように書く（J.シュペルヴィエル）
- 12 まとめ

【評価方法】

・テスト、出席状況による

【テキスト】

・なし（プリントを配付する）

【参考文献・資料】

・その都度指示する

日本語表現法Ⅰ

梅田卓夫

1・2年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

言語による表現文化の要である文章表現における創造性と独創性を、さまざまな実践と思索を通して身につける。

【授業計画】

文章のジャンル（詩・小説・評論…）のワクを超えたすべての言語表現に共通する基本事項を学習する。ことばとの自由で柔軟な関係を回復しながら、創造的な文章をめざして、いくつかの作品（作文）を試みる。

- 第1回 概論 表現とは何か
- 第2回 自分にしか書けないことを書くために
- 第3回 実作「最初の記憶」
- 第4回 ことばは自分の中からやってくる
- 第5回 思考の先端としての「メモ」
- 第6回 実作「水の入ったコップ」
- 第7回 〃
- 第8回 目と心と言葉と
- 第9回 文章の中の「私」
- 第10回 実作「私の出会った人物」
- 第11回 〃
- 第12回 人間を描く

【評価方法】

授業の中で制作する作品群、および期末試験によって行う。

【テキスト】

文章表現・400字からのレッスン

（梅田卓夫著 ちくま学芸文庫）

高校生のための文章読本（梅田卓夫他編 筑摩書房）

日本語表現法Ⅱ

梅田卓夫

1・2年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

文章表現における創造性と独創性を、さまざまな実践と思索を通してさらに高める。

【授業計画】

ことばとの柔軟な関係を回復するトレーニングを経たうえで、創造的な文章（作品）の制作を試みる。制作経験を振り返りながら、意識の働きと技法の両面において普遍的法則を探り当てることをめざす。

- 第1回 ことばを使う自由と不自由
- 第2回 実作「ことばあそび」
- 第3回 演技することばたち～作品としての文章
- 第4回 「メモ」の本質
- 第5回 実作「街の断片を拾う」
- 第6回 一般概念からの脱却
- 第7回 実作「一瞬をすくう」
- 第8回 感性をみがく～レトリックと認識
- 第9回 文章は断片によって輝く
- 第10回 実作「もう一人の自分」
- 第11回 〈私〉の多重化
- 第12回 まとめ 創造的的自己表現を楽しむ

【評価方法】

授業の中で制作する作品群、および期末試験によって行う。

【テキスト】

文章表現・400字からのレッスン
(梅田卓夫著 ちくま学芸文庫)
高校生のための文章読本 (梅田卓夫他編 筑摩書房)

映像表現法

吉村英夫

2・3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

映像による表現文化の基礎的な技術と知識を学びながら、創造性と独創性を身につける。

【授業計画】

外国映画を題材にして考察をすすめる。クラシック映画を実際に見て楽しみながら、映像表現・映像文化について考えていく。

- 第1回
世界最初の映画を再考する。エジソン映画とリュミエール映画の違いは？
- 第2～6回
『ローマの休日』について語ろう。ヘプバーンについてもっと知ろう。監督ワイラーを見直してみよう。1950年前後のハリウッドの歴史をひもとく。参考上映は、ヘプバーンの『ローマの休日』か『暗くなるまで待って』等。フレッド・ジンネマン監督『真昼の決闘 (ハイヌーン)』、シドニー・ルメット監督『十二人の怒れる男』等を予定。
- 第7～11回
チャップリンの映画とは何か。なぜチャップリンはサイレント映画にこだわったか。『キッド』から『独裁者』『ライムライト』等のいくつかを参考上映。
- 第12回
サイレント映画からトーキーへ。さらにカラー化からワイド化へ。映像表現の変遷を考える。
- 第13回
テストを予定

【評価方法】

テスト、出席、レポート（雑文風感想）などによる。

【参考文献・資料】

君はこの映画を見たか！ 若い世代の必見名画100選
(吉村英夫 大月書店 定価1600円)
ローマの休日 ワイラーとヘプバーン
(吉村英夫 朝日新聞社文庫 定価550円)

身体表現法

勝部篤美

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

身体の巧みな動作によって、理念・心情を的確に表現するための知識と技術を学び、個性的表現の創造性を身につける。

【授業計画】

- I. 体格・体型論（からだつき）
 1. 子どもらしい体格・体型
 2. 男らしい体格・体型
 3. 女らしい体格・体型
 4. 老人らしい体格・体型
- II. 姿勢表現論（姿勢が語るもの）
 1. 加齢による姿勢の変化
 2. 姿勢の諸相
直立姿勢、座位姿勢、臥位姿勢、伸展・屈曲姿勢
 3. 良い姿勢
- III. 動作表現論（身振り、仕草、素振り、動作）
挨拶動作（会釈、低頭、腰かがめ、膝曲げ、握手、挙手、抱擁）、歩き方、座り方、話し方、口振り、
声音、息づかい、手さばき、指使い
顔面表情（眼差し、口もと、頬、眉、額）
喜怒哀楽の全身表現
- IV. 心理表現論（彫像に見る）
高揚、喜び、憧れ、ためらい、嘆き、悲しみ、悔し
しみ、もだえ、あきらめ、考え、絶望、抗い、清
純、親しみ、激情、驚き、睦み、怒り、恐れ、恋
しさ、恥じらい、けだるさ、強さ、優しさ
以上のような心理状態にある場合、それが美術
作品、とくに幾多の彫刻にはどのように表現され
ているかを、スライドやVTRによって詳細に観賞
する。

【評価方法】

単位認定試験と宿題の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

テキストは使用しない。ノート取りは重要。授業時にプリントを配布する。スライドやVTRを多用する。

国文学史概説

西田 勝

2年 表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

上代から現代にいたる各時代の国文学の代表的文字作品を取り上げ、その国文学的な意味や価値を学ぶとともに、国文学の歴史の変遷を学び、国文学への理解を深める。

【授業計画】

- 第1回 授業展開に関する指示
- 第2・3回 上代文学について
- 第4～6回 中古文学について
- 第7・8回 中世文学について
- 第9～11回 近世文学について
- 第12・13回 近代文学について

【評価方法】

出席点
筆記試験点による。

【テキスト】

日本文学史（久保田淳編 おうふう）

多元文化専攻中心科目

多元文化基礎演習

榎田勝利 久野幸子 稲生幹雄 小倉千加子 大野清幸 平林美都子
ベヴァリー・F. Mカレン 宮田Susanne 杉本一直 中郷慶 曹述雙

1年多元 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当するゼミ形式の少人数授業であり、多元文化研究の基礎となる文献検索法や、レポート作成の基礎的な知識を学ぶ。

このうち、大野清幸助教授は、主として人間の言語獲得における発語資料をデータとして指導する。

宮田Susanne助教授は、主として言語獲得論の立場から、言語学の初歩的な問題を提示し、その調査や発表を通して研究の基礎的な方法を指導する。

中郷慶専任講師は、主としてインターネット上での言語資料の入手や、コンピュータを用いた初歩的な言語分析を題材として、文献の検索やレポート作成の基本を習得させるための実践的な訓練を行う。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 問題の把握1
- 第3回 問題の把握2
- 第4回 文献検索・データ収集法1
- 第5回 文献検索・データ収集法2
- 第6回 文献検索・データ収集法3
- 第7回 テーマ研究演習1
- 第8回 テーマ研究演習2
- 第9回 テーマ研究演習3
- 第10回 テーマ研究演習4
- 第11回 テーマ研究演習5
- 第12回 テーマ研究演習6
- 第13回 まとめ

授業の概略は、上記のようなものになるが、具体的な内容については、各担当者が第1回の授業で説明する。

【評価方法】

出席状況、受講態度、プレゼンテーション、課題レポートなどによって総合的に評価する。詳細は各担当者が第1回の授業で説明する。

【テキスト】

各担当者から指示がある。

【参考文献・資料】

各担当者から指示がある。

言語科学

大野清幸

2年多元 後期 必修 2単位

【授業の概要】

言語データベースの構築や検索・分析を通して、言語獲得の問題を中心に考察することで、言語を科学的に分析することとは何かというテーマに関する基礎を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 授業計画指示など
- 第2講— テキストなどを利用して演習

【評価方法】

出席状況・平常点・課題などによる。

【テキスト】

LINGUISTICS (Jean Aitchison ひつじ書房)
他

※授業・課題などにおいて電子メールなどインターネットを利用しますので、インターネット利用を日常化しておいて下さい。理想的には、自宅においてインターネット環境を実現しておいて下さい。

国際関係論

若松孝司

2年多元 前期 必修 2単位

【授業の概要】

共生、国際化、グローバル化、インターネット、大競争、ビッグ・バンなどがキーワードとなる21世紀の国際関係を学ぶ。

【授業計画】

以下の項目について講義する。

- (1) 国際関係論とはいかなるガクモンか
- (2) 国際関係理論概説
- (3) 第2次世界大戦後の国際関係
- (4) 現代国際関係の諸断面

【評価方法】

出席状況と期末に行う試験の結果とを総合して判断する。

【テキスト】

テキストとして一応

国際関係学講義 (原彬久編 有斐閣)

を指定するが、かならずしもテキストどおりに講義が進むわけではないので、下記の参考書籍をはじめ、一般的な国際関係論の教科書であれば、それをテキストとして使用してよい。

【参考文献・資料】

国際関係論 同時代史への羅針盤

(中島嶺雄著 中公新書)

(新書であるが国際関係論のテキストとしても十分に使用可能)

国際関係論 第2版(衛藤藩吉ほか著 東京大学出版会)

(古典的な国際関係論のテキスト)

講座国際政治①国際政治の理論

(有賀貞ほか編 東京大学出版会)

(5巻本のシリーズの第1巻。これを端緒として本格的に研究をはじめめるのもよい)

多元文化創造Ⅱ (国際ボランティア論)

榎田勝利

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

地域市民社会形成のキーワードとしての国際ボランティアとNGOの理念、目的、役割、さらに日本の現状を具体例を通して学ぶ。

【授業計画】

講義と学生のプレゼンテーションにより授業を展開する。

- 1) NGO、ボランティア活動の活発化の背景
- 2) NGOとは何か
 - ①国連とNGO
 - ②国際会議とNGO
 - ③国連とNGOとのパートナーシップ
- 3) 日本のNGOの現状と課題
 - ①NGOの発展の沿革
 - ②NGOの現状と課題
- 4) ボランティアとは何か
 - ①ボランティアの基本条件と活動動機
 - ②ボランティア・コーディネーター
- 5) 国際ボランティア
 - ①国際ボランティアの意味と参加動機
 - ②国際ボランティア活動のタイプ
 - ③青年海外協力隊
 - ④国連ボランティア
- 6) 国際ボランティアに参加するためには
- 7) 2001年ボランティア国際年の意義

【評価方法】

課題研究レポート、プレゼンテーションおよび平常点にて評価する。

【参考文献・資料】

国連とNGO (馬橋憲男著 有信堂)

ボランティア学を学ぶ人のために

(内海成治他編 世界思想社)

NGOとは何か

(伊勢崎賢治 藤原書店)

国際ボランティアガイド

(バックストン美登利 ジャパンタイムズ)

多元文化創造Ⅲ（国際交流）

皆川修吾

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際社会の多元性は異文化間の衝突を多元・多層的に発生させている。異文化間の対話と共有できる文化創造の過程を通して近代文明の意義を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 国際交流の意味：モノ、カネ、情報の流れとの関連
- 第2講 日本の文明文化史：文明文化の輸出入
- 第3講 日本の国際文化交流政策
- 第4講 高文化交流から生活文化交流
- 第5講 機能的国際交流：短期海外研修
- 第6講 民間交流：NGOの役割
- 第7講 共通文明（国際化）のなかの異文化間関係
- 第8講 異文化間の寛容性：外国人労働者
- 第9講 難民問題
- 第10講 「顔のない日本」からの脱却
- 第11講 多文化社会と単一文化社会の国民性
- 第12講 国際交流の貢献と限界
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

単位認定試験の成績と各授業時間中のチュートリアル・タイム（20分）での質疑応答との総合評価による。報告指名を受けて質疑応答に参加しない者は減点される。

【参考文献・資料】

異文化理解の倫理にむけて
（稲賀繁美編 名古屋大学出版会）
文明の衝突（S. ハンチントン著 鈴木主悦訳 集英社）
文明の衝突か、共存か
（蓮実重彦・山内昌之編 UP選書）

言語文化Ⅰ（英語表現）

ミカ・トフ

2・3年多元 後期 選択 2単位

【Course Content】

英語での作文や会話において、効果的な表現方法とは何かを考察することによって、英語という言語の持つ言語文化を学ぶ。

【Schedule】

Life writing includes writing about yourself, and the lives of others, as well as letters and diaries. As one of the most personal genres, it gives student writers a chance to write about their own lives in English, and reconsider events in their lives. In this course, we will focus on autobiography, writing about your own life, and examine how to render special memories as interesting written stories. We will consider the effect of writing in the first person; to effectively express feelings and thoughts related to an event in your life; how to link events into a coherent narrative; and begin and end autobiographical writing in a compelling way.

【Assessment】

Assessment will be based on the content of the essays written by the student, and on the amount of work a student puts into writing the essays.

言語文化Ⅱ（言語解析）

宮田Susanne

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本語・英語の例を使いながら、言語解析の目的と可能性について考える。女性ことば、幼児の言語、母親の言語、第2言語話者の言語などを取り上げ、その特徴（または習得過程）をとらえるさまざまな方法を学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 言語能力と環境；言語がなぜ異なるか
- 第2回 言語の差、コミュニケーションスタイルの差
- 第3回 マザリーズ：幼児に対する大人の言語行動
- 第4回 言語使用における差はどのように調査できるか
- 第5回 データ収集；コーパスとは
- 第7～8回 サンプルの作り方
- 第9～11回 解析の仕方
- 第12回 コンピュータによる解析：可能性と限界

【評価方法】

出席状況・講義ノート・課題

【テキスト】

日英比較話しことばの文法(水谷信子著 くろしお出版)

言語文化Ⅳ（ヨーロッパ文芸思潮）

杉本一直

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

20世紀ロシア文学における文芸理論や小説作品の動向および西欧社会との相互的な影響関係を分析し、ロシアを基点にした現代ヨーロッパ文芸思潮の展望を学ぶ。

【授業計画】

文学だけでなく、ヨーロッパおよびロシアの芸術（美術、映画、音楽、バレエなど）と思想を取り上げる。その主な項目を挙げておく。

- ・19世紀末から20世紀初頭にかけてのシンボリズム（象徴主義）芸術
- ・ロシア未来派芸術とロシア・フォルマリズム批評
- ・ダダイズムとシュールレアリズム
- ・「モダニズム」と呼ばれる文学、そして「ポスト・モダニズム」
- ・思想と批評の交わり（記号論から構造主義へ）
- ・「現代音楽」というジャンル（無調音楽、十二音技法、フリージャズなど）
- ・20世紀小説の概観

【評価方法】

レポートによる

【テキスト】

プリント配布、および授業中に指示した書籍

外国文化Ⅰ（北米）

平林美都子

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

カナダ現代文化が抱える諸問題を、主として文学やフェミニズムなどの社会思潮、ヨーロッパやアメリカ合衆国との関係といった観点から学ぶ。

【授業計画】

アメリカ合衆国の強烈的なイメージの陰に隠れがちなカナダの独自性とは何か。多民族が共存するカナダの移民の歴史や先住民について学びながら、多元文化を理解していく。

- 1 概論
- 2 歴史と地理
- 3 移民の状況
- 4 先住民
- 5 カナダの自然と各地の特徴
- 6 『赤毛のアン』
- 7 英語系カナダ文学
- 8 フランス語系カナダ文学

【評価方法】

出席状況、課題、レポートより評価する。

【テキスト】

とくに使用しない。

【参考文献・資料】

失われた祖国（ジョイコガワ著 中公論新社）
イギリス人の患者（オンダーチェ著 新潮文庫）
赤毛のアン（モンゴメリ著 集英社文庫）

外国文化Ⅱ（ヨーロッパ）

稲生幹雄

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主としてイギリスの戯曲や演劇活動にスポットを当て、その社会への影響力や社会の諸事情の反映の分析を通して、イギリス文化の在り方や性格を学ぶ。

【授業計画】

〈文化〉と〈演劇〉と〈社会〉との相関関係に焦点を合わせて問題を掘り下げてゆく。視覚的・具体的な理解のために、各種のビデオ教材（シェイクスピア劇など演劇関係のもの、BBC制作の*The Story of English*全9巻など）をも活用しながら、次のような5つの視点を設定して毎週の講義を組み立ててゆく。

- ①アングロ・サクソン民族の文化と文学の原風景を探り、中世演劇への展開や社会の様相を考える視点
- ②初期から円熟期を経て晩年にいたるシェイクスピアの歩みを、各時期の主要な作品の印象的な場面に着目しつつ、パノラマ的に理解してゆく視点
- ③いくつかの作品、とくに『ロミオとジュリエット』をある程度詳しく考察して、英国ルネッサンス期のドラマの特質を、より深く探ってゆく視点
- ④その後の英・米の文化の進展や、そこに内包されている各種の問題を、とくにドラマの〈舞台〉という視座から考察してゆく視点
- ⑤文明と社会の相関を、より巨視的に把握する視点

テキストとしては、大修館シェイクスピア双書版の『ロミオとジュリエット』を用いることとする。このテキストの詳しい注釈や解説を通して、英国のドラマに関わるいろいろな基礎的知識をつかんでもらえると思う。

【評価方法】

筆記テストの成績と、出席状況・受講状況などを総合して評価する。（評価方法等の詳細を、初回の授業で説明するので、聞き落とさないようにすること。）

【テキスト】

大修館シェイクスピア双書：ロミオとジュリエット
（岩崎宗治編 大修館）

このほかに、プリントを配布する。

外国文化Ⅲ（韓国・朝鮮）

曹 述燮

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

第2次世界大戦後の朝鮮半島の文化を、主として韓国現代社会の歴史および社会の動向を通して学ぶ。

【授業計画】

現代社会にとって重要な課題として浮上してきている福祉、教育、環境、女性、市民団体などのことがらを中心に現代の韓国社会を見つめる。

- 第1回—4回：韓国の成り立ち
- 第5回—7回：韓国人の暮らし
- 第8回—10回：韓国社会の伝統
- 第11回—14回：韓国の新世代

【評価方法】

授業のための準備状況と期末のレポート、あるいはテストを総合して判定する。

【テキスト】

現代韓国を知るための55章（石坂浩一他編著 明石書店）

【参考文献・資料】

韓国百科（大修館書店 秋月望他編著）
朝鮮を知る事典（平凡社）など

現代文化Ⅰ（ジェンダー）

小倉千加子

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

近代主義の終焉によって展望を見失ったといわれる現代社会の諸問題をジェンダー論の視点から分析し、新たな社会的展開の可能性について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 ジェンダーとは
- 第2講 ジェンダーと近代結婚イデオロギー
- 第3講 ジェンダー規範のダブルバインド
- 第4講 セクシュアリティとジェンダー
- 第5講 身体イメージのジェンダー
- 第6講 拒食症と女性のジェンダー
- 第7講 ジェンダー・アイデンティティの獲得
- 第8講 恐怖症と主婦の病
- 第9講 男性という病
- 第10講 学校で作られるジェンダー
- 第11講 トランス・ジェンダーをめぐる問題
- 第12講 少女漫画に描かれたジェンダー
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・試験成績によって総合的に評価する。

【参考文献・資料】

女の人生すごろく（小倉千加子著 ちくま文庫）
性現象論（加藤秀一著 勁草書房）

現代文化Ⅱ（考現学）

岡本信也

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

考現学の方法による社会・生活風俗の観察を通して、現代日本に混在する新旧の大衆文化とその特徴を学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 考現学の成立について。大正末期から昭和初期にかけて、はじまった今和次郎・吉田謙吉らの活動を紹介し、その成立した社会背景を解説する。
- 第2回 その方法について。細部の社会現象、生活風俗の事象を克明に観察し、記録採集する手法について、いくつかの事例をあげて、解説。
- 第3～4回 身近な生活風俗について、実際に観察・記録採集の作業を体験してみる。カメラ・スケッチ・メモの仕方も学ぶ。
- 第5回 考現学とは何か。これまでの研究成果の中から事例をあげて、社会学の補助学としての有用性について解説。
- 第6～8回 具体的な観察対象を決めて、考現学採集を体験する。研究対象については、そのとりあげる視点が大切なので、指導をする。
- 第9～11回 考現学の発展とその成果について。昭和40年以降、考現学が再評価されはじめ、生活学、現代風俗学、文化人類学諸学の中で活用されて来た。現代都市生活者の暮らし方、その中から生まれた現代文化を読み取る方法を紹介し、その知的好奇心を抱くようにする。
- 第12～13回 各自で行なった観察・記録採集の報告。

【評価方法】

出席状況と報告書の内容によって評価する。

【参考文献・資料】

- 生活学の方法（川添 登・岡本信也ほか共著 光生館）
考現学・今和次郎集1（ドメス出版）
路上観察学入門（赤瀬川原平ほか共著 筑摩書房）
万物観察記（岡本信也・岡本靖子著 情報センター出版）
今和次郎・その考現学（川添 登・リプロポート）

現代文化Ⅲ（芸能文化）

小倉千加子

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

1980年代、90年代を象徴すると思われる芸能界のタレントや特徴的現象を題材として、現代日本における芸能文化の浸透とその影響の実態を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 「かわいいカルチャー」の登場——少女の世界の認識
- 第2講 トレンディ・ドラマの誕生
- 第3講 『東京ラブ・ストーリー』の衝撃
- 第4講 女優イメージの変遷——古典・近代・脱近代
- 第5講 ロマンティック・ラブの挫折
- 第6講 世代間ギャップとドラマ
- 第7講 NHK大河ドラマのメッセージ
- 第8講 シナリオライター論①恋愛の神様 北川悦吏子
- 第9講 『ロング・バケーション』から『ビューティフル・ライフ』へ——恋愛関係のジェンダー分析
- 第10講 シナリオライター論②大石 静の世界
- 第11講 『やまとなでしこ』に見る結婚観——愛は年取
- 第12講 アイドルと女優の間——広末から紀香まで
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

毎回のミニ・レポートと試験成績によって評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

多元文化創造原理Ⅰ（言語獲得論）

大野清幸

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

多元的な文化創造の基本の一つを言語理論の理解とする立場から、主として日本語と英語を対象に、「動的文法理論」や認知言語学などの成果に基づいて言語獲得の問題について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 授業計画指示など
- 第2講— テキストなどを利用して演習

【評価方法】

出席状況・平常点・課題などによる。

【テキスト】

Child Language (Jean Stilwell Peccei ROUTLEDGE)

※授業・課題などにおいて電子メールなどインターネットを利用しますので、インターネット利用を日常化しておいて下さい。理想的には、自宅においてインターネット環境を実現しておいて下さい。

多元文化創造原理Ⅱ（言語能力論）

宮田Susanne

2・3年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

多元的な文化創造の基本の一つを言語理論の理解とする立場から、人間固有の性質である体系としての言語の使用にはどのような特徴があるのかについて学ぶ。特に、子供の言語獲得と大人の第2言語習得の事例を取り上げ、人間が生得的に持つ言語能力の本質を学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 言語の本能；子どもはなぜしゃべり出すか
- 第2回 言語の始まり；一語発話の時期
- 第3回 能力と環境：幼児に対するしゃべり方（マザリ—ズ）
- 第4回 文法の始まり；
- 第5回 語彙の発達；会話の発達
- 第6回 バイリンガリズム
- 第7回 形態素の発達：動詞活用と助詞の例
- 第8回 認知発達の影響：時間的表現；アゲル・クレル等
- 第9回 3歳以降の言語獲得
- 第10回 大人の言語習得；臨界期
- 第11回 言語獲得論
- 第12回 言語能力論

【評価方法】

出席状況・講義ノート・課題

【テキスト】

子どもたちの言語獲得（小林春美他編 大修館書店）

多元文化創造原理Ⅲ（生成文法論）

中郷 慶

2・3年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

多元的な文化創造の基本の一つを言語理論の理解とする立場から、英語のさまざまな構文を生成文法理論に基づき考察し、統語構造の特徴や規則性を学ぶ。

【授業計画】

生成文法理論は、人間の言語能力の 解明を目標とし、英語学・言語学を学ぶ学生だけではなく、英語や言語一般に関心を持つ者が一度は必ず触れておかなければならない理論である。この授業では、生成文法理論の中で、いわゆる統率束縛理論（government and binding theory：GB理論）として知られている文法理論についての理解を深め、自然言語の普遍性を探っていく。主に扱うトピックは以下のとおりである。

1. 統語論とは
2. 生成文法の目標と枠組み
3. 普遍文法と個別文法
4. 文構造の規則性とXバー理論
5. 変形と移動
6. 統率と束縛

【評価方法】

出席状況、レポート、定期試験の成績により、総合的に評価する。

【テキスト】

現代の英文法：新しい文法理論へのいざない
（齋藤興雄、佐藤 寧、佐藤裕美共著 金星堂）

英語表現法Ⅰ（通訳Ⅰ）

難波豊子

1・2年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

スラッシュ・リーディングやノートテイキングなどの通訳基礎技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

日本語を英語に訳すには、それに見合う英語の表現力が必要である。積極的に語彙を強化し、且つ多量に英文を読み、聞き、英文の構成に慣れ、語彙をインプットすることを目的とした授業を行う。

- 第1回 通訳とは？
通訳の為の勉強方法概略紹介
- ・英文スラッシュ・リーディング
切るべき個所に斜線を入れ、英語構文を把握する。
 - ・シャドーイング（フォロー）
テープから聞こえて来る英文を、継続的に口頭でリピートすることにより、集中力を高める。
 - ・リプロダクション
聞いた英文を、もう一度言い直す事により、頭の記憶維持力を高める。
- 第2～10回 上記の3点を基本に、リーディング、リスニングにて、訳出練習。語彙力、英語表現力の向上を目指す。
- 第11～12回 今まで学習した内容を復習しながら、ノートテイキングの練習。

【評価方法】

日常の授業態度、宿題に対する姿勢、授業中に行う小テスト、単位認定試験などにより、総合的に評価。

【テキスト】

授業中に配布、指示する。

英語表現法Ⅰ（通訳Ⅰ）

中村幸子

1・2年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

スラッシュ・リーディングやノートテイキングなどの通訳基礎技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

通訳者養成のための訓練法を利用して効果的に総合的英語コミュニケーション能力を向上させることを授業の目的とする。

通訳とは、話された内容をまず自分が理解し、咀嚼し、それを自分の言葉で第三者に伝えることであり、何よりも正確な理解力が求められるとともに、情報を正確にかつ聞き手にとってわかりやすく聞きやすい形で訳さなければならない。さらに、通訳はコミュニケーションを成立させることである、との観点から、柔軟な英語表現力を養うことも重視する。

国内・世界の情報を通訳訓練のトピックとしてリアルタイムで採用するため、固定テキストは使用せず、授業内で随時指示していく。語彙の定着をはかるため毎授業で小テストを行う。

- 第1回 通訳訓練法の概要
- 第2回～4回 リーディングを中心とした訳出演習
- 第5回～8回 リスニングを中心とした訳出演習
- 第9回～11回 応用
- 第12回 まとめ

【評価方法】

出席状況、受講態度、小テスト、単位認定試験の成績などを総合的に評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

英語表現法Ⅱ（通訳Ⅱ）

難波豊子

2・3年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

シャドーイングや逐次通訳などの通訳基本技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

通訳とは単に言葉の置き換えではない。よく聞いて話し手の意図を理解し、分かりやすい表現を使って別の言語で聞き手に伝える、という使命が与えられている。その為には、話し手の言葉を聞く態度、表現力強化、そして明確に話す習慣が最低限不可欠である。期間中出来るだけ多くの通訳練習を行いたい。

- 第1回 期間中を通しての計画、及び課題の指示。
- 第2～8回 英語表現法Ⅰで学んだスラッシュ・リーディング、シャドーイング、リプロダクションなどの基礎練習に基づいて、ダイアログの実践的な通訳練習を行う。適宜ロールプレイも導入し、訳出表現、タイミングを検討。
- 第9～12回 日本を英語で紹介する表現を学習すると共に、スピーチ形式の教材で通訳逐次練習を行う。

【評価方法】

日常の授業態度、宿題に対する姿勢、授業中に行う小テスト、単位認定試験などにより、総合的に評価。

【テキスト】

授業中に配布、指示する。

英語表現法Ⅱ（通訳2）

中村幸子

2・3年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

シャドーイングや逐次通訳などの通訳基本技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

通訳者養成のための訓練法を利用して効果的に総合的英語コミュニケーション能力をさらに向上させることを目的とする。

授業では、リピート練習（同時・逐次）、センテンス通訳、サイトトランスレーション、ノートテイキング等の基本技能訓練を行い、一般的内容の逐次通訳に取り組む。またビジネスの場で必要とされる日英双方向の商談・交渉通訳の基本についても学んでいく。

内外の最新情報を通訳訓練のトピックとしてリアルタイムで採用するため、固定テキストは使用せず、授業内で随時指示していく。語彙の定着をはかるため、毎授業で小テストを行う。

- | | |
|--------|----------------|
| 第1回 | 概要説明 |
| 第2回～3回 | 基礎的訓練 |
| 第4回～6回 | 英日通訳法 |
| 第7回～9回 | 日英通訳法 |
| 第10回 | グループ内プレゼンテーション |
| 第11回 | クラス内プレゼンテーション |
| 第12回 | まとめ |

【評価方法】

出席状況、受講態度、小テスト、単位認定試験の成績などを総合的に評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

英語表現法Ⅲ（プレゼンテーション）

ベヴァリー・F. M. カレン

2・3年多元 後期 選択 2単位

【Course Content】

プレゼンテーション技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

【Schedule】

The first half of the course will focus on the preparation of a presentation by considering in turn, the goals of the presentation; choosing a topic; considering the audience; organizing ideas; choosing a style of delivery; and using visual aids such as Powerpoint to enhance listeners' understanding. In the latter half of the course, with the guidance of the teacher, each student will prepare, rehearse, and deliver a short oral presentation in class.

【Assessment】

Student assessment is ongoing, and based on effort and attendance, as well as the preparation and delivery of the oral presentation.

【Textbooks】

No text required.

英語表現法Ⅲ (プレゼンテーション)

ミカ, トフ

2・3年多元 後期 選択 2単位

【Course Content】

プレゼンテーション技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

【Schedule】

With the help of DTP and presentation software, students will learn to make a presentation using the computer. Students will chose a topic of their own to research, and present their results in the form of an oral presentation using visual aid. Delivery, pace, and developing a rapport with the audience will be discussed and practised. Each student will make a presentation, and it will be videotaped and critiqued.

【Assessment】

Assessment will be based on the content of the presentation made by the student, and on the amount of work a student puts into preparing the presentation.

環境文化専攻中心科目

環境文化基礎演習

多田萬里子 杉浦信彦 永田忠夫
棚橋昌子 高橋啓介 若松孝司

1年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当するゼミ形式の少人数授業であり、環境文化研究の基礎となる文献検索法やレポート作成の基礎的な知識を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 オリエンテーション
- 第2講 講義活用法1
- 第3講 講義活用法2
- 第4講 文献検索法1
- 第5講 文献検索法2
- 第6講 文献検索法3
- 第7講 テーマ研究演習1
- 第8講 テーマ研究演習2
- 第9講 テーマ研究演習3
- 第10講 テーマ研究演習4
- 第11講 テーマ研究演習5
- 第12講 テーマ研究演習6

なお、第7講から第12講は、各自が設定したテーマに関する文献研究を実施し、それをレポートにまとめる。

【評価方法】

出席状況、講義への取り組みおよび各自が設定したテーマに関する文献研究のレポートを総合的に評価する。

【テキスト】

大学生の学習テクニク（森靖雄著 大月書店）

【参考文献・資料】

論文・レポートのまとめ方（古都廷治著 ちくま新書）
理科系の作文技術（木下是雄著 中公新書）

資料収集法

高橋啓介

2年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

研究資料を収集する技法として、主に、検査、実験、面接、調査の4技法の特性を学び、それらを運用する技能を身につける。

【授業計画】

本講座では、実験による心理測定の基礎的な技法を、課題研究およびグループ単位のテーマ研究を通して修得する。

演習は次のスケジュールを予定している。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回～第4回 課題研究1：精神物理学的測定法
- 第5回～第7回 課題研究2：生理心理学的測定法
- 第8回～第12回 テーマ研究
- 第13回 テーマ研究発表会（グループ単位）

なお、進度によっては、補講を実施する。また、課題研究、テーマ研究のいずれにあっても、必要に応じて授業時間外の自主学習を課す。

【評価方法】

出席状況（5点）、課題・演習への取り組み姿勢（10点）、課題研究個人レポート（15点×2）、発表会（10点）、テーマ研究個人レポート（40点）とし、加点法により採点し、60点以上取得の場合、合格とする。

【テキスト】

心理学のための実験マニュアル
（利島保・生田秀和 北大路書房）

【参考文献・資料】

心理測定法への招待（市川伸一 サイエンス社）

資料収集法

永田忠夫

2年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

研究資料を収集する技法として、主に、検査、実験、面接、調査の4技法の特性を学び、それらを運用する技能を身につける。

【授業計画】

データ収集法としての1つである面接を用いて、情報収集とその結果の整理・分析の仕方を学ぶ。

講義と実習・演習を有効に組み合わせ、「調査面接における情報収集の検討」「自由課題における面接法を用いた研究」を実施する。

1. 講義内容

- 1) 面接法について
- 2) 調査面接について（面接計画と評定法）
- 3) 量的データ処理（統計的手法）について
- 4) インタビュー計画および面接調査の心得について
- 5) 質的データの収集と整理方法について（ブレンストーミング・逐語録・KJ法など）
- 6) レポートおよびレジюмеの書き方

2. 実習および演習

- 1) 調査面接における面接者の情報収集計画／情報収集のための面接の実施／収集データの結果／結果についての考察
- 2) 自由課題：面接法を用いて明らかにしようとするテーマの決定／面接計画：課題を解決するためにどんな面接をすれば必要な情報が得られるか（誰にどのようなことをどのように尋ねたらよいか）の検討／インタビューや面接調査の準備／実施／被面接者から得られた情報（逐語録）の整理・まとめ／レポートおよびレジюмеの作成

【評価方法】

課題への取り組みに対する態度、個人・グループレポート等により評価する。欠席・遅刻・早退や課題への消極的な態度など授業への関与の薄さは、この授業のグループ活動の進行を著しく困難にするので、単位授与の重要な判断材料とする。

資料収集法

丹下智香子

2年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

研究資料を収集する技法として、主に、検査、実験、面接、調査の4技法の特性を学び、それらを運用する技能を身につける。

【授業計画】

以下のような流れに沿って進める。

1. 文献の収集
2. 調査テーマの決定
3. 研究仮説の設定
4. 測定尺度の作成
5. 調査票の作成
6. 調査票の印刷と製本
7. 調査の実施
8. データの入力
9. データの分析
10. 分析結果のまとめ
11. 報告書の作成
12. 研究発表

【評価方法】

出席状況（遅刻、欠席、早退の有無）、演習に対する取り組みの態度、および報告書の内容などにより評価する。

【参考文献・資料】

心理学マニュアル 質問紙法（鎌原雅彦・宮下一博・大野木裕明・中澤潤編著 北大路書房）

資料収集法

棚橋昌子

2年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

研究資料を収集する技法として、主に、検査、実験、面接、調査の4技法の特性を学び、それらを運用する技能を身につける。

【授業計画】

官能検査法：人は5感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を使って生活している。主観的な感覚を客観的な数値として把握し、主観と測定値との関連を考察する技能を学習する。

- | | |
|---------|---------------------------|
| 第1回 | はじめに |
| 第2～4回 | 味覚（辛味と甘味）
塩分濃度、糖度を例として |
| 第5～7回 | 触覚と温度
皮膚温、体温を例として |
| 第8～10回 | 聴覚と自律神経
脈波を例として |
| 第11～13回 | テーマを決めてレポート作成 |

【評価方法】

レポートと受講態度の総合評価

【テキスト】

使用しない

【参考文献・資料】

官能検査ハンドブック
(日科技連官能検査委員会 日科技連出版社)

資料分析法入門

白水 始

2年環境1～4組 前期 必修 2単位

【授業の概要】

収集した資料を適切に集計・分析し、そこに含まれる複雑な情報を解析する方法を学び、正しく解釈・推論する能力を身につける。

【授業計画】

- | | |
|------|--------------------------------|
| 第1週 | イントロ：分析のサイクルを体験する |
| 第2週 | 現象を観察する：ビデオを読む |
| 第3週 | 仮説を作る：「読み方」の枠を作る |
| 第4週 | 指標を作る：量的データに変換する |
| 第5週 | データにまとめる：プロット・平均・分散 |
| 第6週 | 仮説を作り直す：仮説検証・生成法 |
| 第7週 | 平均値の差の検定1：t検定 |
| 第8週 | 平均値の差の検定2：分散分析 |
| 第9週 | 4分割思考法1： χ^2 二乗検定、直接確率法計算 |
| 第10週 | 4分割思考法2：信号検出理論 |
| 第11週 | ベイズ統計学 |
| 第12週 | まとめ |

【評価方法】

出席状況・平常の協調学習活動・ポスター発表・レポートによる。

【テキスト】

授業中に指示する。

資料分析法入門

西和久

2年環境5・6組 前期 必修 2単位

【授業の概要】

収集した資料を適切に集計・分析し、そこに含まれる複雑な情報を解析する方法を学び、正しく解釈・推論する能力を身につける。

【授業計画】

- 第1講 インTRODクシヨソ
- 第2講 データの種類と処理、その入力方法
- 第3講 基本統計量と区間推定
- 第4講 2つの母平均の差の検定
- 第5講 対応のある2つの母平均の差の検定
- 第6講 ウィルコクソソの順位和検定
- 第7講 ウィルコクソソの符号付順位検定
- 第8講 1元配置の分散分析と多重比較
- 第9講 反復測定による1元配置の分散分析
- 第10講 2元配置の分散分析
- 第11講 繰り返しのない2元配置の分散分析
- 第12講 2つの母比率の差の検定

【評価方法】

出席状況・平常点・課題等により総合的に評価する。

【テキスト】

SPSSによる統計処理の手順 第2版
(石村貞夫著 東京図書)

【参考文献・資料】

すぐわかるSPSSによるアンケートの調査・集計・解析
(内田治著 東京図書)
SPSSによる分散分析と多重比較の手順
(石村貞夫著 東京図書)

環境文化創造Ⅱ（国際開発）

四本健二

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

多様な環境問題を解決し、地球規模での人間性豊かな生活文化を創造する上で必要性が高まる国際協力の問題を、主に国際開発の観点から学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 オリエンテーシヨソ
- 第2講 発展途上国が直面する諸問題1 貧困問題
- 第3講 発展途上国が直面する諸問題2 環境問題
- 第4講 開発論の展開 従属論から内発的发展論まで
- 第5講 開発論の最新の動向1 参加型開発論
- 第6講 開発論の最新の動向2 グッド・ガバナソソ論
- 第7講 政府開発援助（ODA）の構造と問題点
- 第8講 我が国のODAの最新の動向
- 第9講 国連機関による開発協力
- 第10講 NGOによる開発協力
- 第11講 国際協力をめぐる議論の動向
- 第12講 総括討論
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

テキストは使用せず。

【参考文献・資料】

毎時間資料を配付する。参考書籍は、必要に応じて適宜紹介する。

環境文化創造Ⅲ（環境デザイン）

渡辺 達

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代人にとって、より快適な生活環境を創出するために、環境をどのようにデザインし、コーディネートしてゆくことが好ましいかについて学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 講義概要
- 第2回 ランドスケープ概論1
- 第3回 ランドスケープ概論2
- 第4回 日本の庭園1
- 第5回 日本の庭園2
- 第6回 欧州（イギリス）の庭園
- 第7回 欧州（フランス、ドイツ）の庭園
- 第8回 ビオトープ概論1
- 第9回 ビオトープ概論2
- 第10回 建築と緑1
- 第11回 建築と緑2
- 第12回 公園の修景

【評価方法】

出席状況と課題レポートにより評価する。

【テキスト】

指定なし。
授業中にプリントを配布する。

環境文化創造Ⅴ（色彩学）

高橋啓介

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会の生活空間を構成する1要素である視環境について、特にそれを演出する色彩について、その心理学的側面を中心に学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 光学系
- 第2回 色覚の心理1
- 第3回 色覚の心理2
- 第4回 色覚の構造1
- 第5回 色覚の構造2
- 第6回 色覚の構造3
- 第7回 表色系と色名1
- 第8回 表色系と色名2
- 第9回 測色1
- 第10回 測色2
- 第11回 色順応と演色性1
- 第12回 色順応と演色性2
- 第13回 単位認定試験

【評価方法】

出席状況（5点）、授業態度（10点）、レポート課題（7点×5）、単位認定試験（50点）とし、加算法によって、60点以上を取得の場合、合格とする。

なお、必要に応じて補講を実施することがある。

レポートの提出は、原則として、学内LANを利用する。

【テキスト】

新、基本色表シリーズ
(財団法人日本色彩研究所 日本色研事業株式会社)

【参考文献・資料】

- ・入門色彩心理学（滝本孝雄・藤沢英昭 大日本図書）
- ・色彩心理学入門（大山正 中公新書）

コミュニティー環境Ⅰ（生活環境）

棚橋昌子

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日常生活を取りまく物理的、社会的、心理的環境の問題について、その地域に生活する人間を主体とする視点から理解し、現代における生活の質の向上の方途について学ぶ。

【授業計画】

私たちの生活は、近代科学の発展により物質的には豊かで便利になった。その反面、資源とエネルギーの消費は膨大なものになり、生活環境は汚染され、健康被害や人類の生存を脅かす問題もでてきた。本講では健康による生活術、地球にやさしい生活術の構築をめざす。

1. コミュニティー環境の実態
2. 健康からみた生活環境（1）
3. 健康からみた生活環境（2）
4. 健康による生活術
5. 衣食住からみた生活環境（1）
6. 衣食住からみた生活環境（2）
7. 消費型生活から循環型生活へ
8. 工業化からみた生活環境（1）
9. 工業化からみた生活環境（2）
10. 地球にやさしい生活術（1）
11. 地球にやさしい生活術（2）
12. 地球にやさしい生活術（3）
13. まとめ

【評価方法】

レポートと受講態度の総合評価

【テキスト】

使用しない。プリントを配布する。

【参考文献・資料】

生活環境論（岩槻紀夫編 南江堂）
地球にやさしい生活術（John Seymour & Herbert Girardet、鶴田栄作訳 TBSブリタニカ）

コミュニティー環境Ⅲ（民族文化）

稲村哲也

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

民族に固有の文化の特性を、その民族の様々な次元の環境との関係において学ぶ。

【授業計画】

関連科目の「生活民族学」では様々な民族の生活様式の多様性を知ることにより、文化の相対性を学んできたが、この授業では、特定の社会に絞り込み、環境との関わりの中での文化の諸側面をより深く理解することを目的とする。具体的には、教授者がこれまで現地調査を実施してきたヒマラヤ高地のチベット系民族シェルバ族を中心にとりあげ、また、同じ高地環境に暮らす南米アンデス高地の先住民ケチュア族や、さらにモンゴル草原の遊牧民の社会を比較材料としてとりあげながら、自然環境、環境への適応と利用、自然認識（人々が認知する外部環境）、信仰と世界観（人々が形成する内なる環境）、外部世界との関係（広い枠組みでの社会環境）などとの関わりの中で、人びとがどのように暮らし、どのような文化を持ち、どのような社会を形成しているかを考察し、また、その変化の過程についても検討してゆく。

- 1～6 ヒマラヤ高地のシェルバ族の環境と社会
- 7～9 アンデス高地のケチュア族の環境と社会
- 10～12 モンゴル草原の遊牧民の環境と社会

【評価方法】

授業中に適宜提出してもらうショート・レポート（平常点）及び学期末のレポートなどによる。

【テキスト】

ヒマラヤの環境誌—山岳地域の自然とシェルバの世界（山本紀夫・稲村哲也編著 八坂書房）

【参考文献・資料】

リヤマとアルパカーアンデスの先住民社会と牧畜文化（稲村哲也著 花伝社）

環境アメニティーⅠ（食環境）

楊 衛平

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

生活環境の基礎的要素のひとつである「食」について、東洋医学の側面から学ぶ。

【授業計画】

1. 伝統食生活と食文化
2. 近代食の変遷と現状
3. 栄養学と伝統の認識
4. 薬食同源の薬膳思想
5. 食物素材の五味五性
6. 春夏秋冬の変化と食
7. 生活習慣病と食関係
8. 精神的健康と食生活
9. 疾病予防の養生飲食
10. 症状別の食療と処方
11. 美容とダイエット食
12. 寒温別の食素材リスト

【評価方法】

出席状況、受講態度とレポートによる。

【参考文献・資料】

中国薬膳大辞典（楊衛平他編集 MEK出版局）
FOOD AND HEALING
（Annemarie Colbin 世界文物出版社）

環境アメニティーⅡ（モード環境）

加藤國男

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

生活環境の基本的要素の一つである「衣」について理解を深め、より豊かで快適な衣生活のあり方を実践的に学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 衣生活の今——環境の重要性が言われる現在
私たちの衣を中心とした生活の現状
- 第2講 人は何を着てきたのか？
①木綿・麻
- 第3講 ②ウール・獣毛
- 第4講 ③絹
- 第5講 ④化学繊維
- 第6講 絹織の歴史——中国からパリモードまで
①中国・西アジア
- 第7講 ②ビザンチン・スペイン・イタリア
- 第8講 ③フランス・ヨーロッパ・パリモード
- 第9講 小袖とTシャツ——和装の歴史とTシャツとの
関連
- 第10講 洗濯と環境汚染
- 第11講 衣類の加工とアレルギー
- 第12講 パリ——江戸 循環の暮らしを考える
- 第13講 環境アメニティーと暮らし 資源浪費の上に成
り立つ豊かさの今、未来へ向けた環境循環、サ
スティナブルな暮らしと衣生活の為に

【評価方法】

出席状況と随時行うレポートの成績によって総合的に評価する。

【参考文献・資料】

カラー版 世界服飾史（深井見子監修 美術出版社）
日本服装史（佐藤泰子著 建帛社）
織りと染めの歴史 西洋編（佐野敬彦著 昭和堂）
織りと染めの歴史 日本編（河上繁樹他著 昭和堂）
衣生活論——装いを科学する（小林茂雄編 弘学出版）
被服材料・整理学（弓削治編著 朝倉書店）
おしゃれの社会史（北山晴一著 朝日新聞社）

環境アセスメントⅠ（生活衛生）

杉浦信彦

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日常生活において生命や健康を脅かす眼に見えない様々な身体的リスクから身を守り、健康な生活を営むための知識と能力を実践的に身につける。

【授業計画】

1. 食生活と添加物
- 2～8. 食品添加物各論
- 9～10. 飲み水の安全
- 11～12. 疾病予防

授業の進め方は講義を主にテーマによってはVTRの視聴やかんたんなデモ実験や課題レポートの作製なども行う予定である。毎回プリント配布。

【評価方法】

授業に関する課題についての研究レポート、テストにより評価する。

【テキスト】

使用せず。

環境アセスメントⅣ（情報環境）

ポール・ルイス

2・3年環境 後期 選択 2単位

【Course Content】

マルチメディア技術の確立に伴う高度情報化社会の問題点と可能性について主として語学習得の場面を対象として学ぶ。

【Schedule】

このコースは英語による授業です。

Lesson 1 : The history of Information

Lessons 2 - 6 : The problems and potentials of high-information societies

Lessons 7 - 12 : Assessment of effectiveness of different information providing systems

【Assessment】

Assessment will be by attendance, class participation, work produced during the term, and final project work.

【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class meeting.

環境文化創造原理Ⅰ（生命科学）

多田萬里子

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の生命科学における最先端の研究成果を紹介し、生命現象の科学的な考察によって現代の生活環境が抱える根源的な諸問題を学ぶ。

【授業計画】

生物に共通に見られる生命現象を科学的に理解し、日々進展する科学技術が人の生活にどう貢献できるか、人との新たな関係をいかに築いて行くかを探っていく。

1. 生命の単位「細胞」の構造と機能
2. ヒトゲノム計画：ゲノム、DNA、遺伝子
3. 遺伝情報の保持と伝達：ヒトの遺伝
4. DNA技術：遺伝子診断など医学への応用
5. 生殖のシステム：性の存在、多様性を生む機構
6. 個体の形づくり：発生の分子制御機構
7. 生殖工学技術：遺伝子導入、クローン技術
8. 個体の老化と寿命：エラー蓄積説とプログラム説
9. 生命科学と人間の社会：新しい研究成果と人の生活

【評価方法】

出席状況・授業内小テストと学期末テストを総合的に評価する。

【テキスト】

使用せず。講義の要旨はプリントを配布する。

【参考文献・資料】

現代生物学（ウォーレス著 東京化学同人）
生命科学（中村 運著 化学同人）
分子生物学（田沼靖一編 丸善）
生命の意味論（多田富雄著 新潮社）
その他、授業中に適宜指示する。

環境文化創造原理Ⅱ（心理学）

高橋啓介

2・3年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

外的環境の評価の基礎となる人間の認知情報処理および外的環境への対処様式の問題を心理学の観点から学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 科学的に人間を理解すること
- 第2回 環境の認知1：ゲシュタルト
- 第3回 環境の認知2：錯視
- 第4回 環境の認知3：恒常現象
- 第5回 環境の認知4：知覚の生態学的妥当性1
- 第6回 環境の認知5：知覚の生態学的妥当性2
- 第7回 情動的適応1：情動のメカニズム
- 第8回 情動的適応2：防衛機制
- 第9回 心理学の応用1：住環境1
- 第10回 心理学の応用1：住環境2
- 第11回 心理学の応用2：高度情報化社会1
- 第12回 心理学の応用2：高度情報化社会2
- 第13回 単位認定試験

なお、進度に応じて補講を実施することがある。また講座の途中で4回の課題レポートの提出を求める。

【評価方法】

出席状況（5点）、授業態度（5点）、レポート課題（10点×4）、単位認定試験（50点）とし、加点法によって、60点以上を取得の場合、合格とする。

なお、レポートの提出は、原則として学内LANを利用する。

【テキスト】

人間行動の科学—心理学—
（三宅俊治、谷口俊治 学術図書出版社）

【参考文献・資料】

・サブリミナル・マインド（下條信輔 中公新書）

環境文化創造原理Ⅲ（人間工学）

神作 博

2・3年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

より快適な生活環境創出のための基礎的な視点と技能を人間工学や応用心理学の観点から学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 総論1：人間工学・応用心理学の目的・視点・考え方
- 第2講 総論2：人間工学・応用心理学の歴史・方法
- 第3講 総論3：人間工学・応用心理学の研究の進め方
- 第4講 各論1：視覚
- 第5講 各論2：聴覚・触覚・その他の感覚
- 第6講 各論3：視覚表示
- 第7講 各論4：快適視環境
- 第8講 各論5：環境の影響
- 第9講 各論6：生活・行動空間
- 第10講 各論7：姿勢・動作・動作時間
- 第11講 各論8：疲労と能率
- 第12講 各論9：ヒューマン・エラー
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・受講状況・単位認定試験の成績によって総合的に評価する

【参考文献・資料】

- 人間工学チェックポイント
(小木和孝訳 労働科学研究所出版部)
- 人間工学 (正田亘著 恒星社厚生閣)
- 人間工学入門(人間工学教育研究会編 日刊工業新聞社)
- 人間工学 (大島正光著 コロナ社)
- 知覚工学 (大山正・秋田宗平編 福村出版)

資料分析法特論

小村賢二

2・3年環境1~4組 後期 必修 2単位

【授業の概要】

表計算および統計解析ソフト等を利用して、大量のデータの縮約的表現の方法を学ぶ。

【授業計画】

- 毎時間授業の前半は統計的な考え方と理論を学び、後半はコンピュータ実習を行う。インターネット時代の新しい資料（データ）収集の方法としてwebデータベース（インターネット上にあるデータの集積）からftp（ファイル・トランスファー・プロトコル）によって資料を取得しSPSSを使った分析も学ぶ。実習の内容について進捗度により一部変更することもあります。（多変量解析）
- 第1回 コンピュータの基本操作（キーボード、マウス、ディスクの初期化、ファイルの保存、印刷）と日本語入力について
 - 第2～3回 資料の整理の方法とEXCEL（エクセル）の基本操作の実習。情報のグラフ表現、円グラフ、ヒストグラム、立体（3D）図、散布図。
 - 第4～5回 EXCELによる定量的および質的（カテゴリ）資料（データ）の分析。（基本統計量とクロス表分析）
 - 第6～7回 2変量および多変量データの分析（相関分析、単回帰、重回帰分析）
 - 第8～9回 SPSSの基本操作と実習
データファイルの扱い方、データの出力（データ・エディタと変数ビュー、出力ビュー）。webデータベースからftpによってSPSSデータの取得。
 - 第10～11回 SPSSによる資料分析（記述統計、クロス集計、多重回答分析）
 - 第12～13回 SPSSによる平均の比較と分散分析（一元配置、二元配置）注：分散分析はEXCELでも行います。
 - 第14回 多変量解析（因子分析とクラスター分析）の実習と結果の解釈について。（因子分析またはクラスター分析を扱います。）
 - 第15回 レポート課題の作成と方法。
注：SPSSは社会科学のための統計ソフトです。

【評価方法】

出席状況と実習課題の提出とレポートの評価によって行う。（注意）：毎回実習を行いますので、欠席をしないこと。

【テキスト】

授業の始めに指示します。（特にEXCELの教材）

【参考文献・資料】

- データ科学（小村賢二著 晃洋書房）
- SPSSによるデータ解析の基礎
(宮脇・和田・阪井著 培風館)
- データとデータ解析（票原考次著 日本放送出版協会）
- SPSSでやさしく学ぶ多変量解析
(室淳子、石村貞夫著 東京図書)

資料分析法特論

西和久

2・3年環境5・6組 後期 必修 2単位

【授業の概要】

表計算および統計解析ソフト等を利用して、大量のデータの縮約的表現の方法を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 インTRODクシヨン
- 第2講 因子分析(1) -主成分分析
- 第3講 因子分析(2) -その他の因子分析
- 第4講 共分散分析
- 第5講 相関分析
- 第6講 単回帰分析
- 第7講 重回帰分析
- 第8講 判別分析
- 第9講 独立性の検定
- 第10講 同等性の検定
- 第11講 適合度検定
- 第12講 まとめ

【評価方法】

出席状況・平常点・課題等により総合的に評価する。

【テキスト】

SPSSによる統計処理の手順 第2版
(石村貞夫著 東京図書)

【参考文献・資料】

実践心理データ解析(田中敏著 新曜社)

プレゼンテーション演習

川澄未来子

2・3年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

パーソナルコンピュータおよび視聴覚機器を利用して、有効なプレゼンテーションの技能を身につける。

【授業計画】

コンピュータ実習室における実習を中心に行う。使用するツールは、プレゼンテーションソフトのMicrosoft PowerPoint、ペイント・フォトタッチソフトのAdobe PhotoDeluxe、液晶プロジェクターなどである。

- 1 プレゼンテーションの基礎
- 2 スライドの作成1
- 3 スライドの作成2
- 4 課題の制作
- 5 課題の発表
- 6 ポスターの作成1
- 7 ポスターの作成2
- 8 課題の制作
- 9 課題の発表
- 10 ホームページの作成1
- 11 ホームページの作成2
- 12 課題の制作
- 13 課題の発表

【評価方法】

出席状況、受講態度、提出課題の総合評価によって決める。

プレゼンテーション演習

ポール・ルイス

2・3年環境 後期 必修 2単位

【Course Content】

パーソナルコンピュータおよび視聴覚機器を利用して、有効なプレゼンテーションの技能を身につける。

【Schedule】

このコースは英語による授業です。

Lessons 1-6 : Using DTP software to create print media

Lessons 7-12 : Representing print media in electronic/on-line form

【Assessment】

Assessment will be by attendance, class participation, work produced during the term, and final project work.

【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class meeting.

プレゼンテーション演習

鬼頭英嗣

2・3年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

パーソナルコンピュータ及び視聴覚機器を利用して、有効なプレゼンテーションの技能を身につける。

【授業計画】

インターネットなどへのプレゼンテーションの基本的考え方と、関連ソフトウェアを使った表現方法を習得する。

1-3 : ホームページの基本的な考え方の習得

4-8 : ホームページ作成関連ソフトの習得

9-12 : 関連ソフトを使った実際の制作

【評価方法】

考え方、表現技術などの理解度を完成された作品により評価する。

【参考文献・資料】

特に指定はせず、授業時に参考となる書籍を紹介する。

3・4年次開講科目

教養教育科目

日本の文学

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本の文学の歴史をふまえながら、代表的な文学作品を紹介し、観賞する。若い世代の文学への関心が薄らいでいるといわれる今、文学への興味と関心を喚起したい。

ビジネスの世界

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

21世紀を迎え、いわゆる日本型雇用システムや商慣習は崩壊しつつあるが、ビジネスの世界には、企業を維持・発展させるための企業の倫理や厳しい現実がある。企業での経験をふまえ、ビジネス世界の現実を講義する。

都市と環境

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の都市は生活と文化の面では便利であり、快適であるが、街の緑や空気汚染など、自然環境には恵まれていないといえない。都市をとりまく自然環境の問題を中心に講義する。

外国の言語と文化1

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の初歩を学ぶとともに中国の風土・歴史・文化について理解を深める。

国際情勢

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

冷戦終結後の国際情勢はますます混沌とし、経済的な危機を招き、やがて社会的混乱も生じかねない状態である。海外の政治と経済事情をふまえた国際社会の現状について述べる。

外国の言語と文化2

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の初歩を学ぶとともに、朝鮮半島の風土・歴史・文化について理解を深める。

外国の言語と文化 3

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の初歩を学ぶとともに、ロシアの風土・歴史・文化について理解を深める。

外国の言語と文化 6

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

スペイン語の初歩を学ぶとともに、スペインの風土・歴史・文化について理解を深める。

外国の言語と文化 4

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ドイツ語の初歩を学ぶとともに、ドイツの風土・歴史・文化について理解を深める。

女性学・男性学

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

男女についての定説化した知識、それによって作り出された役割、人格の内部に及ぶ性別化の影響とその結果生まれる病理などについて、さまざまな事例や理論を紹介し検討する。

外国の言語と文化 5

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

フランス語の初歩を学ぶとともに、フランスの風土・歴史・文化について理解を深める。

エコロジー

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

今や地球規模で自然の環境破壊が進んでいる。自然を保護し、環境を守る観点から地球のエコロジーを考える。

食品の科学

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

基礎的な科学と食品の科学との関わり、食品のもつ機能や性質、貯蔵などを学び、食品と酸素の関係や化学物質としての理解を深め、多様化した食生活や加工食品の氾濫の中で生活に役立つ講義をする。

健康とくすり

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代は飽食の時代といわれ、運動不足やストレス過多のため薬品の助けがなければ健康の維持が難しい。薬品についての正しい知識を学び、薬品への依存性や副作用について理解を深める。

人類と宇宙

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

宇宙観の始まり、星の生と死、地球の生成と進化など、日進月歩の宇宙の科学の課題をふまえつつ、人類にとつての宇宙についても考察する。

スポーツ文化論

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的・社会的事実から論証し、さらにスポーツの生成・発展・衰退に関する諸要因（政治・経済・産業・社会・教育・科学・宗教・地理的環境等）について考え、現代社会における「人間性復権」への道程を展望する。

数学の世界

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

我々は日常、知らず知らず近代数学の成果を利用してゐる。ここでは初歩的、あるいは基本的な数学の各手法を解説して概念を理解させたあと、各手法について応用例を挙げて、改めてこれらの恩恵を実感する。例としては、計算機における2進法の利用、極限值、微分概念、対数の利用、保険計算における確率などがある。

表現技術科目

実用筆記演習Ⅰ（習字）

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として楷書体のひらがな・漢字の正確で美しい書法を演習形式で学び、習字の基礎を身につける。

上級英会話

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

さらに自分の英会話力を高めたいと希望する学生が、特別編成クラスで演習形式で学ぶ。

英語発音トレーニング

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本人が英語を話したり読んだりするときに誤りやすいリズム、イントネーション、発音の問題などに留意し、学生のレベルに合わせながら、演習形式で英語の発音訓練を行う。

上級ライティング

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

さらに自分の英作文力を高めたいと希望する学生が、特別編成クラスで演習形式で学ぶ。

時事英語

3年 前・後期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

新聞・雑誌・衛星放送などの各種メディアでの英語ニュースを理解する能力を身につける。

韓国・朝鮮語Ⅲ

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の上級講座として、理解する力と表現する力をさらに向上できるように、演習形式で学ぶ。

中国語Ⅲ

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の上級講座として、理解する力と表現する力をさらに向上できるように演習形式で学ぶ。

プログラミング演習Ⅱ

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

「プログラミング演習Ⅰ」で習得した知識・技能に基づいて独自のプログラムを作成する。

ロシア語Ⅲ

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の上級講座として、理解する力と表現する力をさらに向上できるような能力を、演習形式で学ぶ。

プログラミング演習Ⅰ

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コンピュータの基本構造、データの表現、論理の表現を演習を通じて学ぶ。

総合科目

文化創造ワークショップⅠ

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

各自で立案し設定した卒業研究のテーマが、当該専攻を越えて複数の専攻にまたがる学生のために開設する科目であって、専攻を越えた複数の専任教員の共同指導のもとに、各自のテーマを深める。

文化創造ワークショップⅡ

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

前期の「文化創造ワークショップⅠ」の内容を後期において継続的に開設する科目であって、専攻を越えた複数の専任教員の共同指導のもとに各自の卒業研究テーマを完成させる。

関連科目

日本文学史Ⅱ

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

「日本文学史Ⅰ」における「近代文学史」を受け、第二次世界大戦前後から現在に至る現代文学史の諸問題を、主として詩歌の視点から学ぶ。

演出論

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

演劇や映画において果たす演出の意味や機能を検討し、具体的な作品に即して演出の実際について学ぶ。

声楽

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間の身体を楽器として成立する最古の音楽である声楽を題材として、発声の基本的メカニズムやさまざまな唱法を具体的な音楽資料に基づきながら検討し、その芸術的特徴を学ぶ。

文化人類学

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

国際社会での人間理解の一助とするため、人間の身体構造から民族の慣習などの文化的側面まで、人間をさまざまな角度から学ぶ。

保健福祉論

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

保健と福祉の統合化という社会動向を踏まえつつ、保健福祉の考え方、方法論、実践例等について学ぶ。

環境生態学

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間の生産・消費活動により引き起こされる地球環境要因の汚染や破壊に伴う生態系の危機の現状を理解し、生態系との共生のための人間文明のあり方について学ぶ。

現代マナー論

3年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

人間関係を円滑に親和化する基本的な礼儀作法や挨拶を演習形式で学び、成熟した社会人としての良識を養う。

電子メディア論

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会の特性である電子メディア社会の側面が我々の生活文化に対して有する問題点と可能性について主として語学教育の場面を対象に学ぶ。

表現文化専攻中心科目

表現文化創造Ⅳ（詩歌）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として現代短歌を題材として、「第二芸術論」以降の戦後短歌の革新、前衛短歌の試行、ポスト前衛の多様な展開といったプロセスを史的にたどりながら、短歌の創造と時代・社会との密接な相互関連性を学ぶ。

言語表現Ⅳ（現代小説）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

高度経済成長後の日本の現代小説を取り上げ、現代の日本社会が抱える困難な問題を小説がどのように吸収し作品化しているか、あるいはどのように現代という時代を超える試みをしているか、といった点について具体的に学ぶ。

表現文化創造Ⅴ（戯曲）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本現代戯曲の代表的作品を対象として、現代を劇的に表現する戯曲のさまざまな特質を踏まえ、新しい戯曲表現の創作に関する諸方法について学ぶ。

視聴覚表現Ⅲ（アニメ・コミック）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

手塚治虫作品とその影響下にある典型的な現代コミック作品や宮崎駿などのアニメ作品を題材として、アニメ・コミック作品が現代文化の中で果たしている重要な役割やその新しい芸術的性格について学ぶ。

表現文化創造Ⅵ（広告・コピー）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

サブカルチャー領域にあるとされてきた広告コピーにおける表現の諸相を実際の作品に触れながら検証し、大衆文化と不可分でありながら、それを超越導く言語表現としての新しい広告コピーの創造について学ぶ。

視聴覚表現Ⅳ（絵本・イラスト）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

絵本やイラストにおける絵画と言語表現との相互補完的な性格を理解し、絵画やイラストにおける想像力の問題や言語とは異なる芸術的特長といった基本的な問題を具体的作品に即しながら学ぶ。

メディア表現Ⅲ（ヴァーチャル表現）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

表現文化を伝達するメディア領域の、主にコンピュータによるヴァーチャル表現の分野について、技術と方法の可能性を学ぶ。

表現文化研究Ⅰ

4年表現 前期 必修 2単位

【授業の概要】

「表現文化講読演習」「表現文化特殊演習」における成果を踏まえ、各専任教員及び兼任講師の個別指導のもとに各自の研究テーマや創作テーマを設定し、自己学習を深める。

表現文化講読演習

3年表現 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員及び兼任講師が担当し、言語表現・視聴覚表現・メディア表現の各分野から各自の関心のある領域を選択し、当該分野の専門的テキストや資料を通して、それぞれの専門的な知識を深め、着実な問題意識を身につける。

表現文化研究Ⅱ

4年表現 後期 必修 2単位

【授業の概要】

「表現文化研究Ⅰ」における自己学習を踏まえ、各専任教員及び兼任講師の個別指導のもとに各自の研究テーマや創作テーマの完成を目指し、卒業研究レポートとして提出する。

表現文化特殊演習

3年表現 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員及び兼任講師が担当し、言語表現・視聴覚表現・メディア表現の各分野から各自が選択した領域において、「表現文化講読演習」で得た問題意識や専門的知識を自己学習のレポートや習作に基づく演習によって具体化する。

表現文化卒業プロジェクト

4年表現 後期 選択 4単位

【授業の概要】

「表現文化研究Ⅰ」で立案し設定したテーマないしは独自に設定した当該領域のテーマを、専任教員の指導のもとに問題意識や創造的意匠を深めながら、卒業論文ないしは卒業製作として完成させる。評価は専攻の専任教員によって行う。

漢文学概説

3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国及び日本の代表的な漢文を教材として、その音読、朗読により漢文の調子を学ぶとともに、漢文における基本的な語句の意味、用法及び文の基本的な構造についての理解を深める。

多元文化専攻中心科目

多元文化創造Ⅳ（イデオロギー）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

19世紀的以降のイデオロギーの変遷を史的に検証しながら、マルキシズムが退潮しボーダレス化した現代の世界において、なお果たすべき役割や意義について学ぶ。

多元文化創造Ⅴ（翻訳）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

異言語・異文化間の翻訳をさまざまな側面から考察し、多元化する現代社会における文化創造過程について学ぶ。

言語文化Ⅲ（コーパス言語学）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

英語、日本語の獲得過程を分析するための言語データベースの構築の諸問題を扱う。また、インターネットやCD-ROMで利用可能な電子コーパスの分析方法も学び、コーパス言語学を実践的に学ぶ。

言語文化V (イギリス文学)

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

17世紀、18世紀から現代にいたるイギリス小説を題材として、イギリス文学と社会・歴史・風俗・生活習慣といった多様な角度からイギリス文学の特徴を学ぶ。

現代文化IV (宗教)

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代人の心の拠り所としての宗教が抱える諸問題を、既成宗教のみならずカルトなどの新興宗教の動向なども踏まえながら、具体的に学ぶ。

外国文化IV (中国)

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

文化大革命後の中国現代文化に関して、都市および農村部の生活文化の変化や刷新の様相を分析しながら学ぶ。

多元文化講読演習

3年多元 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当し、各論科目及び創造原理科目から各自の関心と選択に沿った領域を選択し、当該分野の専門的テキストや資料を通して、それぞれの専門的な知識を深め、着実な問題意識を身につける。

このうち、大野清幸助教授は、言語獲得の問題をテーマとし、言語学や言語心理学など多領域にわたる最新情報の文献を講読する。

宮田Susanne助教授は、子供の言語獲得、母親の言語、日本語第2言語習得、会話分析(第1、第2言語話者)に関する先行文献を中心に講読し、索引の使用法、図の見方、結果と解釈の見分け方などを学ぶ。

中郷慶専任講師は、最新の生成文法理論を学ぶために専門書の講読を行い、理論の枠組みの理解につとめながら、学生指導を行う。

外国文化V (ロシア)

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として文学作品を題材に、ソビエト連邦の時代からその崩壊後の現代ロシアにいたる現代ロシア文化の変遷の諸相を学ぶ。

多元文化特殊演習

3年多元 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当し、各論科目及び創造原理科目から各自が選択した領域において、「多元文化講読演習」で得た問題意識や専門的知識を自己学習のレポートに基づく演習によって具体化する。

このうち、大野清幸助教授は、主としてCHILDESシステムを応用した演習授業を進めていく。

宮田Susanne助教授は、「多元文化講読演習」で学んだ子供の言語獲得、母親の言語、日本語第2言語習得、会話分析(第1、第2言語話者)に関する先行研究を踏まえ、学生自身が問題を選択できるよう指導する。

中郷慶専任講師は、言語を生成文法理論で分析するための理論を深く学ぶとともに、コーパスを用いた言語資料の分析についても学び、自己選択のテーマに向けての学生指導を行う。

多元文化研究Ⅰ

4年多元 前期 必修 2単位

【授業の概要】

「多元文化講読演習」「多元文化特殊演習」における成果を踏まえ、各専任教員の個別指導のもとに各自の研究テーマを設定し、自己学習を深める。

多元文化研究Ⅱ

4年多元 後期 必修 2単位

【授業の概要】

「多元文化研究Ⅰ」における自己学習を踏まえ、各専任教員の個別指導のもとに各自の研究テーマの完成を目指し、卒業研究レポートとして提出する。

多元文化卒業プロジェクト

4年多元 後期 選択 4単位

【授業の概要】

「多元文化研究Ⅰ」で立案し設定したテーマないしは独自に設定した当該領域のテーマを、専任教員の指導のもとに問題意識を深めながら、卒業論文として完成させる。評価は専攻の全専任教員によって行う。

環境文化専攻中心科目

環境文化創造Ⅳ（科学技術文明と地球環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

多様な学問分野や技術を総合して、今日の環境問題を解決してゆく方途について学ぶ。

コミュニティー環境Ⅱ（地域環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コミュニティーとしての地域における多様な次元での環境問題を現実的に理解し、主として地域住民の安全と健康を保全する実践的な問題解決の方途について学ぶ。

コミュニティー環境Ⅳ（社会システム論）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本の社会システムの構造的な本質と、その問題点について学ぶ。

環境アメニティーⅢ（住居環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

生活環境の基本的要素の一つである「住」について理解を深め、主として人間の快適で健康的な生活を保障する住居機能について学ぶ。

環境アセスメントⅡ（人体環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間の生命を支える人体の仕組みと働きについて学び、様々な外的環境要因と人体内部環境との関わりを、ホメオスタシスの視点から実践的に学ぶ。

環境アメニティーⅣ（都市環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

健康被害や安全危機をもたらす都市型公害をはじめとする現代都市の諸問題を明らかにし、より快適で健康的な生活環境としての都市のあり方について学ぶ。

環境アセスメントⅢ（心理環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会の特性となっている、ストレス社会の問題をメンタルヘルスの観点から学ぶ。

環境アメニティーⅤ（健康科学）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

健康な日常生活を営むために必要な生活活動条件の追求および快適な暮らしを営むための生活環境条件の整備について、主に医学的な視点から実践的に学ぶ。

ゲーム・シミュレーション演習

3・4年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

教育ゲームの体験を通して、環境問題の構造を理解し、その有効な対策の方法について学ぶ。

環境文化講読演習

3年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当し、各論科目及び創造原理科目から各自の関心と選択に沿った領域を選択し、当該分野の専門的テキストや資料を通して、それぞれの専門的な知識を深め、着実な問題意識を身につける。

環境文化研究Ⅱ

4年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

「環境文化研究Ⅰ」における自己学習を踏まえ、各専任教員の個別指導のもとに各自の研究テーマの完成を目指し、卒業研究レポートとして提出する。

環境文化特殊演習

3年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当し、各論科目及び創造原理科目から各自が選択した領域において、「環境文化講読演習」で得た問題意識や専門的知識を自己学習のレポートに基づく演習によって具体化する。

環境文化卒業プロジェクト

4年環境 後期 選択 4単位

【授業の概要】

「環境文化研究Ⅰ」で立案し設定したテーマないしは独自に設定した当該領域のテーマを、専任教員の指導のもとに問題意識を深めながら、卒業論文として完成させる。評価は専攻の全専任教員によって行う。

環境文化研究Ⅰ

4年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

「環境文化講読演習」「環境文化特殊演習」における成果を踏まえ、各専任教員の個別指導のもとに各自の研究テーマを設定し、自己学習を深める。

教職課程科目

教職入門

小木曾通男

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

本講義は、教員という職業がどのような意義を持っているのか、学校での教師の職務と役割がどのようなものであるかを、学生の被教育体験を生かしながら具体的に解説する。職務の個々の内容について、現在の中学高校の実体を踏まえて詳説する。その上で、今日の学校が抱えている問題解決の方途を、中教審、教課審の答申を学び、求められている教師像を明らかにすることによって教職につくかどうか、自らの適性を見極めて決定する情報と機会を提供したい。

【授業計画】

1. 東西の優れた教育者をとりあげ、教育とは何か、教育者とは何かを考える契機とする。
2. 近代市民社会の教育需用の増大と教育養成についてイギリス、アメリカにおける教員養成の概要及び日本における教員養成を歴史的に概観する。
3. 社会構造の変化の著しい現代社会における教員への期待について、地域構造、家族構造、職業構造等の変化に伴い教員の役割の変化と多様化・個性化した保護者・生徒の教員への期待と変化への対応を考える。
4. 中学校、高等学校における望ましい教員像とは何かを学級担任、教科担任、部活顧問、進路指導、生徒指導において各人の体験をもとに考えてみたい。
5. 信頼される教員とはどんな教員か、生徒の人間性の尊重とは何か、生徒との望ましいコミュニケーションのあり方を考えてみたい。
6. 21世紀の教育を担う教員の在り方を求め、社会の進歩と変化に対応する不断の研修と教育技術の開発により、常に新鮮な教育を行う努力は教員にとって不可欠であることを理解する。

【評価方法】

授業中にテキストに添付した用紙に記載する感想文とレポートによる総合評価とする。

【テキスト】

「教職入門」200円

【参考文献・資料】

授業時に紹介する。

教育原理

梅村敏郎

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

無意図的な形成力とは区別される、意識的・意図的活動としての教育には、志向すべき明確な目的・目標がある。この目的を規定する要因は、三つであって子どもと子どもが生活している社会的共同体と共同体が保持している文化である。

新生児は、始めは空腹や気候の寒暑による身体的不快を訴えて「泣き叫ぶ」こと以外には何もできない無力な存在である。しかし、やがて正常な子どもの場合には、両親から遺伝によって受け継いだ素質を土台として感覚器官を初め諸々の能力を発達させる。

しかし、これらの人間の能力の具体的な内容、量・質を規定するのは社会である。社会はその構成員に対して、その社会が重視するような種類の能力を身につけることを要求するだけでなく、その能力の水準をも要求する。これを他面から見れば、諸々の社会には固有の文化があり、社会はこの文化の継承と発展を意図して、社会の次代の構成員にこれを伝達しようとする。人間の各分野の能力は、文化の伝達活動によって訓練され、発達するのである。

この授業では、今日のわが国の、特に初等・中等教育の目的・目標が何に置かれているかを中心として講義する。

【授業計画】

- 1 教職専門科目としての「教育原理」の性格
- 2 古代の教育目的
- 3 中世の教育目的
- 4 近世の教育目的
- 5 近代学校の教育目的

【評価方法】

筆答試験による。

【テキスト】

特定の書物を教科書として使用することはない。

教育思想史

梅村敏郎

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

教育は、人間の本質的な営みの一つであって、既に古代から哲学者や思想家の考察の対象となってきた。これらの思想は、思想家たちが生きた時代や文化の主要な潮流や思想家自身の思考方法の特徴によって極めて多様な思想や理論が形成された。

この授業では、古代から現代まで各時代を代表するような偉大な教育思想を時代順に辿るのではなくて、現代の教育についての基本的な考え方や主要な概念に直接的な影響を与え、そのため現代教育と直接的なつながりを持つと思われる17世紀のコメニウスを出発点として、それ以後今日に至るまで最も重要と考えられてきた教育者たちの思想を取り上げる。

その際、学生はそれらの思想についての他人の解釈や解説を聴くことも必要ではあろうが、むしろそれらの思想と直接に対決することがより大切である。

専門的な研究者にとっては、それらの思想はそれが書かれた元の言語で読まれるべきであろうが、初歩の学生は先ずそれらの書物の良い日本語訳によって、これらの思想に直接触れることが必要である。

【授業計画】

- 1 教育思想史を勉強することの意義
- 2 コメニウス
- 3 ルソー
- 4 ベスタロッチ
- 5 フレーベル
- 6 デューイ

【評価方法】

評価はレポートの提出による。

【テキスト】

特定のテキストは使用しない。参考書は授業中に適宜紹介する。

欧米教育文化史

江藤恭二

長久手 2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

欧米教育文化史における「近代化」とは具体的に何を意味するのか、という点に焦点をあて、欧米教育・文化の全体的・構造的な変遷過程に着目しつつ、比較教育史的なアプローチを試みる。

1. 欧米教育文化史の視点と課題
2. 中世後期の欧米教育・文化
3. ルネサンスと宗教改革
4. 近代教育・文化の生誕と展開
5. 啓蒙思想と教育
6. 市民革命期の教育思想

【授業計画】

講義方式、時折、欧米文化に関するVideo教材を用いる。

【評価方法】

テスト

【テキスト】

西洋近代教育史（江藤他編 学文社 2,300円）

教育心理学 I

坪井さとみ

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

中学・高校生についての理解を深めるために乳幼児期から青年期までの発達の姿を概観し、発達課題について考えると共に、障害児への理解を通して発達の可能性について考えていく。その上で、教育を受ける側と教育する側との相互の人間関係の中で展開される「教育」の営みについて、学習のメカニズムや動機づけの理論を通して考え、心理学的知見を実践の中に生かしていくことを目的としたい。

【授業計画】

1. 教育心理学を学ぶということ
 - ・教育の機能と教育心理学の位置づけ
2. 発達について考える
 - ・生涯発達の視点
 - ・障害の意味と発達可能性
 - ・発達段階と発達課題
 - ・認知の発達
3. 学習の過程を考える
 - ・学習の成立過程
 - ・学習における知識の役割
 - ・学習意欲を育てる
 - 外発的動機づけと内発的動機づけ／
 - 原因帰属をめぐって／知的好奇心の喚起
 - 報酬の意味／目標のありかた

【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

【テキスト】

使用せず。

【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

障害児の教育

加藤文子

長久手 2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

心身障害児についての基本的理解をし、その対策の実状を理解する。(教育的環境・福祉施設の役割)

また就学指導の仕組みを理解し、特殊教育の現状・課題を認識するとともに、基本的には人間尊重の精神を涵養する。

【授業計画】

- 1 心身障害児をもつ親の相談事例
 - ・視覚障害児の場合
 - ・聴覚障害児の場合
 - ・病弱・虚弱児の場合
- 2 心身障害の発生原因と早期教育の必要性
 - ・心身障害児とは
 - ・早期教育はなぜ必要か
- 3 心身障害児の教育環境
 - ・就学指導の仕組み
 - ・特殊教育諸学校の教育計画
 - ・福祉施設の役割
- 4 心身障害児(者)教育の歴史
 - ・心身障害児(者)教育を開拓した人々
 - ・それぞれの時代と社会の歴史的状況で成立してきた過程
- 5 心身障害児とのかかわり
 - ・教育診断の在り方
 - ・心身障害児とのかかわり
- 6 まとめ

【評価方法】

出席状況・授業態度・レポート・期末試験の成績により総合的に評価する。

【テキスト】

テキストは使用せず。

障害児の教育ノートとして資料を配布する。

教育制度

梅村敏郎

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

近代国家はいずれも自国の文化的伝統の継承と自国の発展のために幼児教育から高等教育にいたる各段階の学校を一つの制度として整備拡大する努力を払っている。

幕藩体制から脱却したわが国も1872年以来、欧米先進国の学校制度に範を取り、学校制度の普及に努めた。以来ほぼ130年の間に、わが国は世界で最も文盲率の少ない、教育の最も普及した国の一つとなった。

この授業ではこの100年余りの歴史の上に成立しているわが国の学校制度を世界の先進国の教育制度と比較しながら、その特徴を把握すると同時に、一世紀以上経過したこの制度がどんな欠陥を持つかを明らかにする。

【授業計画】

- 1 近代世俗国家と学校教育
- 2 現代の先進国の学校制度
 - (1) フランスの学校制度
 - (2) ドイツの学校制度
 - (3) イギリスの学校制度
 - (4) イタリアの学校制度
 - (5) アメリカ合衆国の学校制度
 - (6) ロシアの学校制度
- 3 わが国の近代学校の成立
 - (1) 幕藩体制下の学校
 - (2) 明治の学校改革
 - (3) 第二次大戦後の学校改革
 - (4) 現在の学校制度改革の動向

【評価方法】

評価は学期末の筆答試験による。

【テキスト】

特定の書物を教科書として使用することはない。
必要な資料は、授業中に適宜配布する。

教育課程

梅村敏郎

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

特定の発達段階にいる子どもを対象として、各レベルの学校がその教育目的・目標を十分に達成するために、子どもにどの種の教科・教材をどのように学習させるか、またどの種の活動をどう体験させるかについての全体的な教育計画である教育課程(カリキュラム)を学習する。

なお、各学校が教育課程を編成する場合に、広範な人間の文化領域のなかから、子どもが学習・体験すべき教育内容を選択し組織化する原理が何であるかという問題に焦点をあてて教育課程について考察する。

【授業計画】

- 1 教育課程とは何か
- 2 教育課程の原理
- 3 教育課程の種類
- 4 わが国の学校の教育課程
 - (1) 幼稚園の教育課程
 - (2) 小学校の教育課程
 - (3) 中学校の教育課程
 - (4) 高等学校の教育課程
- 5 まとめ

【評価方法】

評価は、最終授業（もしくは学期末定期試験期間中）に行われる筆答試験による。

【テキスト】

中学校学習指導要領 文部省 平成10年
高等学校学習指導要領 文部省 平成11年

国語科教育法 I

佐々木亜紀子

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中学校学習指導要領には、「国語」の教科目標として、「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。」とある。この目標を正しく理解して、高等学校あるいは中学校生徒にいかにかを教えるかを考える授業にしたい。具体的には、教材研究の方法、学習指導案の作成方法、板書方法、授業の進め方、評価の方法などを学び、教育現場に対応し得る力を養う。

【授業計画】

- 1 講 導入
国語科教育の概観
新・学習指導要領における国語科教育の目標
- 2 講 学習指導案の作成方法
- 3～5 講 「論説文」(中学校)の学習指導
(教材研究・指導案・授業・評価などの方法)
- 6～8 講 「評論」(高等学校)の学習指導
(同上)
- 9～10 講 古典導入教材の学習指導(中学校)
(同上)
- 11～12 講 古典導入教材の学習指導(高等学校)
(同上)

【評価方法】

授業への参加態度と課題の内容との平常点、及び単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

実践的国語科教育法—新・学習指導要領準拠—
(原國人編 新典社 2,000円)

【参考文献・資料】

高等学校学習指導要領解説 国語編
中学校学習指導要領解説 国語編

英語科教育法 I

大野清幸

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中学校及び高等学校の学習指導要領に準拠し、英語科教育法について目的論、技能論、方法論を中心にして、日本における英語教育の歴史、諸外国における言語政策と英語教育、マルチメディアを活用した英語教育等の話題を含めて、英語教育の在り方を考察する。

【授業計画】

- 1 日本の英語教育の目的と現状
- 2 日本における英語教育の歴史
- 3 言語習得の原理と各種教授法
- 4 学習指導要領と英語科教育法
- 5 諸外国の言語政策と英語教育
- 6 マルチメディア活用の可能性と課題
- 7 ListeningとSpeakingの指導
- 8 ReadingとWritingの指導
- 9 Team-teaching
- 10 英語評価
- 11 学習指導案における指導課程の構成
- 12 中学校の英語授業と学習指導案の書き方
- 13 高等学校の英語授業と学習指導案の書き方
- 14 教育実習の意義

【評価方法】

出席状況、授業態度を厳しく評価する。定期試験を実施する

【テキスト】

新・英語科教育の研究
(片山嘉雄・遠藤栄一・佐々木昭・松村幹男編 大修館書店)
中学校学習指導要領解説—外国語編—
(文部省 東京書籍)
高等学校学習指導要領解説—外国語(英語)編—(文部省)

道徳指導法

加藤文子

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

道徳とはなにか、わが国の道徳教育の基盤、義務教育における道徳教育の在り方を探求する。その上で、今日の道徳教育に至るまでの歴史の変遷を学び、さらに道徳性の発達理論を考察する。また、道徳指導の実際についての具体例をとりあげ、その理解を深める。

【授業計画】

- 1 道徳と道徳教育
- 2 児童・生徒を生かす道徳教育
- 3 公教育における道徳教育の歴史
 - ・ 明治5年学制公布から明治23年教育勅語発布までの過程
 - ・ 戦後の道徳教育の変遷
- 4 道徳性の発達理論と学校道徳教育
- 5 学校における道徳教育の実際
 - ・ 道徳教育の目標
 - ・ 道徳教育の内容
 - ・ 「道徳の時間」の指導計画、指導案の作成
 - ・ 「道徳の時間」の指導の実際、VTR視聴
 - ・ まとめ

【評価方法】

期末試験の成績に、毎時間の出席状況、授業中の態度、課したレポート内容を加味して総合的に評価する。

【テキスト】

- テキストは使用せず。
- 必要に応じて資料を配布する。

特別活動指導法

小林春治

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

中学校・高等学校の特別活動の変遷とその具体的な活動として学級活動、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事についての指導法を考察する。

そのなかで望ましい人間関係、基本的な生活習慣の形成を通して個人及び社会の一員としての在り方、生き方に関する指導の充実を図ることを学習目標とする。

【授業計画】

1. 教育課程の位置と目標
特別活動は、各教科、道徳とともに教育課程を構成する領域の一つであり、これらそれぞれの充実と相まって、中学校・高等学校の教育目標を達成することができることを学習する。
2. 戦後の教育状況と教育改革
敗戦直後の教育状況と教育基本法・学校教育法の施行（六・三・三制の実施）にいたる大要を、GHQのとった教育政策にも注目しながら学習する。
3. 特別活動の変遷
特別活動の変遷を中学校・高等学校の学習指導要領を通して論じ、その社会的背景についても具体的な資料に基づいて学習する。また、平成12年度から移行措置がとられている新しい学習指導要領にも言及する。
4. 特別活動の基本となる指導法
中学校の学級活動、高等学校のホームルーム活動が、生徒会活動、学校行事などと相互に関連していることの学習を通して、これらの集団生活の在り方、心身ともに健康で安全な生活習慣の形成などを基本にした指導法を、現状にも注目しながら考察する。

【評価方法】

期末試験の成績とレポートの評価及び出席率を総合する。

【テキスト】

- 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
(文部省 東山書房 予価130円)

教育方法

東浦信博

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

前半では、教育方法を歴史的に概観するとともに、学習指導の様々な形態を学ぶ。また、学力や教育評価についてもふれる。後半では、視聴覚教育の手法を学ぶ。

【授業計画】

1. 教育方法の歴史的概観
 - ①古代ギリシャの教育
 - ②古代ローマの教育
 - ③中世ヨーロッパの教育
 - ④近世から現代の教育
 2. 学習指導の原理
 - ①教育課程・学習指導要領
 - ②学力
 3. 教育評価
 - ①教育評価の意義・目的・歴史的概観
 - ②学習評価の方法・種類
 4. 視聴覚教育
 - ①戦前の視聴覚教育と戦後の視聴覚教育
 - ②教育工学の手法
 - ③ニューメディアと教育
 - ④視聴覚教育メディア各論
 - ⑤放送教育
 - ⑥コンピュータと教育
- 講義中心。OHP・ビデオ等AVメディア使用。

【評価方法】

資料持込不可の論述式定期試験。

【テキスト】

教育の方法、技術を学ぶ。(福村出版 ¥1,700)

学習メディア論

東浦信博

長久手 2・3年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

わが国の教育においても、従来の視聴覚教育機器からマルチメディア教育機器やネットワークメディア利用の学習まで多様なメディアが活用されている。主要な教育メディアや教育技術の新展開について、その背景となる学習理論やメディア自体のメカニズム・特性、ときには学習事例などもあげて学ぶ。

1. 学習とは (学習とは何か、学習の定義、学習理論、学習条件、主体的学習など)
2. 学習とメディア (学習者-学習素材・教材のコミュニケーションメディア)
3. メディア各論 (集団学習と個別学習、音声・映像・音声映像・コンピュータ・マルチメディア)
4. 遠隔地とのコミュニケーション (通信ネットワーク [=インターネット] による学習)
5. メディアリテラシー (21世紀におけるメディア活用の技術は人間生活の基本技術となる。この技術の欠如は文盲にたとえられる時代がくる。)

【授業計画】

講義中心であるが、可能な限り実物を用意する。OHP、ビデオを多用する。

【評価方法】

テキスト・ノート持ち込み可による論述式定期試験。

【テキスト】

なし。

生徒指導（進路指導を含む）

小林春治

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

生徒指導を生徒の管理監督、青少年非行の防止といった消極的な視点からとらえるのではなく、正しい人間観（生徒観）に基づいて生徒の健全な育成、個人の尊厳と人格を尊重した生徒指導を基本とする。なかでも進路指導については、その理念及び目的を、学習指導要領に基づいて具体的に学習する。こうした学習をととして生徒に接する教師の在り方についても具体例を示して指導する。

1. 旧約聖書・新約聖書における人間観（アダムとイブなど）、カントの人格主義における人間観、法然・親鸞はじめその他先哲の人間観を学習する。
2. 戦前の「修身・教育勅語」、昭和初期にはじまる「軍国主義教育」の生徒指導と戦後の「民主主義教育」による生徒指導に視点をあて、その歩みを概観する。
3. 現代社会における社会構造の変化に注目し、社会的視点から新しい教育観と社会集団のもつ教育機能の変質のなかで、生徒指導が果たす役割を青少年非行と矯正教育の現状にも注目しながら、中学校・高等学校における教育の現状と問題点を考える。
4. 進路指導の基本理念及び目的と内容を学習するなかで、中学校・高等学校における進路指導の現状と問題点に触れながら教師の在り方を、教育相談・カウンセリング・進路情報などを通して、具体的に学習する。

【授業計画】

授業においては、中学校・高等学校時代の生活体験を生きた教材として、具体的に学習する。

【評価方法】

期末試験の成績と小テスト・レポートの評価及び出席率を総合する。

【テキスト】

生徒指導講義ノート（小木曾通男編 250円）

教育相談（カウンセリングを含む）

坪井さとみ

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

教育相談の役割が認識されるようになった背景からその必要性を考え、教育相談への理解を深めて実践につなげていきたい。教育相談は生徒一人ひとりに関心をもつところから始まる。そこで生徒理解のあり方や不適応行動への対応について考えたい。また、傾聴の大切さを中心にして情報提供や助言の仕方なども含めた面接の進め方を学び、カウンセリングの基礎知識も併せて学んでいく。

【授業計画】

1. 今、なぜ「教育相談」「カウンセリング」か
2. 教師と生徒の人間関係
 - ・「自分」は他者との関係の中で育つ
 - ・教師－生徒の相互影響過程
 - ・生徒理解
3. 教育相談
 - ・学校における教育相談
教育相談の位置づけ
教育相談の特質
 - ・教育相談の進め方
カウンセリングの基礎
4. 学校という生活環境と適応
 - ・適応と不適応
 - ・問題行動のとらえ方とその対応
 - ・学校への不適応を考える
 - ・非行・いじめを考える

【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

【テキスト】

使用せず。

【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

司書課程科目

図書館情報学概論 a・b

村主朋英

長久手 1年 前・後期 必修 各2単位

【授業の概要】

この科目は、図書館情報学分野の世界への入り口となる科目である。前半は、図書館情報学における基本的な考え方について論ずる。後半は、情報に関する研究の世界や図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

【授業計画】

0. オリエンテーション：分野と専門、学術と実務
1. 情報や知識をどのように捉えるべきか
2. 情報の流通過程
3. 情報と知識の研究と実務に関わる分野
4. 図書館・情報サービスにおける機能と構造
5. 情報サービスと人間
6. まとめ：人とメディアのつくる宇宙の中で

【評価方法】

前期：定期試験

後期：定期試験と夏休みレポート

※なお「図書館情報学概論 a」の単位を取得済でない学生については、「同 b」の単位は認定しない。また、前期末に夏休みレポート課題を提示するので、今年度「同 b」のみ履修予定の学生は問い合わせること。

【テキスト】

図書館情報学用語辞典（日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 税別定価 3,800円）

情報サービス基礎論 a・b

逸村 裕

長久手 2年 前・後期 必修 各2単位

【授業の概要】

図書館で行われる情報サービスには幅広いものがある。また、これらのサービスはその対象、館種、主題、規模ごとに多くの特徴を持つ。さらに今日、伝統的な図書館サービスに加え、情報技術の普及発展に伴う新たな対応を迫られている。

これら図書館情報サービスの紹介と評価の視点から講義を行なう。

前後期は連続する内容である。

1. この講義の対象と範囲
2. パブリック・サービス（奉仕—直接サービス）
 - A. 貸出閲覧
 - B. レファレンス
 - C. 相互協力
 - D. 視聴覚資料
 - E. パブリックサービスの今後
3. テクニカル・サービス（資料組織—間接サービス）
 - A. 選書
 - B. 収書
 - C. 整理
 - D. 雑誌
 - E. テクニカルサービスの今後
4. 評価の視点から見た情報サービス
 - A. 蔵書
 - B. 人的サービス
 - C. その他のサービス

【授業計画】

講義中心に行う。適宜、小テスト、レポートを課す
インターネット講習会を受講しておくこと

【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による評価。詳細は初回講義の際に説明する。

【テキスト】

使用せず。

レファレンスサービス論

長澤雅男

長久手 2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

図書館における情報サービスという広い観点から情報提供の問題を解説するが、とりわけレファレンスサービスを重点的に取り上げ、レファレンスコレクションの構築、レファレンス質問からその回答にいたる一連のレファレンスプロセスのあり方について理解を深めることを主な目的とする。この科目は、「レファレンスメディア論」と相互に補完するものとして扱う。講義を中心に進める。

【授業計画】

1. 情報ニーズに応える情報サービス
2. レファレンスサービスから情報サービスへ
3. レファレンス機能に基づくレファレンス業務
4. レファレンスサービスのための情報源
5. レファレンスプロセス
6. 質問の受付から内容の確認へ
7. 質問内容の分析から探索の実行へ
8. 質問回答とレファレンスプロセスの終結
9. レファレンスサービスの組織と運営

【評価方法】

期末試験（多肢択一式問題）を予定しているが、出題形式については、試験日の1、2週間前に改めて説明する。

【テキスト】

レファレンスサービス—図書館における情報サービス（長澤雅男 丸善 2,369円）

レファレンスメディア論

長澤雅男

長久手 2年 前・後期 必修 2単位

【授業の概要】

レファレンス質問の処理に役立つ情報源の種類とその特性を理解し、情報と文献の探索技術を習得できるようにするため、各種の参考図書、データベース等、探索ツールとしての印刷メディアと電子メディアの特性を解説したうえで、質問事例を用いて情報および文献の探索方法について演習を行う。

【授業計画】

1. レファレンスサービスにおける情報源／問題解決と情報源／記録メディア／参考図書とデータベース
2. 参考図書・データベース関係の情報源／参考図書の解題書誌／書誌の書誌／データベースディレクトリ
3. 図書・叢書関係の情報源／書誌／目録（所蔵目録、総合目録）／叢書合集索引
4. 逐次刊行物関係の情報源／逐次刊行物リスト／新聞雑誌記事索引／抄録誌
5. 人物・団体関係の情報源／人名事典／名鑑／人物文献索引
6. 歴史関係の情報源／歴史事典／年表／年鑑類
7. 地理関係の情報源／地名事典／地図帳／地名索引
8. 事物・事象関係の情報源／事典／便覧類／図鑑類
9. 言語・文字関係の情報源／国語辞書／特殊辞書・諺語辞書／用語索引・詩歌索引

講義と演習（主として時間外に問題回答演習を行い、レポートを提出）。

【評価方法】

レポート、期末試験（出題形式は試験日の1、2週間前に説明する）の総合評価。

【テキスト】

情報と文献の探索 第3版（長澤雅男 丸善 3,296円）

情報検索演習B

逸村 裕 廣田 慈子

長久手 2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。また、索引語の付与と抄録の作成による書誌レコード作成過程も習得する。さらに、検索効率やユーザー・インタフェースの検討とともに、各自の情報ニーズに基づくテーマ検索の結果も検討し、システムの評価方法を学ぶ。

1. 情報検索とは

蓄積と検索／索引作業／検索効率／探索コマンドの標準化

2. オンライン情報検索システムとCD-ROM

各種データベースの特徴／検索方法（メニューとコマンド）

3. DIALOGの検索（その1）

通信方法／デモンストレーション（DIALOG）／論理演算子／基本的な検索コマンド

4. DIALOGの検索（その2）

トランケーション／近接演算子／ストップワード／二次検索／フィールド指定子

5. DIALOGの検索（その3） 検索語の列挙／著者名検索

6. JOISの検索

7. 索引・抄録作成作業

索引語の付与とシソーラス／抄録作成の基準（SIST-01）

8. システム評価（DIALOGとJOISの比較）

9. テーマ検索（DIALOGとJOISの活用）

10. 各種システムとDBのデモンストレーション

STN-International／PATOLIS／日経ニューステレコン／MEDLINE／各種CD-ROM

【授業計画】

8号棟情報検査室で実習を中心に進める。実習助手も指導に加わり、受講生の理解度を確認しながら進める。「インターネット講習会」を受講しておくこと。

【評価方法】

サブテーマごとに小テストを行う。また各自のテーマ検索での結果をまとめたレポートも評価の対象とする。

【テキスト】

なし（プリント配布）。

情報学Ⅱ a・b

村主朋英

長久手 2年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

図書館サービスと情報検索サービスの発達過程を中心に、人類の情報環境の発達過程を概観する。まず、図書館等の情報サービス機関や図書館員等の情報専門職に焦点を当てながら、情報流通の制度・機構や情報の蓄積・検索の技術・技法がどのように整備されていったかを概観する。その上で、そうした情報環境に囲まれて、人類が情報や知識をどのように蓄積・継承してきたか、展望する。

【授業計画】

1. 図書館・情報サービスの起源と学術情報

1. 1 古代・中世の知識と図書館

1. 2 印刷革命

1. 3 近代における学術情報流通システム

1. 4 近代公共図書館と図書館界の成立

1. 5 図書館学とドキュメンテーション

2. 現代の図書館・情報サービス

2. 1 ドキュメンテーション運動その後

2. 2 情報技術の起源

2. 3 情報検索サービスの成立

2. 4 情報学の成立

2. 5 情報環境の変化

3. 理想の情報検索システムを求めて

Vannevar BushとそのMemex構想／MemexとWorld Brain, インターネット

4. 総括

情報学と情報サービスの今後

【評価方法】

定期試験。※穴埋め・訂正問題、論述問題。

【テキスト】

図書及び図書館史（新・図書館学シリーズ12、樹村房税別定価1,900円）

図書館情報学用語辞典（日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 税別定価3,800円）

個人コミュニケーション論1a (認知心理学)

岩原昭彦

長久手 2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

本講義では、認知心理学の概説を行う。人間がどのように外界の情報を取り入れ、処理するのかに関する心理学的アプローチについて学習する。具体的には、人間の知覚、記憶、学習、思考、言語活動と理解について講義する。

【授業計画】

1. 認知心理学とは／講義計画指示
2. 知覚
- 3～4. 記憶
5. 学習
6. 概念の構造
- 7～9. 思考
- 10～12. 記号としての言葉 (単語認知)

【評価方法】

期末テスト、または講義内で課すレポートによって行う。実験 (あるいは調査) への参加回数も加味する。

【テキスト】

使用せず。講義内で理解の助けになるよう、プリントを配布する予定。

学芸員課程科目

博物館概論

長谷川鏑治

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

博物館とは何かからはじめて、その発達の歴史をたどり、日本と世界の博物館を概観する。

- ア はじめに…学芸員の資格、博物館学とは何かなど学習の基礎となる事項を説明する。
- イ 博物館の定義…ICOMの定義、博物館法の定義を中心に「博物館」とは何かを考えていく。
- ウ 博物館の始原…博物館の歴史を概観するにあたって、その始原をたずねてみる。
- エ 博物館の萌芽…ルネサンス期からの人々の文芸に対する態度の探求と博物館的な施設の形式を探る。
- オ 近代博物館の出発Ⅰ…王権の誇示の手段としての財宝の展示などから博物館を考える。
- カ 近代博物館の出発Ⅱ…市民革命などの動きにあわせて市民への公開がなされていく過程を考える。
- キ ヨーロッパの博物館…近世から現代までを主要な博物館を例にとり、その特徴をまとめる。
- ク アメリカの博物館…独立から現代までをヨーロッパの博物館と対比しつつ、その特徴を探る。
- ケ 博物館の新しい波…企業博物館、エコ・ミュージアム、テーマ・パークなど、今後の博物館の形態をみすえて、新しい動きをひろってみる。
- コ 日本の博物館…日本の博物館の歴史を概観する。
 - ・大陸文化の請来から床の間の普及まで
 - ・幕末から明治期にかけての博物館の出発
 - ・国威の宣揚と博物館
 - ・通俗教育による教化と博物館
 - ・十五年戦争と博物館
 - ・戦後の再出発

【授業計画】

授業概要の展開順にそって講義する。

【評価方法】

- ・小テストと数回にわたるレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）

博物館学各論Ⅰ

長谷川鏑治

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

博物館について、その機能、役割、組織、運営、学芸員、施設・設備、情報化、協力などにふれ、学芸員資格にかかわる基本的事項を学習する。

- ア 博物館の機能…生涯学習のための施設の一つと定義づけられていることを念頭におき、その機能について考える。
- イ 博物館の分類…種別、設置者別、制度別などの分類わけをとおして、博物館の役割やあり方を考えていく。
- ウ 博物館の組織…公立博物館を例にとり、典型的な組織の状態をみていく。
- エ 博物館の運営…名古屋市博物館を例にとり、運営の実際を知る。
- オ 学芸員考…現在、学芸員のおかれている地位、実態などに焦点をあて、「学芸員」はいかにあるべきかを考える。外国のCURATORとも比較してみる。
- カ 予算など…博物館のマネジメントについて、予算を中心に考える。
- キ 博物館の施設・設備…人文系博物館・動物園・植物園・水族館などについて、その設置基準をもとに施設・設備についてみる。
- ク 博物館と情報…情報化社会の発展、情報技術の進歩と博物館のあり方を探ってみる。
- ケ 博物館の協力…博物館はもちろんのこと、大学・研究機関などとの連携について考える。

【授業計画】

授業概要の展開順によって講義する。

【評価方法】

- ・小テストと数回にわたるレポートの提出で評価する。
- ・出席率は重要な評価対象である。

【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）

視聴覚教育メディア論

高橋啓介

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

「学芸員のための」を前提としながらも幅広く視聴覚教育メディア全般の特性を検討し、最近のマルチメディアまでの各視聴覚教育メディアを論ずる。

1. 視聴覚教育の意義と効果
2. 博物館と視聴覚教育メディア（手段としてのメディア、目的物としてのメディア）
3. 視聴覚教育メディア各論

領域と種類

録音メディア（レコード・テープ・CD等）

映像メディア1（スライド・OHP等）

映像メディア2（映画・ビデオ等）

マルチメディアと情報ネットワーク

【授業計画】

上記の教育目標を達成するために、特に「メディア・リテラシー」の問題に焦点を当て、実践的な分析も含めて、「メディア・リテラシー」教育について検討する。

- 第1回 メディア・リテラシーとは
- 第2回 イギリスにおけるメディア・リテラシー教育
- 第3回 カナダにおけるメディア・リテラシー教育
- 第4回 新聞1
- 第5回 新聞2
- 第6回 広告1
- 第7回 広告2
- 第8回 CM1
- 第9回 CM2
- 第10回 TVゲーム1
- 第11回 TVゲーム2
- 第12回 展望
- 第13回 単位認定試験

なお、必要に応じて受講者の発表を含む演習形式を取ることがある。また4回の課題レポートの提出を求める。

【評価方法】

出席状況（5点）、授業態度（5点）、課題レポート（10点×4）、単位認定試験（50点）とし、加算法によって60点以上を取得の場合、合格とする。

【テキスト】

特に定めない。

【参考文献・資料】

メディア・リテラシー（菅谷明子 岩波新書）

教育学概論

梅村敏郎

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

国際化、多文化化の進展する現代社会は南北問題、環境問題、人権問題等、多くの問題を抱えている。文化としての教育そのものが深刻な社会問題の一つであると同時に、またこれらの社会問題に対する有効な必須の解決方法の一つでもある。本講義では、人類の普遍的文化としての教育の意義とその営みの概要の理解を促進する。そしてこれらの学習を通じて自らのこれまでの教育経験を歴史的社会的に相対化し、これからの大学内外での学びと自己形成に意欲的に取り組めるようになることを目指す。

【授業計画】

- 1 教育とは何か
- 2 教育学の成立と発展
- 3 子どもと社会と文化
- 4 家族集団での子どもの教育
- 5 フォーマル・スクーリング
- 6 社会教育の諸問題
- 7 教育を再構築する概念としての生涯教育

【評価方法】

評価は、最終授業における筆答試験による。試験についての詳細は授業中に発表する。

【テキスト】

特定の著書を教科書として使用することはない。参考書は授業中に適宜紹介する。

日本美術史

四辻秀紀

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

平安時代には、つくり物語のなかの興味ある場面を選んで絵画化した物語絵が愛好された。物語を冊子や絵巻に描いて鑑賞することは、十世紀初頃にはすでにおこなわれており、これ以降、物語の絵画化は各時代を通じおこなわれてきた。物語と密接に結びつき享受されてきた物語絵の系譜について現存遺品を中心に、文献資料をまじえながら考察し、各作品の制作・享受の背景や問題点について言及したい。

【授業計画】

1. 美術史概説
 2. やまと絵の成立と展開。物語絵と屏風絵・歌絵
 3. 平安時代の文献にみられる物語絵
 4. 源氏物語絵巻
 5. ク
 6. 鎌倉時代以降の源氏絵の系譜
 7. 寝覚物語絵巻・狭衣物語絵巻
 8. 伊勢物語の絵画
 9. 隆房卿艶詞絵巻・豊明絵草子
 10. 葉月物語絵巻・枕草子絵巻
 11. 住吉物語絵巻
 12. 近世初期の古浄瑠璃絵巻群について
- ※スライド使用。学外授業として展覧会の見学を行う。

【評価方法】

レポートおよび出席状況により総合的におこなう。

【テキスト】

必要に応じて資料を配布する。

他学部・他学科開放科目

ドイツ語 a・b

浜田義孝

長久手 1・2年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得する。
ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（あるいはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツやオーストリアの生活と文化に触れることもできる。

【授業計画】

テキストは、全14課で各課とも基本的な文法事項、練習問題、そしてドイツの生活をテーマにした読本（ディアローク）で構成されている。

1課を2回の授業で修了するようゆっくりしたペースで進む。

【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

【テキスト】

新・じゃあ、またあした！（山本著 同学社）

フランス語 a・b

清水ベアトリックス

長久手 1・2年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

この授業は初級者を対象とし、フランス語の習得だけでなく、フランスの風俗、文化、習慣も「味わいながら」学ぶことを意図する。担当講師はフランス語の授業を通じて受講者の対仏国理解を深める手助けをすることを切に望む。

前期

日本で出版された平易なフランス語テキスト（CD付き）、漫画、ポップス、ビデオなどを使用する。

前期には、テキストの目次に沿って進み、フランス人講師が直接教えるので、受講者は「フランスに浸り」、「純粋な」フランス語の発音と文法の基礎を身に付ける。

できる限り前期では、下記の文法を学ぶ：

発音、名詞の『性』と『数』、冠詞、不定詞と動詞の活用：直接法現在形、疑問文：疑問代名詞と疑問形容詞、否定文、品質形容詞。

後期

前期に引き続き同じテキストを使用し、より高レベルの文法・語彙を学ぶ。しかし、特にコミュニケーションに重点を置くので、「純粋なフランスの環境」の中で簡単な作文を書いたり、寸劇をすることにより、受講者自身の考えをフランス語で表現する能力を養成することを主目的とする。

後期では、下記の文法事項を学ぶ：

目的語となる人称代名と強勢形、指示形容詞、所有形容詞、冠詞の縮約、半過去、複合過去。

【授業計画】

毎回学んだフランス語を会話練習に積極的に使用するとともに、文法を体系的に学んだり、平易なフランス語の文章を和訳する。

【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

【テキスト】

Le français Passionne'ment (Fumiyo ANAN, Ce'cile MORIN 第三書房)

ロシア語 a・b

杉本一直

長久手 1・2年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができるところは本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしてくださいね。

【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を憶え、発音を憶え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- a. キリル文字と発音
- b. 大きな声であいさつしよう
- c. 買い物に行ってみよう
- d. 乗り物に乗ろう
- f. おながすいたら...
- g. 自分について話してみよう
- h. 好きな音楽について
- i. 手紙を書こう(本当にロシアへ送るぞ！)

【評価方法】

定期試験の成績による。

【テキスト】

ロシア語ミニ辞典(白水社)

Intensive English 2001A 1・2

ポール・ルイス プレット・スティーンソン
ジョナサン・E. ロング ベヴァリー・F・M. カレン

長久手 1~4年 前期 選択 各2単位

【Course Content】

This unique course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal language learning goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural. Emphasis will be predominantly on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills—including vocabulary, comprehension, and grammar—will also be cultivated.

Teachers from The United Kingdom, North America, Canada, and Australia will be teaching on this course, providing a well-rounded perspective of the contemporary themes found in the text and encouraging critical thinking.

Students will have a choice of four two-day courses of study (see student handbook for more detailed information).

【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers. Examples of such themes include the following:

- 1) GENDER STEREOTYPES AND WORK
- 2) THE AFFECT OF FOOD ON MOOD
- 3) VACATION SPOTS AROUND THE WORLD
- 4) STAYING HEALTHY
- 5) UNEXPLAINED PHENOMENA
- 6) OUTDOOR LEISURE ACTIVITIES

【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:

- * ATTENDANCE
- * CLASS PARTICIPATION/EFFORT
- * HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- * END OF SEMESTER REPORT

【Textbooks】

TO BE ANNOUNCED.

Intensive English 2001B 1・2

ポール・ルイス プレット・スティーンソン
ジョナサン・E. ロング ベヴァリー・F・M. カレン

長久手 1～4年 後期 選択 各2単位

【Course Content】

This unique course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal language learning goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural. Emphasis will be predominantly on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills—including vocabulary, comprehension, and grammar—will also be cultivated.

Teachers from The United Kingdom, North America, Canada, and Australia will be teaching on this course, providing a well-rounded perspective of the contemporary themes found in the text and encouraging critical thinking.

Students will have a choice of four two-day courses of study (see student handbook for more detailed information).

【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers. Examples of such themes include the following:

- 1) GENDER STEREOTYPES AND WORK
- 2) THE AFFECT OF FOOD ON MOOD
- 3) VACATION SPOTS AROUND THE WORLD
- 4) STAYING HEALTHY
- 5) UNEXPLAINED PHENOMENA
- 6) OUTDOOR LEISURE ACTIVITIES

【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:

- * ATTENDANCE
- * CLASS PARTICIPATION/EFFORT
- * HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- * END OF SEMESTER REPORT

【Textbooks】

TO BE ANNOUNCED.

言語文化海外セミナー I

馮 富榮

長久手 集中 1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

この授業では、言語実践を通して、言葉を知り、理解し、発信し、理解されることの楽しさを体験することができる。また南京師範大学に滞在して生活することで、中国に対する単なる傍観者・観察者ではなく、客観的な目をもった共感者になることを目指す。

1. 南京師範大学において3週間の中国語研修を行う。
 - ◎月曜～金曜の午前中は8:00～11:30まで中国語の授業。日本語のできない先生が中国語で授業するが、分かるのが不思議。内容は会話表現中心。
 - ◎午後は課外活動として南京市内見学（中山陵、南京博物館、玄武湖、夫子廟、南京大屠殺記念館など）を通して、南京の風俗、歴史を学び、日本語学科の学生との交流会などを通して中国人同世代の人の考え方や生活を学ぶ。
 - ◎夜は予習復習に追われる。みんな教室に集まって、黙々と勉強。
 - ◎土曜と日曜は言語実践の日。南京の街へ飛び出そう！
 - ◎風光明媚な「瘦西湖」で名高い揚州へ、庭園で知られている蘇州への一日旅行。
2. 言語文化論 I の講義内容と呼応した1週間旅行。
3. 定員は20名程度。
4. 今年度の2月中旬から3月中旬にかけて実施する。
5. 修了者には2単位を認定する。

【授業計画】

4月のガイダンスで研修の内容などを説明する。後期開講科目であるが、参加希望者は履修登録を必ずする。9月下旬頃、参加者最終決定。10月中旬頃、第1回説明会。11月下旬頃、第2回説明会。1月下旬頃、オリエンテーションを実施する。2月中旬頃に出発し、3月中旬頃に帰国する。費用は30万円程度。

【評価方法】

引率者が平常点で評価する。

【テキスト】

南京師範大学の研修授業の担当先生が決めるテキストを使用する。

言語文化海外セミナーⅡ

窪田守弘

長久手 集中 1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国の大邱市にある大邱カトリック大学で、3週間の語学研修を行なう。参加学生は、必ずしも韓国語の知識は必要でなく、意欲的に異文化体験しようとする者であれば、だれでも自由に参加出来る。ただ、キャンパス内の寄宿舎では規則正しい時間を送りながら語学中心の勉強生活となるので、事前の心構えがしっかり定まっている人が望ましい。

この研修は単に語学や文化の研修をするだけでなく、韓国の学生との交流を通じて相互理解を図り、多くの新しい友人を得ることも大きな目的の一つである。

期間：8月6日～8月25日（予定）

内容：

- A. 韓国語研修（月～金）
 - 毎朝3コマ（1コマ50分）
- B. 文化研修（午後週1～2回）
 - 陶磁器実習
 - 韓国料理実習
 - 韓国伝統舞踊鑑賞
- C. 文化講座（午後週1回）
 - 韓日文化比較論
 - 韓日文化交流論

【授業計画】

参加学生は、必ず事前研修（週1回）を受けて、韓国語、文化、歴史などの基礎知識を得ることとする。

なお、参加希望者は、4月より始まるNHKのハングル講座を受講することが望ましい。

【評価方法】

研修後にレポートを提出し、全員で報告書を作成する。

【テキスト】

プリント、資料を配布する。

英語コミュニケーション5

石橋千鶴子

長久手 2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

パラグラフ・ライティングを含む英語総合演習。

【授業計画】

英語の4技能、すなわちリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングにおける運用能力の育成を目指し、総合的な英語活動を行う。

授業では英語ビデオ教材を使い、内容把握のための活動を英語で行っていく。また、ライティング学習では、英文の基本であるパラグラフの構成と、その中でいかにしてトピックを展開させるかを学ぶ。与えられたトピックでパラグラフ・ライティング、レター・ライティングなどを行い、ライティングにおける運用能力の育成をはかる。

なお、後期「英語コミュニケーション6」の履修を希望する者は、「英語コミュニケーション5」を履修しておくことが望ましい。

【評価方法】

期末試験及び日常の勉学状況により評価を行う。

【テキスト】

Survival Writing for College Students (Yasusada Uechi著 三修社)

英語コミュニケーション6

石橋千鶴子

長久手 2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

TOEIC問題対策を含む英語総合演習。

【授業計画】

英語の4技能、すなわちリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングにおける運用能力の強化を目指し、総合的な英語活動を行う。

前期「英語コミュニケーション5」に引き続き、ビデオ英語教材を使い、内容把握のための活動を英語で行う。また、TOEIC問題の演習を行い、さらなる個人学習を促したい。

なお、本科履修希望者は、前期「英語コミュニケーション5」を履修しておくことが望ましい。

【評価方法】

期末試験及び日常の勉学状況により評価を行う。

【テキスト】

TOEICテスト スーパー模試600問（発行 アルク）

英語コミュニケーション7

中村栄造

長久手 2~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

世界の様々な出来事が国際ニュースとして、われわれの手にすぐ届けられる時代を迎えて久しい。この授業では、日々われわれが接する膨大な情報から必要な情報を的確に入手することを念頭に、主にリスニングとリーディングを中心とした英語運用能力の獲得を目指す。

主にリスニング教材とするのは、VOA (Voice of America) のニュースである。これを毎回、ディクテーションする。リーディングは英字新聞や、雑誌 Newsweek などから幅広く教材を選び、読解を試みる。

【授業計画】

リスニングのトレーニングを60分、リーディングを30分毎回行う。なお、リスニングに関しては、5回ごとに小テストを実施する。

【評価方法】

授業内に行う小テスト2回、およびリーディング教材の読解度、定期試験を総合して判断する。

【テキスト】

使用せず。毎回プリント配布。

英語コミュニケーション 8

大鐘洋司郎

長久手 2~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

商社、外資系会社、製造業者、外国為替銀行、海運会社、航空貨物会社、国際運送会社や保険会社などに就職しようとする学生に役に立つ体験から帰納した授業内容。

海外からの商品の物流、代金決済方法の理解は一般企業就職希望者にも役に立つ。

授業担当者は全米最大の小売業者シアーズ社などの取引経験から、教科書の事例を解説し、英語ビジネスコミュニケーションの手法を学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 場面を設定して受講生が英文ビジネスレターを作成する。英和・和英辞典を持参すること。
- 第2回 海外取引先紹介依頼及び取引先紹介者への礼状
- 第3回 信用照会及びその返信
- 第4回 取引開始申し込み
- 第5回 ビデオ視聴（内容は下記参照）
- 第6回 一般取引条件協定書の交換
- 第7回 基本貿易価格FOB及びCIF
- 第8回 オファー、価格表及びカウンターオファー
- 第9回 発注及びその確認
- 第10回 注文書、売約書の送付
- 第11回 信用状修正依頼及び受領確認
- 第12回 船積みに関して
- 第13回 ビジネス英会話（時間と受講生数次第で実行）

【評価方法】

出席状況・定期試験・その他による。

英語関係の資格（英検・商英検・TOEFL, TOEICなど）は自己研修点として成績に加味する。資格を証明するもの（コピー可）を持参して授業担当者に報告のこと。授業に取り組む積極性も評価する。

【テキスト】

ケーススタディで学ぶ英文ビジネス文書のライティングとプレゼンテーション増補版（大鐘洋司郎他 嵯峨野書院 税込 2,520円）

ビデオ「貿易実務の基礎知識」又は「外国為替について」
授業担当者作成資料（プリント教材その他）

英語コミュニケーション 9

小野迪雄

長久手 2~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

アーネスト・ヘミングウェイは、20世紀を代表するアメリカの作家であり、多難な激しく変動した時代を生き抜いた作家でもある。『老人と海』でノーベル賞を受賞したが、彼の文学の本質を探ってみると、円環を描いて、初期の作品世界につながっているようにみえる。それ故、初期の短編を読み解くことは重要であり、彼の文学の本質に迫れるかもしれない。

ヘミングウェイの文章は簡潔で引き緊った文体で、現代の標準的な文章の一つの型をもっていて、読みやすい。

【授業計画】

テキストを中心に読み進み、随時プリントを配布して、作者や作品の理解を深めるようにする。

【評価方法】

定期試験の成績を主とするが、日常の授業に対する準備も判断の資料とする。

【テキスト】

Indian Camp and Other Stories (Hemingway)

『ヘミングウェイ短編集』 成美堂

【参考文献・資料】

授業時に随時紹介する。必要に応じてプリントを配布する。

英語コミュニケーション10

ダグラス・L. ドイル

長久手 2~4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

The objective of this course is to revise and augment students' knowledge of English vocabulary and non-verbal features, as well as developing their speaking, listening, reading and writing skills. Students who opt for this course will be expected to be able and highly motivated. Students who are less able will be expected to be extra-highly motivated.

【Assessment】

Assessment will be based on a combination of the following: general classroom performance (continually assessed) general standard of homework (continually assessed) and by examination.

【Textbooks】

Text: To be advised.

英語コミュニケーション10

テリー・ワコルツ

長久手 2~4年 後期 選択 2単位

【Course Content】

The aim of the course is to engage students actively in conversation with a partner or in a group. Students will try to express their ideas fully and coherently. The course will begin with exercises aiming to get the students to talk about things they like, dislike and providing simple reasons. The course and textbook will be based on providing examples of how students can express themselves and they will have plenty of chances during class to do so. Some listening will also be done.

【Schedule】

Term 1 will focus on structured discussion with preset topics from the textbook.

Term 2 will focus on structured discussion with preset topics from the textbook.

【Assessment】

Evaluation will be based on attendance, participation and monthly vocabulary tests.

【Textbooks】

Let's Talk About It

英語コミュニケーション10

ディビッド・P・レヴィ

長久手 2~4年 後期 選択 2単位

【Course Content】

This course aims to further develop students' skills in speaking, listening, reading and writing. The emphasis however will be on speaking and listening. Students who choose this course will be expected to be highly motivated.

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, writing assignments, homework assignments and a test.

【Textbooks】

To be advised.

【Reference】

Students are expected to bring English-Japanese and Japanese-English dictionaries (book or electronic) to class.

英語コミュニケーション10

ポール・ルイス

長久手 2~4年 後期 選択 2単位

【Course Content】

This course aims to focus on improving speaking and listening skills, particularly focussing on the latter. In particular, the different ways of listening will be covered, including extensive and intensive styles. The course will be given in English, and students are expected to use English as much as possible during class.

【Schedule】

Lessons 1 - 12: Various topics/listening skills.

【Assessment】

Assessment will be based on class participation and attendance, and a combination of continuous assessment, tests, and/or a final examination.

【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class meeting.

英語コミュニケーション10

ディビッド・C. ダイカス

長久手 2~4年 後期 選択 2単位

【Course Content】

This course will focus on developing speaking and listening skills, and expanding vocabulary, through topic-based discussion. Most topics will come from reading material (both from textbooks and newspapers), so reading will also play an important part in the course.

【Schedule】

The textbook will provide many of the topics to be studied, but the ones studied in class, and the order in which they are studied, will vary according to student interest and ability level. Some classes will include the use of outside materials, such as short newspaper articles, classroom surveys, and guided discussion activities.

【Assessment】

Assessment will be based on a combination of the following : general classroom performance (attendance AND participation, and using English instead of Japanese in class), quality of homework, and a final examination.

【Textbooks】

To be announced

英語コミュニケーション10

ハリー・T. ノリス

長久手 2~4年 後期 選択 2単位

【Course Content】

This course is designed to be a one semester course.

The course aims to improve the students' ability to communicate using English. To help them transmit their ideas to other Japanese people and native speakers of English. The course will show students key points about public speaking that will allow them to speak English confidently in front of small groups. Teaching strategies and techniques, voice control, and use of teaching aids will be studied. Reading, writing, listening and speaking will be addressed throughout the course. Speaking and listening being the main areas of assessment.

The course will be aimed mainly at developing confidence when speaking English in front of small groups of people.

【Schedule】

Introducing yourself.
Pronunciation "L/R", "B/V" and "Th" .
Voice control and eye contact.
How to use TV, OHC ,OHP and pictures in a classroom.
Talking about travel experiences using photos.
Talking about family using photos.
3 minute seminar on hobbies

【Assessment】

Assessment will be based on attitude, attendance, speaking ability and improvement and a written report.

【Textbooks】

No text, as necessary worksheets will be given.

英語コミュニケーション10

ブレット・スティーブンソン

長久手 2~4年 後期 選択 2単位

【Course Content】

Although this is an introductory level subject, classes will be conducted entirely in English. Students should thus avail themselves of the opportunity to develop both their listening comprehension and non-linguistic inter-cultural skills. Students will have the opportunity to discover elements of language and culture otherwise overlooked by traditional classroom techniques. Vocabulary building and development of the ability to think in the target language will also be emphasised during this program.

【Assessment】

Classroom activities will be the focus of the course. Regular attendance, active participation and completion of in-class assignments will be the criteria for assessment. Students who are enthusiastic about English are most welcome.

【Textbooks】

Hand-outs will be provided at the commencement of each class. These will be periodically collected for assessment purposes.

A final examination based on the content studied throughout the semester will also be a major part of the assessment.

英語コミュニケーション10

ジェームス・A・ジョリー

長久手 2~4年 後期 選択 2単位

【Course Content】

This course will provide development and expansion of listening, speaking and reading skills in English. While conversational topics of each lesson provide practice in expressing personal information, each lesson is set in a different country to provide students with new vocabulary and knowledge to be able to converse about other people and cultures. Exercises and practice in class will be aimed at strengthening the ability of each student to express their thoughts accurately.

【Schedule】

A precise schedule of class dates and assignments will be provided at the second class meeting. Lessons will cover one unit of the textbook each week. A short quiz will be given after every third lesson, with a final examination over the whole course after the last lesson.

【Assessment】

The students will be assessed by their performance in (1) attendance and class participation, (2) homework assignments, (3) quizzes and (4) final examination.

【Textbooks】

The textbook will be *Speaking Internationally* (Paul McLean, MacMillan LanguageHouse). Additionally, each student is expected to bring to class her or her own personal English / Japanese dictionary.

英語コミュニケーション11

ジョナサン・E. ロング

長久手 2～4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

Students who meet the prerequisites will in the class have to meet the challenges of reading scripts in English, watching the videos without subtitles, discussing them in English and writing reaction papers about them.

Usually, three weeks will be allowed for each video:

Week 1 : script

Week 2 : video

Week 3 : discussion; homework: reaction paper

【Assessment】

Assessment will be based on attendance and the reaction papers.

【Textbooks】

none.

英語コミュニケーション12

ディビッド・C. ダイカス

長久手 2～4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

This course will focus on skills and techniques needed for informative and persuasive writing and speaking. An important focus will be on recognizing and understanding the differences in rhetorical patterns between Japanese and English. Students will study how to gather, evaluate, and organize information, and assignments will include writing informative and persuasive essays and making presentations and speeches based on the information gathered.

The course be topic/theme oriented. Students will read about, discuss, research and write about these topics. Writing practice will include the study of paragraph organization and effective presentation and support of ideas in written English. Once this level of writing is mastered, we will move on to longer pieces of writing.

【Schedule】

As described above, the course will move from basic organization and presentation of ideas in short pieces of writing to essays and discussions based on their content.

【Assessment】

Grading will be based on attendance and participation, homework assignments, and a test .

【Textbooks】

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングⅠ

ディビッド・C. ダイカス ジョナサン・E. ロング
ハリー・T. ノリス ジェームズ・A. ジョリー ディビッド・P. レヴィ

長久手 1・2年 前・後期 選択 2単位

[Course Content] TOEFL (1)

高校時代の英語学習単位数、ネイティブの授業経験の有無、英語の学力等の点からみて、英語の聞き取り及び表現の基礎的能力のトレーニングを必要とする者を対象とする。授業では、TOEFL やTOEICなどの試験を目標として、各自の学習歴及び学力によりクラス編成を行い、キメ細かい学習指導を行い、英語の基礎的運用能力を強化する。

TOEFL means "Test Of English as a Foreign Language".

This course is not available for students who have completed TOEFL level II (2) or higher.

This is an introductory level course for preparation for the TOEFL test. It will give step by step strategies and skills to improve performance on each of the seven sections of the TOEFL test. TOEFL test-like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEFL test.

The TOEFL test covers seven different types of questions to test English ability.

1. Listening comprehension
 - A. Short conversations
 - B. Long conversations
 - C. Talks (short lectures)
2. Structure and written expression (grammar)
 - A. Structure
 - B. Written expression
3. Reading comprehension
 - A. Reading comprehension
 - B. Vocabulary

[Schedule]

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students needs.

[Assessment]

Assessment for TOEFL I (1) will be based on the students TOEFL ITP total score and their attendance. Students combined TOEFL ITP score and attendance will be used to set grade.

A minimum TOEFL ITP score of 339 must be achieved to receive a passing grade

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEFL test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEFL class.

[Textbooks]

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングⅠ

ディビッド・C. ダイカス ジョナサン・E. ロング
ハリー・T. ノリス ジェームズ・A. ジョリー ディビッド・P. レヴィ

長久手 1・2年 前・後期 選択 2単位

[Course Content] TOEIC (1)

高校時代の英語学習単位数、ネイティブの授業経験の有無、英語の学力等の点からみて、英語の聞き取り及び表現の基礎的能力のトレーニングを必要とする者を対象とする。授業では、TOEFL やTOEICなどの試験を目標として、各自の学習歴及び学力によりクラス編成を行い、キメ細かい学習指導を行い、英語の基礎的運用能力を強化する。

TOEIC means "Test Of English for International Communication".

This course is not available for students who have completed TOEIC level II (2) or higher.

This is an introductory level course for preparation for the TOEIC test. It will give step by step strategies and skills to improve performance on each of the seven sections of the TOEIC test. TOEIC test-like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEIC test.

The TOEIC test covers seven different types of questions to test English ability.

- A. Listening comprehension
 1. Sentences about photographs.
 2. Questions/responses
 3. Dialogues
 4. Short talks
- B. Reading comprehension
 5. Sentence completion
 6. Error identification
 7. Short passages

[Schedule]

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students' needs.

[Assessment]

Assessment for TOEIC I (1) will be based on the students TOEIC ITP total score and their attendance.

A minimum TOEIC ITP score of 220 must be achieved to receive a passing grade

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEIC test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEIC class.

[Textbooks]

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングⅡ

ジョナサン・E. ロング ディビッド・P. レヴィ
シャレル・A. ラインツマ

長久手 1・2年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】TOEFL (2)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFL 500点、TOEIC 640点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

This course is not available for students who have completed TOEFL level III (3) or higher.

This is a basic level course for preparation for the TOEFL test. It will give step by step strategies and skills to improve performance on each of the seven sections of the TOEFL test. TOEFL test-like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEFL test.

The TOEFL test covers seven different types of questions to test English ability.

1. Listening comprehension
 - A. Short conversations
 - B. Long conversations
 - C. Talks (short lectures)
2. Structure and written expression (grammar)
 - A. Structure
 - B. Written expression
3. Reading comprehension
 - A. Reading comprehension
 - B. Vocabulary

【Schedule】

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students' needs.

【Assessment】

1. Assessment for students who have not completed TOEFL I (1).
TOEFL II (2) will be based on the students TOEFL ITP score and their attendance. A minimum TOEFL ITP score of 375 must be achieved to receive a passing grade

2. Assessment for students who have completed TOEFL I (1).
TOEFL II (2) will be based on the students TOEFL ITP total score and their attendance. The score will be based on an improvement from their TOEFL I (1) total score.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEFL test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEFL class.

【Textbooks】

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングⅡ

ジョナサン・E. ロング ディビッド・P. レヴィ
シャレル・A. ラインツマ

長久手 1・2年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】TOEIC (2)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFL 500点、TOEIC 640点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

This course is not available for students who have completed TOEIC level III (3) or higher.

This is a basic level course for preparation for the TOEIC test. It will give step by step strategies and skills to improve performance on each of the seven sections of the TOEIC test. TOEIC test-like exercises will be used to accustom the student's to the type of questions to expect in the TOEIC test.

The TOEIC test covers seven different types of questions to test English ability.

- A. Listening comprehension
 1. Sentences about photographs.
 2. Questions/responses
 3. Dialogues
 4. Short talks
- B. Reading comprehension
 5. Sentence completion
 6. Error identification
 7. Short passages

【Schedule】

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students' needs.

【Assessment】

1. Assessment for students who have not completed TOEIC I (1).
TOEIC II (2) will be based on the students TOEIC ITP score and their attendance. A minimum TOEIC ITP score of 310 must be achieved to receive a passing grade

2. Assessment for students who have completed TOEIC I (1).
TOEIC II (2) will be based on the students TOEIC ITP total score and their attendance. The score will be based on improvement from their TOEIC I (1) total score.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEIC test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEIC class.

【Textbooks】

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングⅢ

ジョアン・M. ウッドマン

ジェームズ・A. ジョリー

長久手 1～3年 前・後期 選択 2単位

[Course Content] TOEFL (3)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験の受験結果により測定された各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFLやTOEICなどの試験スコアにより、クラス編成を行い、キメ細かい学習指導を行い、英語の運用能力を強化し、英語能力測定試験への受験意欲の向上を目指し、TOEFL・TOEICトレーニングⅣの授業につながる。

This course is not available for students who have completed TOEFL level IV(4) or higher.

This is a high-beginner course for the TOEFL test. TOEFL test-like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEFL test. This course aims to develop the students general English ability. This will in turn produce an improved TOEFL score.

[Schedule]

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students needs.

[Assessment]

1. For students who have completed TOEFL I(1) or TOEFL II(2) courses.

The TOEFL III(3) grade will be based on the students classwork, homework and attendance. Assessment will not be based on TOEFL score.

Students can, but will not have to do the TOEFL ITP test.

2. For students who have not completed a previous TOEFL course. A minimum score of 400 must be achieved to receive a passing grade.

It will be necessary for students to do the TOEFL ITP test.

Grades of "A, B or C" will be based on classwork, homework and attendance.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEFL test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEFL class.

[Textbooks]

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングⅢ

ジョアン・M. ウッドマン

ジェームズ・A. ジョリー

長久手 1～3年 前・後期 選択 2単位

[Course Content] TOEIC (3)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験の受験結果により測定された各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFLやTOEICなどの試験スコアにより、クラス編成を行い、キメ細かい学習指導を行い、英語の運用能力を強化し、英語能力測定試験への受験意欲の向上を目指し、TOEFL・TOEICトレーニングⅣの授業につながる。

This course is not available for students who have completed TOEIC level IV(4) or higher.

This is a high-beginner course for the TOEIC test. TOEIC test-like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEIC test. This course aims to develop the students general English ability. This will in turn produce an improved TOEIC score.

[Schedule]

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students' needs.

[Assessment]

1. For students who have completed TOEIC I(1) or TOEIC II(2) courses.

The TOEIC III(3) grade will be based on the students classwork, homework and attendance.

Assessment will not be based on TOEIC score.

Students can but will not have to do the TOEIC ITP test.

2. For students who have not completed a previous TOEIC course.

A minimum score of 375 must be achieved to receive a passing grade.

It will be necessary for students to do the TOEIC ITP test.

Grades of "A, B or C" will be based on classwork, homework and attendance.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEIC test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEIC class.

[Textbooks]

To be announced.

TOEFL・TOEICトレーニングⅣ

ジョアン・M. ウッドマン
ジェームズ・A. ジョリー

長久手 1～3年 前・後期 選択 2単位

[Course Content] TOEFL (4)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFL 550点、TOEIC 720点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

This course is not available for students who have completed TOEFL level V(5) or VI(6).

This is a pre-intermediate level course(TOEFL 420+) for the TOEFL test. It will give step by step strategies and skills to improve performance on each of the seven sections of the TOEFL test. TOEFL test like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEFL test.

[Schedule]

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students needs.

[Assessment]

1. Assessment for students who have not completed a TOEFL ITP test.

TOEFL IV(4) will be based on the students TOEFL ITP score and their attendance. A minimum TOEFL ITP score of 422 must be achieved to receive a passing grade

2. Assessment for students who have completed TOEFL II(2) or III(3).

TOEFL IV(4) will be based on the students TOEFL ITP total score and their attendance. The score will be based on an improvement from their previous TOEFL ITP total score.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEFL test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEFL class.

[Textbooks]

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングⅣ

ジョアン・M. ウッドマン
ジェームズ・A. ジョリー

長久手 1～3年 前・後期 選択 2単位

[Course Content] TOEIC (4)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFL 550点、TOEIC 720点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

This course is not available for students who have completed TOEIC level V(5) or VI(6).

This is a pre-intermediate level course (TOEIC 425+) for the TOEIC test. It will give step by step strategies and skills to improve performance on each of the seven sections of the TOEIC test. TOEIC test like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEIC test.

[Schedule]

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students' needs.

[Assessment]

1. Assessment for students who have not completed a TOEIC ITP test.

TOEIC IV(4) will be based on the student's TOEIC ITP score and their attendance. A minimum TOEIC ITP score of 430 must be achieved to receive a passing grade

2. Assessment for students who have completed TOEIC II(2) or III(3).

TOEIC IV(4) will be based on the students' TOEIC ITP total score and their attendance. The score will be based on improvement from their previous TOEIC ITP total score.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEIC test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEIC class.

[Textbooks]

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングV

ジョアン・M. ウッドマン

ジェームズ・A. ジョリー

長久手 2~4年 前・後期 選択 2単位

[Course Content] TOEFL (5)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験の受験結果により測定された各自の英語能力を客観的に把握させ、そこからより自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFLやTOEICなどの試験スコアにより、クラス編成を行い、学力差に対応したキメ細かい学習指導を行い、英語の運用能力を強化し、英語能力測定試験への受験意欲の向上を目指し、TOEFL・TOEICトレーニングVIの授業につなげる。

This course is not available for students who have completed TOEFL level VI (6).

This is an intermediate course(TOEFL 440+) for the TOEFL test.

TOEFL test-like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEFL test.

This course aims to develop the students general English ability. This will in turn produce an improved TOEFL score.

[Schedule]

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students needs.

[Assessment]

1. For students who have completed TOEFL III(3) or IV(4) courses.

TOEFL V(5) grade will be based on the students classwork, homework and attendance.

Assessment will not be based on TOEFL score.

Students can but will not have to do the TOEFL ITP test.

2. For students who have not completed a previous TOEFL course, a minimum score of 400 must be achieved to receive a passing grade.

It will be necessary for students to do the TOEFL ITP test.

Grades of "A, B or C" will be based on classwork, homework and attendance.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEFL test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEFL class.

[Textbooks]

To be announced.

TOEFL・TOEICトレーニングV

ジョアン・M. ウッドマン

ジェームズ・A. ジョリー

長久手 2~4年 前・後期 選択 2単位

[Course Content] TOEIC (5)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験の受験結果により測定された各自の英語能力を客観的に把握させ、そこからより自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFLやTOEICなどの試験スコアにより、クラス編成を行い、学力差に対応したキメ細かい学習指導を行い、英語の運用能力を強化し、英語能力測定試験への受験意欲の向上を目指し、TOEFL・TOEICトレーニングVIの授業につなげる。

This course is not available for students who have completed TOEIC level VI (6).

This is an intermediate course(TOEIC 475+) for the TOEIC test.

TOEIC test-like exercises will be used to accustom the students to the type of questions to expect in the TOEIC test.

This course aims to develop the students general English ability. This will in turn produce an improved TOEIC score.

[Schedule]

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students' needs.

[Assessment]

1. For students who have completed TOEIC III(3) or IV(4) courses.

TOEIC V(5) grade will be based on the students classwork, homework and attendance.

Assessment will not be based on TOEIC score

Students can but, will not have to do the TOEIC ITP test.

2. For students who have not completed a previous TOEIC course, a minimum score of 375 must be achieved to receive a passing grade.

It will be necessary for students to do the TOEIC ITP test.

Grades of "A, B or C" will be based on classwork, homework and attendance.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEIC test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEIC class.

[Textbooks]

To be announced.

TOEFL・TOEICトレーニングⅥ

ジョアン・M. ウッドマン
ジェームズ・A. ジョリー

長久手 2~4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】TOEFL (6)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFL 600点、TOEIC 860点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

This is a high-intermediate to advanced level course (TOEFL 450+) for the TOEFL test. It will give step by step strategies and skills to improve performance on each of the seven sections of the TOEFL test. Listening comprehension and reading comprehension will be the main areas of study

【Schedule】

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students needs.

【Assessment】

1. Assessment for students who have not completed a TOEFL ITP test.

TOEFLⅥ(6) will be based on the students TOEFL ITP score and their attendance. A minimum TOEFL ITP score of 458 must be achieved to receive a passing grade

2. Assessment for students who have completed TOEFLⅣ(4) or V(5).

TOEFLⅥ(6) will be based on the students TOEFL ITP total score and their attendance. The score will be based on an improvement from their TOEFLⅣ(4) or V(5) total score.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEFL test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEFL class.

【Textbooks】

To be announced

TOEFL・TOEICトレーニングⅥ

ジョアン・M. ウッドマン
ジェームズ・A. ジョリー

長久手 2~4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】TOEIC (6)

TOEFL・TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。

授業では、TOEFL 600点、TOEIC 860点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

This is a high-intermediate to advanced level course(TOEIC 550+) for the TOEIC test. It will give step by step strategies and skills to improve performance on each of the seven sections of the TOEIC test. Listening comprehension and reading comprehension will be the main areas of study

【Schedule】

The order in which material will be presented will be determined by each instructor according to their judgement of the students' needs.

【Assessment】

1. Assessment for students who have not completed a TOEIC ITP test.

TOEICⅥ(6) will be based on the students TOEIC ITP score and their attendance. A minimum TOEIC ITP score of 520 must be achieved to receive a passing grade

2. Assessment for students who have completed TOEICⅣ(4) or V(5).

TOEICⅥ(6) will be based on the students TOEIC ITP total score and their attendance. The score will be based on improvement from their TOEICⅣ(4) or V(5) total score.

IMPORTANT: Research has shown that taking general English classes improves TOEIC test scores. All students are encouraged to take two or more other English courses in addition to this TOEIC class.

【Textbooks】

To be announced

特別講座科目

英語海外セミナー

石橋千鶴子 ジョナサン・E. ロング

長久手 集中 1~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

英語／アメリカ文化研修を目的としたウェストバージニア大学での夏期英語研修プログラム。全学が対象。キャンパス内の大学寮に滞在し、約4週間の集中授業を受ける。さらに、週末のホームステイ、小旅行、現地学生および留学生との交流などが用意されている。出発前に行われる数回のオリエンテーションおよび事前事後のライティング課題なども含めて全てを修了すれば、本学の2単位が与えられる。8月下旬から9月下旬の約1ヶ月間を予定している。定員は、約30人。

2000年度実施上記研修プログラムにおける教室での学習時間は、合計約45時間、1日（9:00AM~3:30PM）の学習内容は、以下の通りだった：

午前 少人数で行われる会話クラスと総合英語の授業。
午後 アメリカ文化の授業およびプロジェクト。音楽／ドラマ／ニュースレター作成／ホームページ作成などから、各自興味のあるものを選び、英語による意見交換を行いながら仕上げていき、卒業パーティーで発表する。

【授業計画】

本研修は、ウェストバージニア大学が本学学生のために用意する特別プログラムであり、全期間の学習および生活面全ての指導は、現地教員およびその他のプログラムスタッフが当たる。（期間中、本学教職員は滞在しない。）

【評価方法】

ウェストバージニア大学授業担当者の評価による。

【テキスト】

現地にて用意される。

米国NPOインターンシッププログラム

榎田勝利

集中 1~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

米国ワシントンD.C.にあるポイント・オブ・ライト財団との共同プログラムとして実施する。米国の民間非営利組織（NPO）でのインターンシップの体験を通して米国社会が抱える深刻な社会問題を理解し、その問題解決の方法を学ぶ。インターンシップの期間中は、一般の米国人の家庭でのホームステイをし、日常生活を体験する。インターンシップの受け入れ場所は、ワシントンD.C.および周辺地域で、学生の関心分野、英語力、専門的知識、経験等を考慮し、受け入れ団体を決める。実践の場を通して、異文化コミュニケーション能力と情報技術能力の向上を図り、学生の将来のキャリア形成の一助ともなる機会を提供する。

（活動可能な分野）老人、児童・青少年、自然・環境、識字教育、障害者、家族、ホームレス、ジェンダー、文化・芸術、スポーツ、バイリンガル教育、外国人支援、国際交流・国際協力、博物館・美術館、図書館、その他。（米国側協力団体）ポイント・オブ・ライト財団（Points of Light Foundation）

【授業計画】

（事前研修）・インターンシップの活動分野の決定

- ・日米のNPO、ボランティア団体等の現状学習
- ・日本のNPO、ボランティア団体へフィールドワーク
- ・英会話のトレーニング

（現地プログラム）・オリエンテーション合宿

- ・基本的に月曜から金曜までの5日間のインターン
- ・1日特別研修プログラム
- ・インターンシップの体験報告書の作成と提出
- ・評価会、修了式、さよならパーティ

（事後研修）・フォローアップ研修、報告書作成

【評価方法】

現地での評価（受け入れ団体、ホストファミリー等と報告書）の評価を考慮し全体評価を行う。

情報処理技術特殊 I

中野雅晴

長久手 集中 1~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

基本情報技術者試験合格のための教育科目である。情報技術全般の基礎知識を活用し、情報システム開発においてプログラムの設計・開発を行うとともに、将来高度な技術者をを目指す者として、以下の知識・能力を身につける。

- 1) 情報技術全般に関する基本的な用語・内容の知識
- 2) 上位技術者の指導のもとにプログラム設計書を作成する能力
- 3) プログラミングに必要な論理的思考能力
- 4) プログラムのテスト手法を理解し実施する能力

【授業計画】

- ステップ1 コンピュータ科学基礎
- ステップ2 データベース技術
- ステップ3 コンピュータシステムの開発と運用
- ステップ4 ネットワーク技術
- ステップ5 情報と経営
- ステップ6 セキュリティと標準化

【評価方法】

出席状況・小テストなどで評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

情報処理技術特殊 II

中野雅晴

長久手 集中 1~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ソフトウェア開発技術者試験合格のための教育科目である。

情報システム開発のソフトウェア開発技術者として、外部仕様に基づいて内部設計・プログラム設計・プログラム開発を行い、高品質なソフトウェアを開発するための、以下の知識・能力を身につける。

- 1) ネットワーク、データベース、システム構成などの情報技術に関する全般的な知識と、上位技術者の指導のもとに情報システムの設計ができる能力
- 2) 内部設計書・プログラム設計書の作成能力
- 3) プログラミングに必要な高度の論理的思考能力
- 4) ネットワーク、データベースなどに関する実装技術と知識
- 5) プログラムのテスト手法を熟知し、単体テスト・結合テストの計画と管理が行え、テストの実施についてはプログラム開発要員を指導できる能力

【授業計画】

- ステップ1 コンピュータ科学基礎上級
- ステップ2 コンピュータシステム上級
- ステップ3 システムの開発と運用
- ステップ4 ネットワーク技術
- ステップ5 データベース技術
- ステップ6 セキュリティと標準化

【評価方法】

出席状況・小テストなどで評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

情報処理技術特殊Ⅲ

黒部晃一

長久手 集中 1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

CG検定2級の合格を目指す教育科目である。

2級のレベルは、CGを実務に活用できるレベルであり、期待できる効果として以下のことがある。

- (1) アルゴリズムを理解し、目的に応じてCGの技法を活用できる。
- (2) デザインの知識をCG画像やCGアニメーションの制作に活用できる。
- (3) CGに必要なシステムを目的に応じて選び使用できる。

【授業計画】

1. CG基礎。2次元画像生成
2. 〃
3. モデリング
4. 〃
5. 3次元座標変換
6. 〃
7. レンダリング
8. 〃
9. 〃
10. 画像処理
11. 〃
12. 著作権その他。

【評価方法】

出席状況について評価

【テキスト】

『Computer Graphics』技術編CG標準テキストブック
(画像情報教育振興協会)

【参考文献・資料】

『Turbo Cによる3Dコンピュータ・グラフィックス』
(山岡祥著 森北出版)
『CG検定対策講座3級 理論編』
(株式会社ユーミックス編著)

情報処理技術特殊Ⅳ

黒部晃一

長久手 集中 1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

CG検定1級の合格を目指す教育科目である。

1級のレベルは、高度な知識と指導力に加えCGを制作や開発に応用できるレベルであり、期待できる効果としては以下のことがある。

- (1) アルゴリズムの記述やプログラミングによる高度なCG制作ができる。
- (2) デザインの知識を効果的に活用し高度な表現ができる。
- (3) CGに関する総合的な知識が身につけ指導できる。

【授業計画】

1. VisualC++によるプログラミング
2. 〃
3. 〃
4. 〃
5. CGアルゴリズムのプログラミングと実例
6. 〃
7. 〃
8. 〃
9. 〃
10. CG検定1級の過去問題検証
11. 〃
12. 〃

【評価方法】

出席状況について評価

【テキスト】

『CG検定1級問題集』(画像情報教育振興会)

【参考文献・資料】

『基礎から学ぶVisualC++プログラミング』
(山岡祥著 CQ出版)

上級英語セミナー2001A

ベヴァリー・F. M. カレン

1～4年 前期 選択 4単位

【Course Content】

This is a course for motivated higher level students to improve their English skills, with special attention to developing speaking ability, improving listening comprehension, and expanding vocabulary.

【Schedule】

This course will begin by focussing on listening and showing students strategies for ensuring better aural understanding. There will be speaking practise in every class, escalating from brief informal conversation to more sustained prepared presentations. Each week, new vocabulary will be introduced. By the end of the term, students should feel more confident about their ability to understand spoken English, expressing their own ideas with greater accuracy, and initiating conversations.

【Assessment】

Student assessment is ongoing, and based on effort, preparation, and participation, as well as ability and attendance.

【Textbooks】

No text required.

「上級英語セミナー2001A」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。難波先生（月曜日5限）、ベヴァリー・F. M. カレン先生（木曜日5限）の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

上級英語セミナー2001A

難波豊子

1～4年 前期 選択 4単位

【授業の概要】

通訳は「逐次に始まり、同時に進み、そして逐次に終わる」といわれる。逐次では訳す時間を与えられるが、同時の場合にはSpeakerが話す言葉を聞きながら、前にいわれた内容を別の言語で説明しなければならない。「聞く」と「話す」の2点集中を要求される。クラスでは、逐次通訳を意識しながら、同時通訳とは、どのようなものを体験する。主として英語から日本語への変換。

【授業計画】

- ・スラッシュ・リーディングで、英文を頭から情報処理する練習
- ・わかりやすい日本語の検討
- ・短い時間で、英文のメッセージを把握
- ・2点集中力育成練習

以上4点を目標として、

第1回 期間中を通しての計画、及び課題の指示。頭ごなしの訳出法練習

第2回～6回 宿題として各自家で徹底的に練習してきた教材を、クラス内で検討。それぞれの問題点を指摘し合う。

第7回～8回 逐次通訳練習

第9回～10回 同時通訳練習

上記に加え、2回ゲスト講師による講演が行なわれる。

【評価方法】

日常の授業態度、宿題に対する姿勢、授業中に行う小テスト、単位認定試験などにより、総合的に評価。

【テキスト】

授業中に配布、指示する。

「上級英語セミナー2001A」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。難波先生（月曜日5限）、ベヴァリー・カレン先生（木曜日5限）の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

上級英語セミナー2001B

ベヴァリー・F. M. カレン

1～4年 後期 選択 4単位

【Course Content】

This is a course for motivated higher level students to continue to improve their English skills, with special attention to developing speaking ability, improving listening comprehension, and expanding vocabulary.

【Schedule】

The course will begin by focussing on listening practice to improve understanding and expression of more extended spoken discourse. In the following weeks, students will focus on aspects of contemporary culture as themes for discussion. Students will gain experience in becoming an interesting and expressive English speaker, and an engaged listener.

【Assessment】

Student assessment is ongoing, and based on effort, preparation, and participation, as well as ability and attendance.

【Textbooks】

No text is required.

「上級英語セミナー2001B」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。難波先生（月曜日5限）、ベヴァリー・F. M. カレン先生（木曜日5限）の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

上級英語セミナー2001B

難波豊子

1～4年 後期 選択 4単位

【授業の概要】

通訳は「逐次に始まり、同時に進み、そして逐次に終わる」といわれる。逐次では訳す時間を与えられるが、同時の場合にはSpeakerが話す言葉を聞きながら、前にいわれた内容を別の言語で説明しなければならない。「聞く」と「話す」の2点集中を要求される。クラスでは、逐次通訳を意識しながら、同時通訳とは、どのようなかを体験する。英→日と日→英の両方の訳出練習を行う。

【授業計画】

- ・スラッシュ・リーディングで、英文を頭から情報処理する練習
- ・わかりやすい英語、日本語の検討
- ・短い時間で、英文のメッセージを把握
- ・2点集中力育成練習

以上4点を目標として、

- 第1回 期間中を通しての計画、及び課題の指示。
頭ごなしの訳出法練習
- 第2回～6回 宿題として各自家で徹底的に練習してきた教材を、クラス内で検討。それぞれの問題点を指摘し合う。
- 第7回～8回 逐次通訳練習
- 第9回～10回 同時通訳練習
- 上記に加え、2回ゲスト講師による講演が行なわれる。

【評価方法】

日常の授業態度、宿題に対する姿勢、授業中に行う小テスト、単位認定試験などにより、総合的に評価。

【テキスト】

授業中に配布、指示する。

「上級英語セミナー2001B」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。難波先生（月曜日5限）、ベヴァリー・F. M. カレン先生（木曜日5限）の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

スポーツ特殊講座

松田秀子

長久手 集中 1~4年 前期 2単位

【授業の概要】

〈マリンスポーツ〉

各種のマリンスポーツを通し、海という自然を体験し、より深く理解する。各種目の基礎的技術の向上と知識の習得、生涯スポーツの実践へつなげる。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日

実習 平成13年8月6日(月)~9日(木)
3泊4日

第1回説明会 平成13年5月23日(水) 5限目

第2回説明会 平成13年7月4日(水) 5限目

2. 場所 ヤマハマリーナ浜名湖 静岡県

3. 実習種目

ウェイクボード、ボードセーリング、
セーリングクルザー等

4. 実習費 約74,000円

5. 定員 約20名

(定員に満たない場合は中止になります。)

*実習費に関しては、12年度のものでありますので変更する場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

【評価方法】

実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

スポーツ特殊講座

松田秀子

長久手 集中 1~4年 前期 2単位

【授業の概要】

〈ボウリング〉

ボウリングを通して、基礎技術の向上と知識の習得を目標とし、生涯スポーツの実践へとつなげる。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日

実習 平成13年9月5日(水)・6日(木)・
7日(金)・10日(月)・
11日(火)・12日(水)

計6日間 午前中のみ

第1回説明会 平成13年5月23日(水) 5限目

第2回説明会 平成13年7月4日(水) 5限目

2. 場所 星ヶ丘ボウル

3. 実習費 6,000円

4. 募集人数 40名

*実習費に関しては、12年度のものでありますので変更する場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

【評価方法】

実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

スポーツ特殊講座

杉山 和

長久手 集中 1～4年 前期 2単位

【授業の概要】

〈スクーバダイビング〉

「海の中」の自然を体験し、より視野を広める、スクーバダイビングに必要な初級のライセンスを取得し、生涯スポーツの実践へつなげる。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日

プール実習 平成13年8月20日(月)～25日(土)
この期間中に時差をつけて3日間実施します。

海洋実習 平成13年9月10日(月)～13日(木)
3泊4日

第1回説明会 平成13年5月23日(水)

第2回説明会 平成13年7月21日(土)

2. 場所

プール実習 ロコダイバース 室内プール(一社)

海洋実習 沖縄県 伊江島

3. 諸経費

実習費 約50,000円(講習費、テキスト代、申請料)

用具代 約50,000円(重器材レンタル代、個人器材)

海洋実習費 約78,000円(交通費、宿泊費)

その他 約30,000円(ウェットスーツ)希望者のみ

4. 定員 約20名

*諸経費については、12年度のものでありますので変更になる場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)。

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

スポーツ特殊講座

松田秀子

長久手 集中 1～4年 後期 2単位

【授業の概要】

〈スケート〉

スケートを通して、基礎的技術の向上と、知識の習得を目標とし、楽しさを学び生涯スポーツの実践へつなげる。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日

実習 平成14年2月6日(木)・7日(金)・
8日(金)・12日(火)・
13日(水)・14日(木)

6日間 午前のみ

第1回説明会 平成13年11月7日(水) 5限目

第2回説明会 平成14年1月9日(水) 5限目

2. 場所 名古屋スポーツセンター (大須)

3. 実習費 約7,200円

4. 定員 約40名

*実習費に関しては、12年度のものでありますので変更する場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)。

【評価方法】

実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

スポーツ特殊講座

金子恭久

長久手 集中 1～4年 後期 2単位

【授業の概要】

〈スキー〉

スキーを通して大自然の厳しさやおおらかさに接し、スキーの基礎的技術の向上と知識の習得を目標とする。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日

実習 平成14年2月17日（日）～2月21日（木）

4泊5日の予定

第1回説明会 平成13年11月7日（水）5限目

第2回説明会 平成14年1月9日（水）5限目

2. 場所 長野県 信州菅平高原スキー場

3. 宿泊所 福美津屋旅館

4. 実習費 約40,000円

（宿泊費・交通費・食事代・保険料・雑費）

5. その他の費用

リフト券代 約12,000円（レベルによって異なる）

レンタルスキー（板、ブーツ、ストック） 6,500円

レンタルウェア 4,000円

小物（帽子、手袋、ゴーグル） 1,500円

6. 定員 約40名

7. オプション企画（体験）

スノーボード（レンタル代、講習費） 6,000円

ヘリスキー（ヘリコプターの搭乗費） 6,000円

スキー検定（検定料） 6,000円

*定員に大きく満たない場合は中止になります。

*実習費及びその他の費用に関する料金は、12年度のものでありますので、変更になる場合があります。

*説明会には必ず参加すること。（やむを得ない場合を除く）

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。